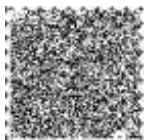
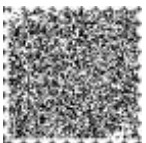


## 第2章 調査結果 I (18 歳以上／18 歳未満)





## 第2章 調査結果 I (18 歳以上 / 18 歳未満)

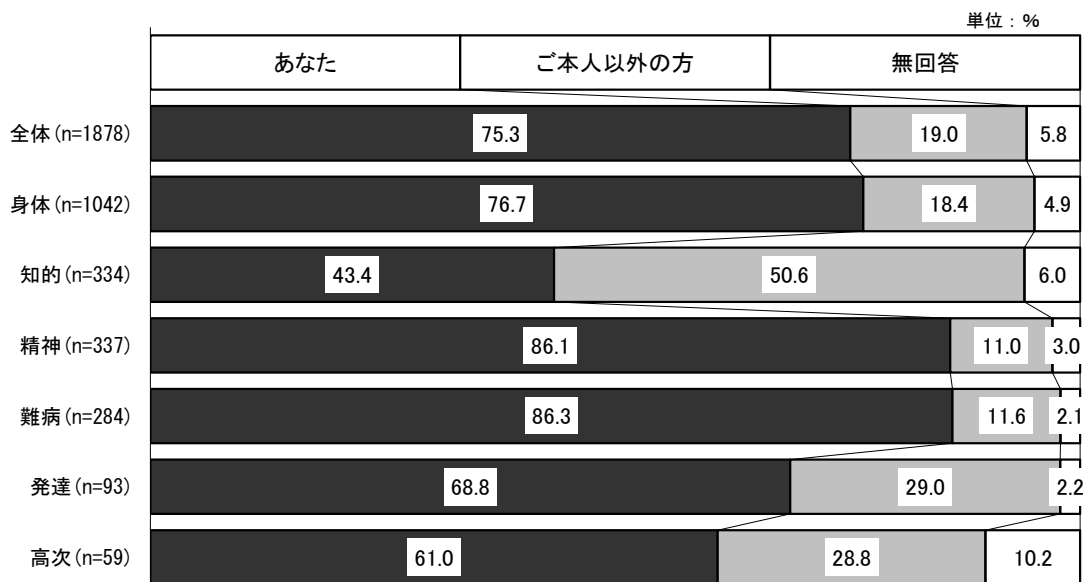
### 1 基本属性

#### (1) 調査票の記入者 (18 歳以上 問1 / 18 歳未満 問1)

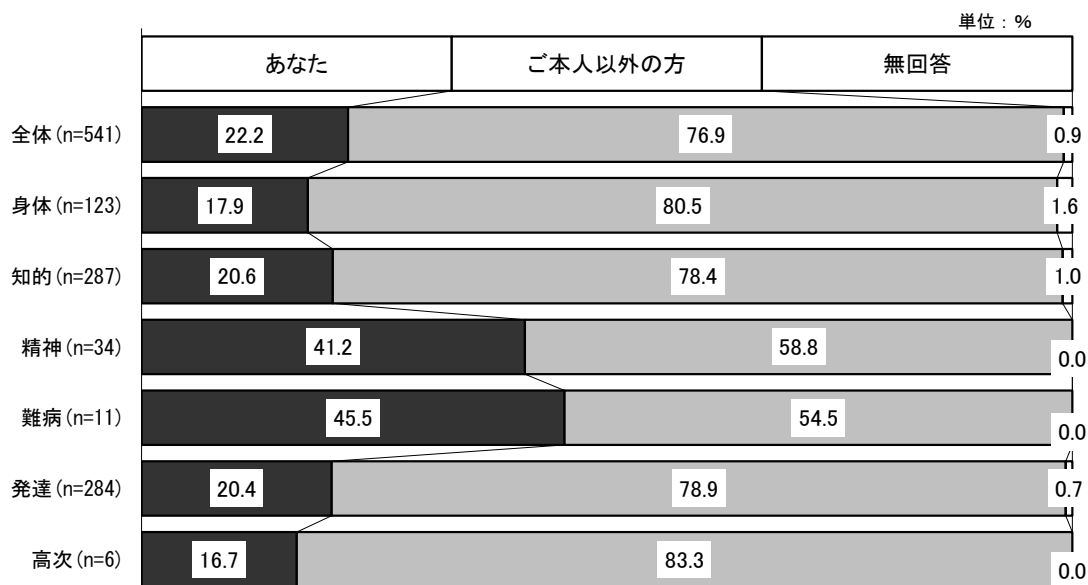
問 この調査はどなたが記入されますか。次のうち、当てはまるものをお答えください。ただし、ご本人の回答・意見を、介助や支援してくれる（助けてくれる）人が確認し、代わりに書く場合は、「1.あなた（あて名のご本人）」をお選びください。（○は1つ）

#### ■ 障がいの分類別結果

##### <18 歳以上>



##### <18 歳未満>

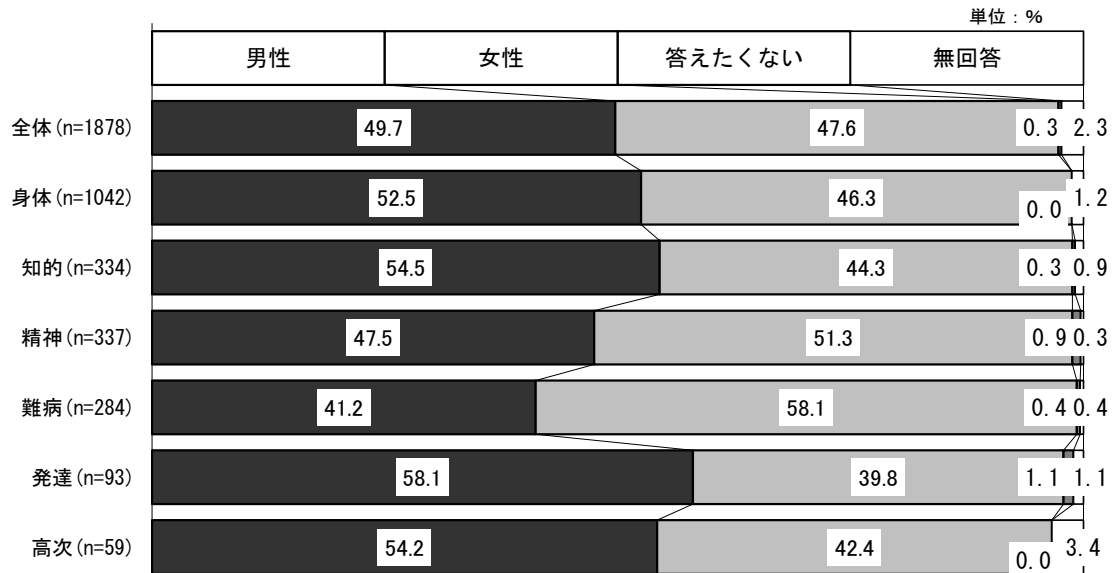


(2) 性別 (18 歳以上 問2 / 18 歳未満 問2)

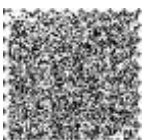
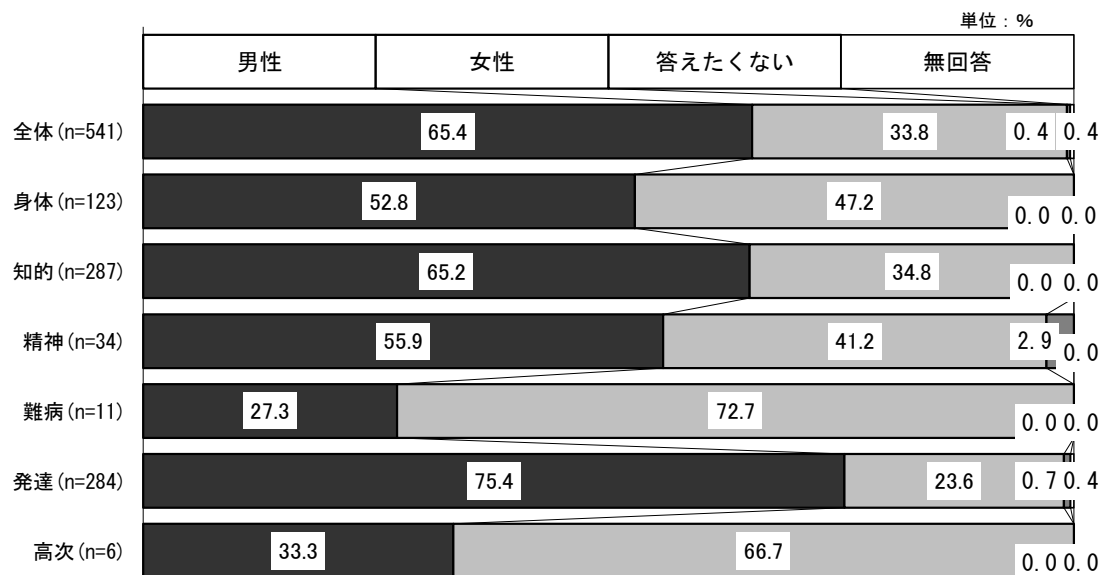
問 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

■ 障がいの分類別結果

<18 歳以上>



<18 歳未満>

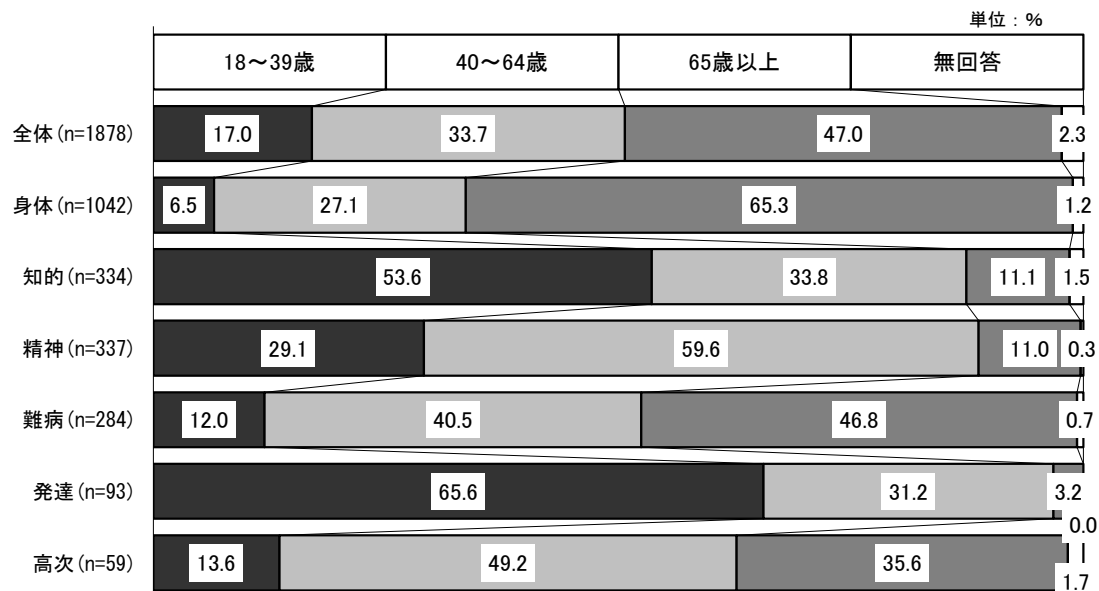


### (3) 年齢 (18 歳以上 問3 / 18 歳未満 問3)

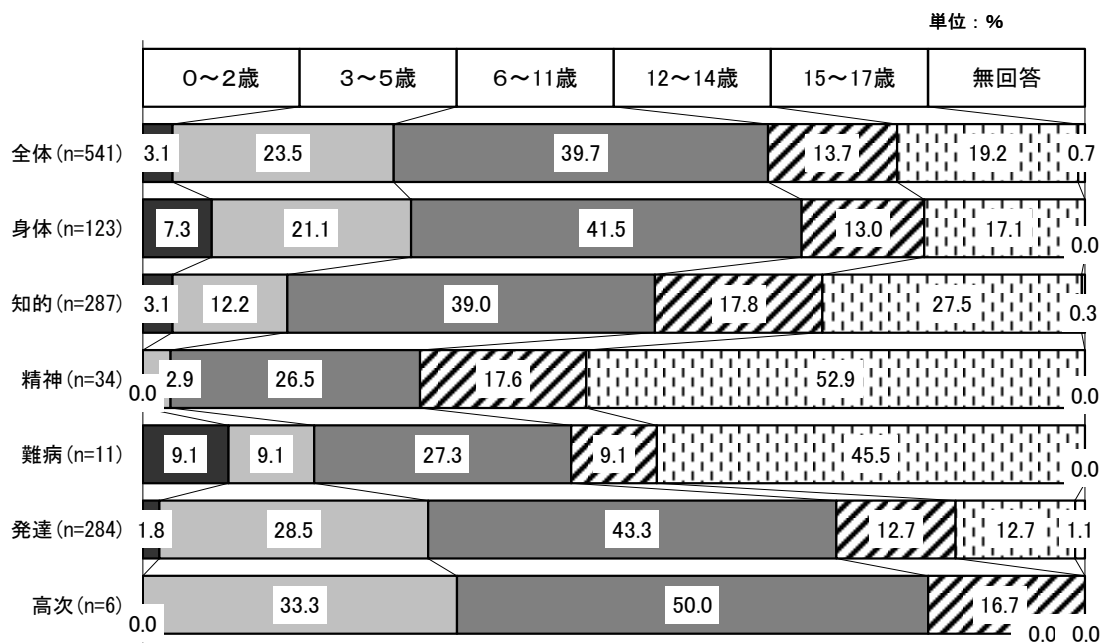
問 あなたの年齢 (平成 31 年 4 月 1 日現在) をお答えください。(○は1つ)

#### ■ 障がいの分類別結果

##### < 18 歳以上 >



##### < 18 歳未満 >

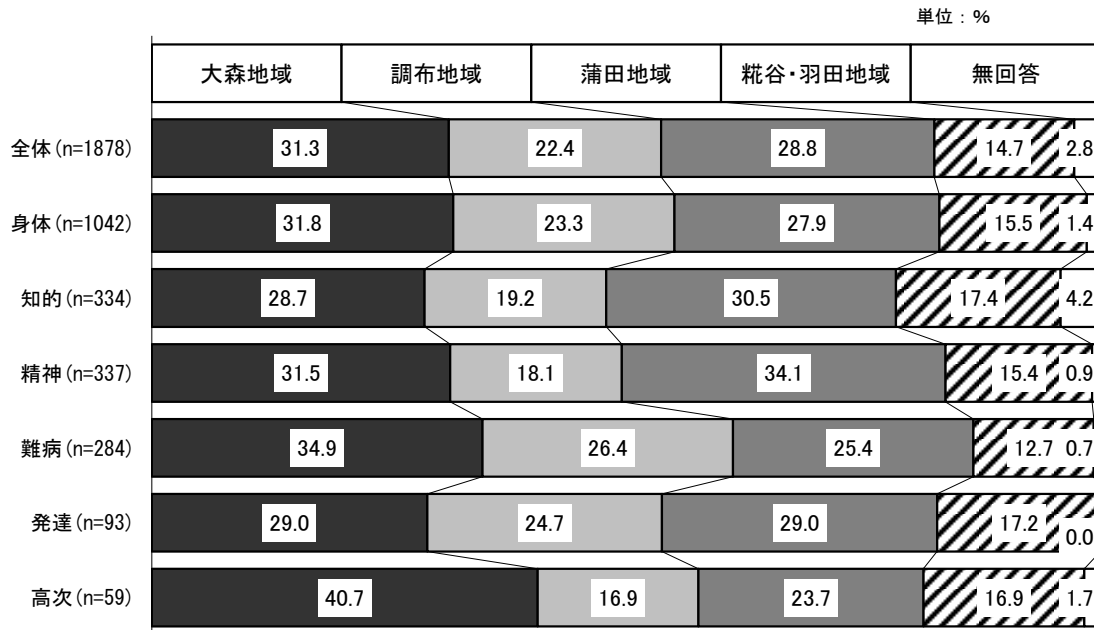


(4) 居住地 (18 歳以上 問4 / 18 歳未満 問4)

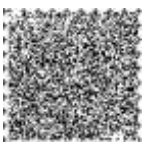
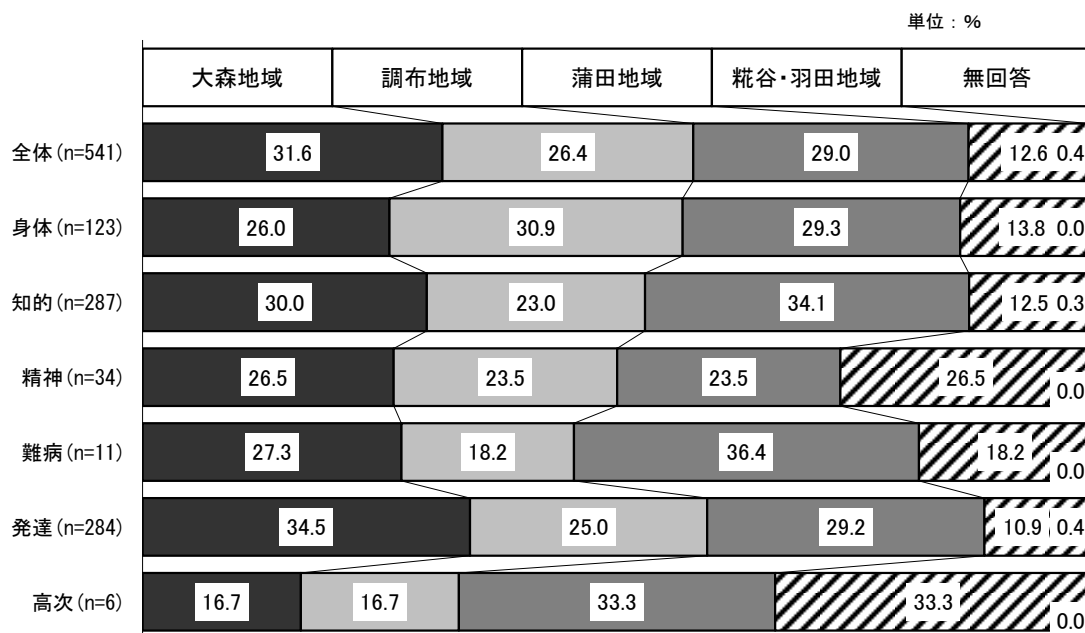
問 あなたがお住まいの地域はどこですか。(〇は1つ)

■ 障がいの分類別結果

<18 歳以上>



<18 歳未満>



(5) 手帳・受給者証の種類 (18歳以上 問5 / 18歳未満 問5)

問 あなたがお持ちの手帳・受給者証はどれですか。(〇はいくつでも)

■障がいの分類別結果

<18歳以上> (単位: %)

	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療受給者証	特定医療費受給者証	その他	無回答
全体 (n=1878)	55.5	17.8	12.9	12.0	15.1	1.0	3.5
身体 (n=1042)	100.0	6.8	2.5	3.0	4.4	0.2	0.0
知的 (n=334)	21.3	100.0	3.0	9.3	1.8	1.2	0.0
精神 (n=337)	12.8	10.4	72.1	67.1	3.0	1.2	0.0
難病 (n=284)	16.2	2.1	2.5	3.2	100.0	0.0	0.0
発達 (n=93)	8.6	55.9	40.9	29.0	0.0	1.1	0.0
高次 (n=59)	76.3	10.2	32.2	22.0	10.2	1.7	0.0

<18歳未満> (単位: %)

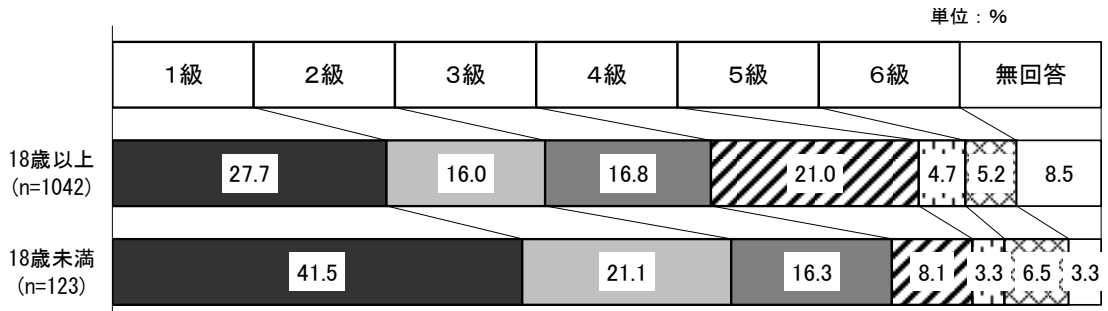
	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療受給者証	特定医療費受給者証	通所受給者証	その他	無回答
全体 (n=541)	22.7	53.0	3.5	3.0	2.0	41.0	0.7	1.3
身体 (n=123)	100.0	44.7	3.3	0.8	4.9	13.8	0.0	0.0
知的 (n=287)	19.2	100.0	1.7	2.1	1.4	20.2	0.0	0.0
精神 (n=34)	14.7	32.4	55.9	47.1	2.9	11.8	0.0	0.0
難病 (n=11)	54.5	36.4	9.1	0.0	100.0	27.3	0.0	0.0
発達 (n=284)	6.0	47.2	5.3	3.9	0.0	56.0	1.1	1.1
高次 (n=6)	66.7	33.3	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0



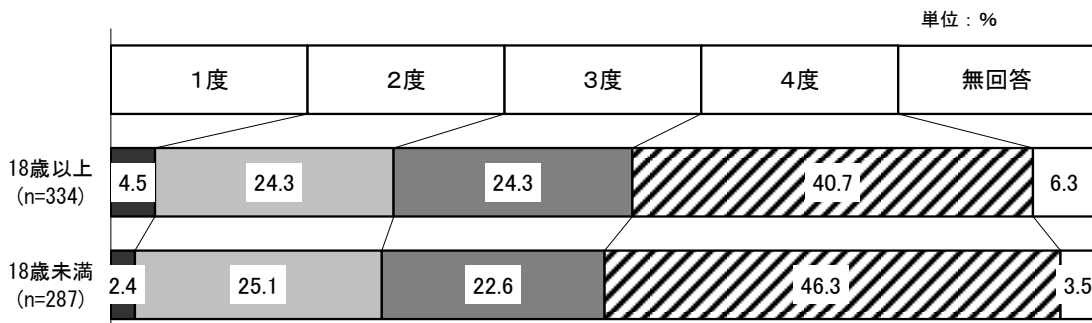
◇手帳の等級

■全体結果

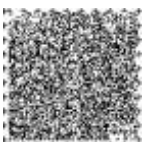
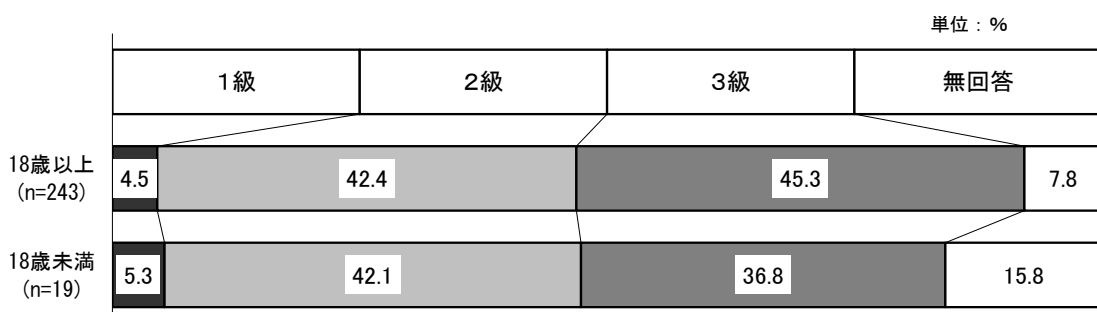
<身体障害者手帳>



<愛の手帳>



<精神障害者保健福祉手帳>





(6) 障がいの種類 (18歳以上 問6 / 18歳未満 問6)

問 あなたが障がい福祉のサービスを使ったり、手帳や受給者証を持つきっかけとなったのは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

■ 障がいの分類別結果

<18歳以上> (単位: %)

	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	体幹や上肢下肢などの運動機能障がい	内臓や免疫機能などの内部障がい	知的障がい	精神疾患	発達障がい	難病	高次脳機能障がい	その他	無回答
全体 (n=1878)	8.5	8.4	4.4	19.2	15.4	15.5	15.2	5.0	16.8	3.1	2.8	3.7
身体 (n=1042)	14.4	14.4	7.3	33.4	24.5	5.2	3.4	0.8	8.7	4.3	3.1	1.7
知的 (n=334)	3.3	0.9	1.8	12.0	3.6	85.6	7.2	15.6	3.3	1.8	2.4	0.9
精神 (n=337)	1.8	0.9	1.5	5.9	2.4	10.7	80.1	13.4	3.9	5.9	1.8	0.6
難病 (n=284)	3.9	2.1	2.1	7.7	14.4	2.1	2.5	0.0	88.0	2.1	1.1	1.1
発達 (n=93)	2.2	0.0	1.1	4.3	1.1	45.2	28.0	100.0	0.0	4.3	1.1	0.0
高次 (n=59)	3.4	3.4	18.6	37.3	3.4	6.8	5.1	6.8	10.2	100.0	1.7	0.0

<18歳未満> (単位: %)

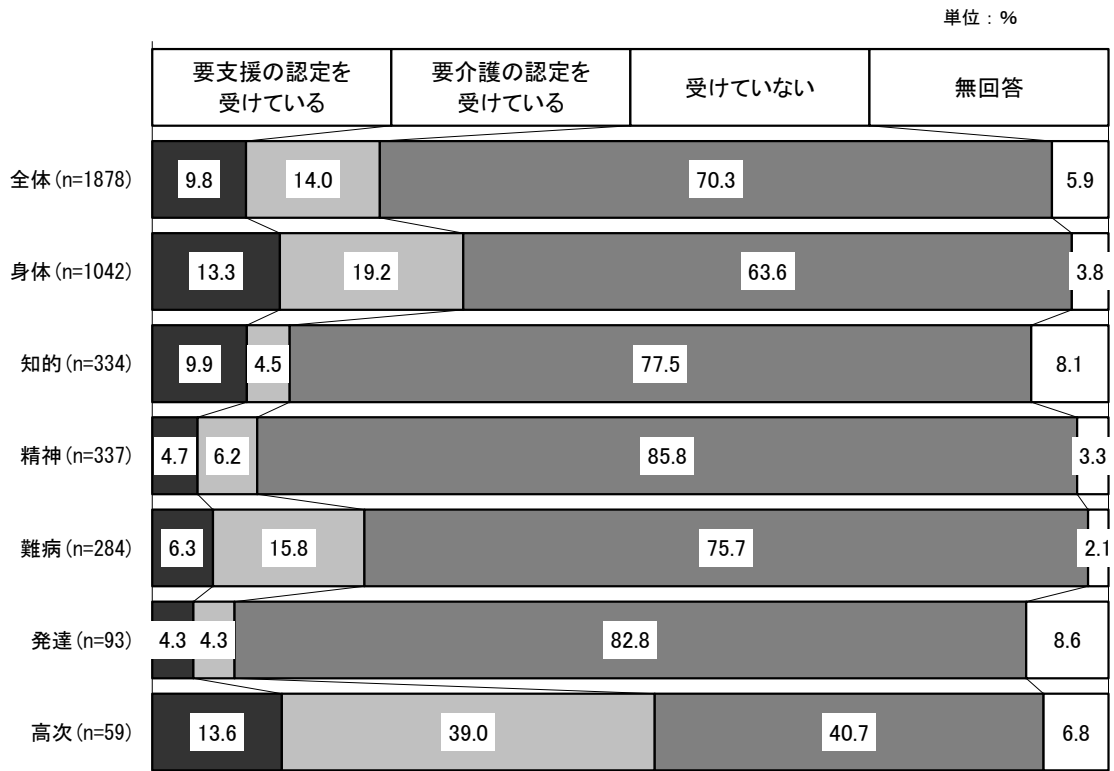
	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	体幹や上肢下肢などの運動機能障がい	内臓や免疫機能などの内部障がい	知的障がい	精神疾患	発達障がい	難病	高次脳機能障がい	その他	無回答
全体 (n=541)	1.8	3.1	3.3	16.5	4.4	48.4	2.2	52.5	6.5	1.1	6.3	0.7
身体 (n=123)	7.3	13.0	4.9	65.9	17.9	37.4	1.6	13.8	16.3	3.3	3.3	0.8
知的 (n=287)	0.7	1.0	2.8	18.1	2.1	83.6	1.0	46.7	7.3	0.7	3.1	0.0
精神 (n=34)	2.9	0.0	0.0	5.9	2.9	20.6	26.5	73.5	8.8	8.8	2.9	0.0
難病 (n=11)	0.0	0.0	0.0	45.5	27.3	36.4	0.0	0.0	72.7	9.1	9.1	0.0
発達 (n=284)	1.4	0.7	2.8	6.3	0.7	40.8	2.8	100.0	3.5	0.0	3.9	0.0
高次 (n=6)	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	100.0	0.0	0.0



(7) 要介護認定の有無 (18歳以上 問7)

問 あなたは、介護保険制度で要支援または要介護の認定を受けていますか。  
(○は1つ)

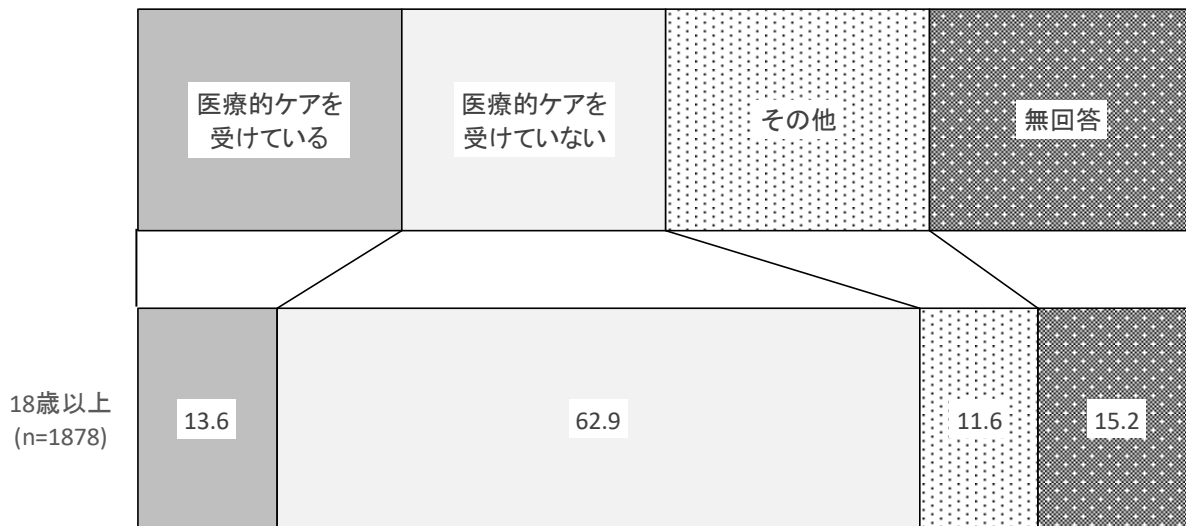
■ 障がいの分類別結果



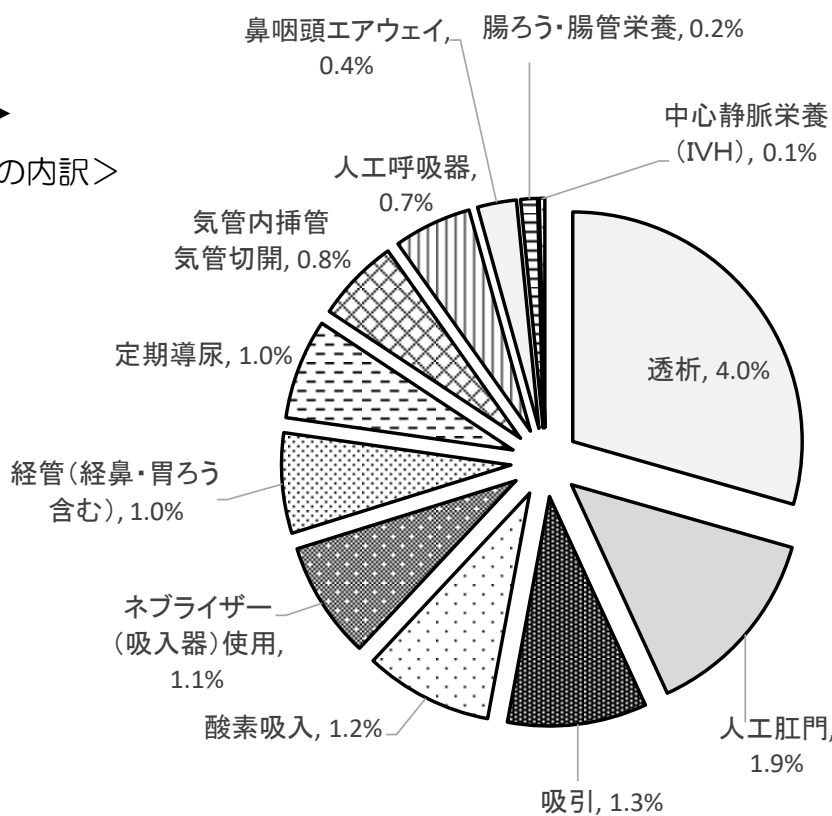
(8) 医療的ケア (18歳以上 問8 / 18歳未満 問7)

問 あなたは、どのような「医療的ケア」を受けていますか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>



<受けている医療的ケアの内訳>

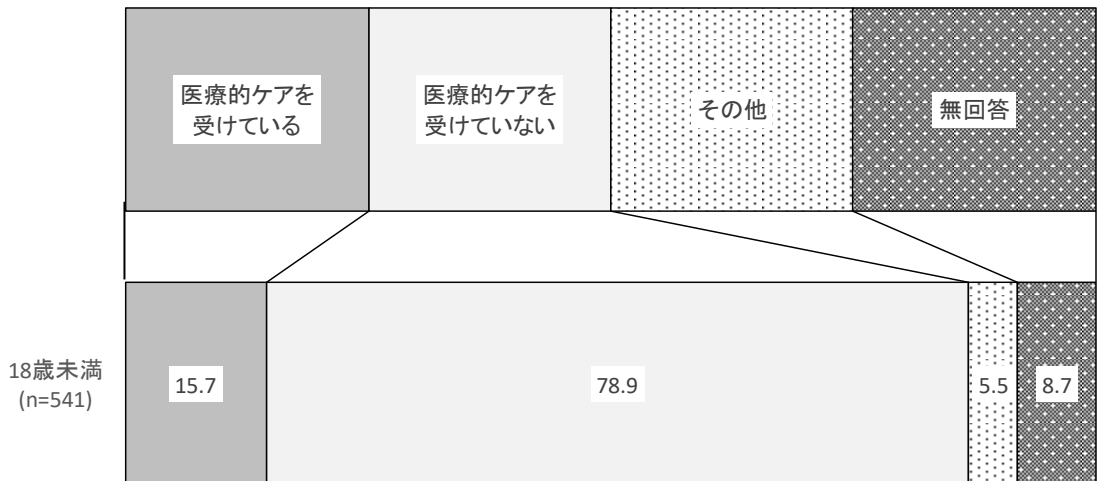


医療的ケアの内容について、18歳以上では「透析」が最も多くなっており、次いで「人工肛門」、「吸引」となっています。

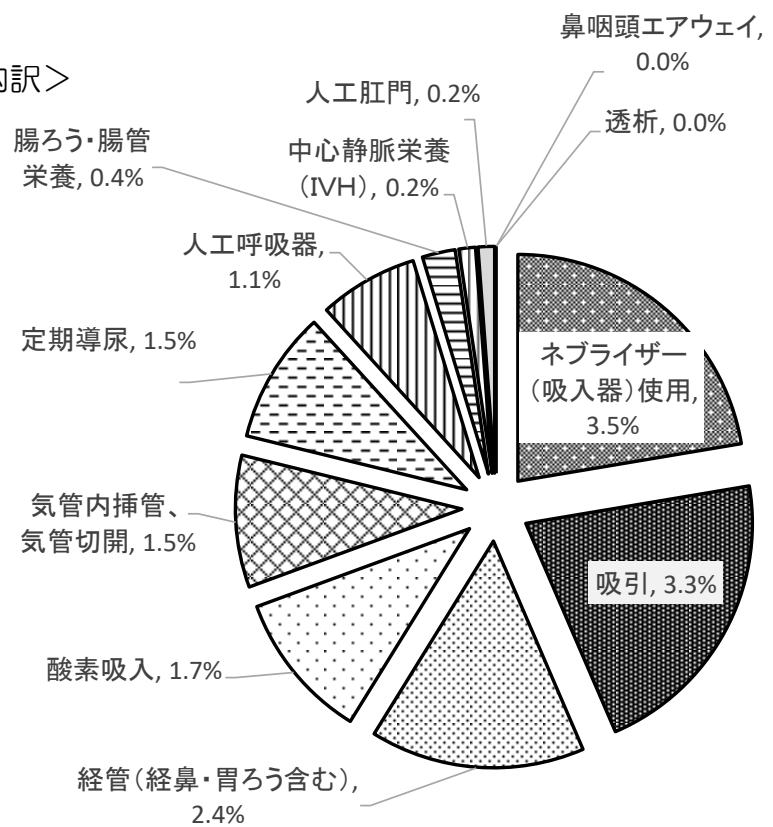
(→詳細な調査結果は178ページ)



<18歳未満>



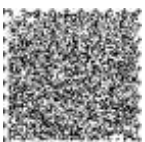
<受けている医療的ケアの内訳>



18歳未満では、「ネブライザー (吸入器) 使用」が最も多く、次いで、「吸引」「経管 (経鼻・胃ろう含む)」となっています。

なお、「その他」の主な記述内容は、「服薬」が挙げられています。

(→詳細な調査結果は197 ページ)



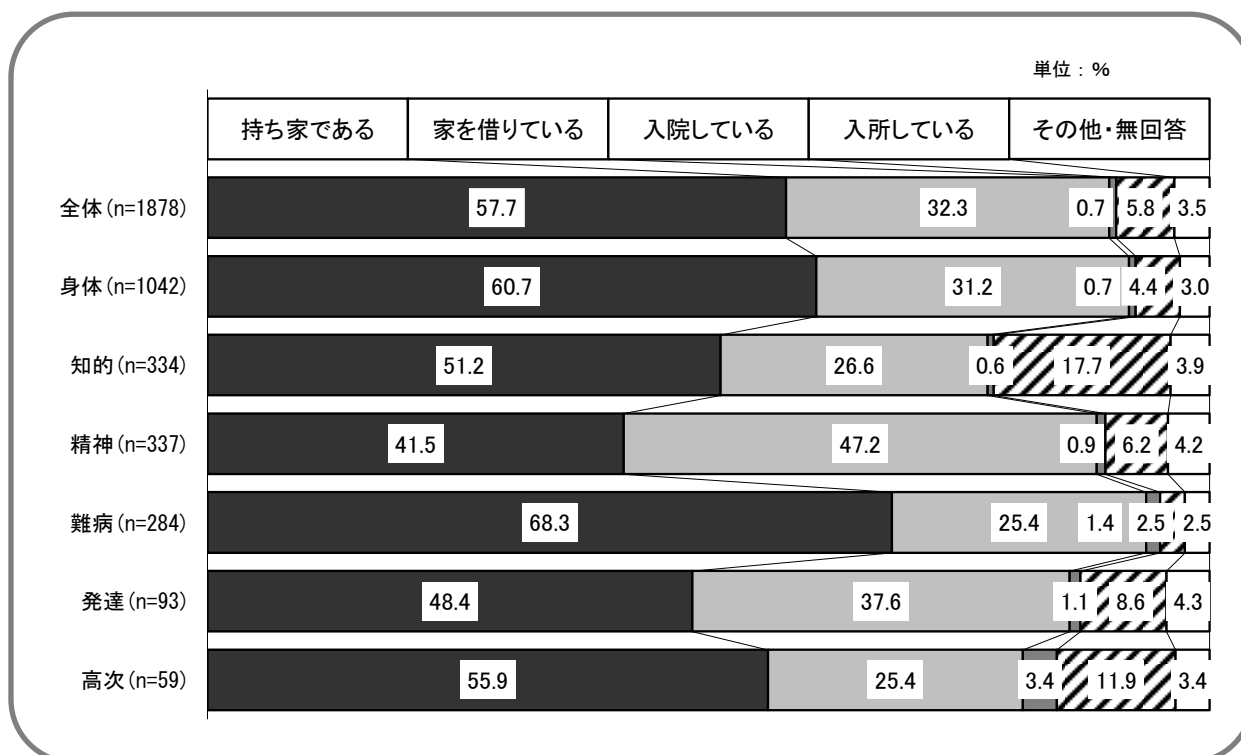
## 2 日常生活

### (1) 住まいの種類 (18 歳以上 問9)

問 あなたが住んでいるのは、次のうちどれですか。(〇は1つ)

#### ●「持ち家」が最も多く、次いで「家を借りている」の順。

#### ■障がいの分類別結果



住まいについては、全体では「持ち家である」が 57.7%で最も多く、次いで「家を借りている」が 32.3%となっており、この2項目で全体の9割となっています。

分類別に見ると、[精神]は、「持ち家である」(41.5%)が最も少なく、一方で「家を借りている」(47.2%)が、各分類の中で最も多くなっています。

「入所している」との回答については、[知的]と[高次]が1割を超えて多くなっています。

(→詳細な調査結果は 179 ページ)

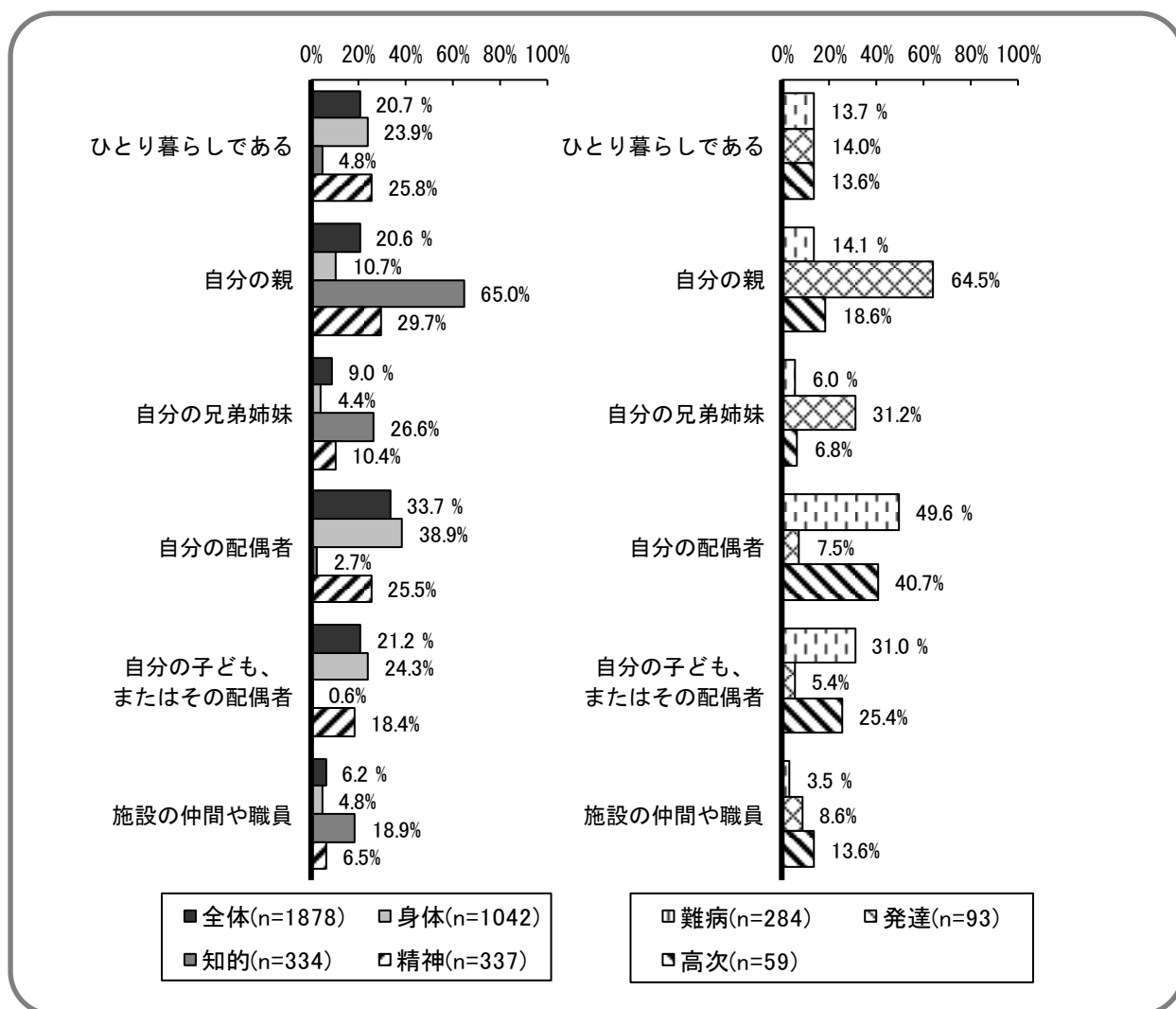


(2) 一緒に暮らしている人 (18歳以上 問10)

問 あなたは、どなたと暮らしていますか。(〇はいくつでも)

●[身体]、[難病]、[高次]では「自分の配偶者」が、[知的]、[精神]、[発達]では「自分の親」が多い。「ひとり暮らし」も、全体の2割。

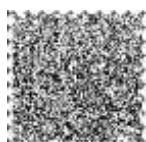
■障がいの分類別結果 (グラフは主な6選択肢)



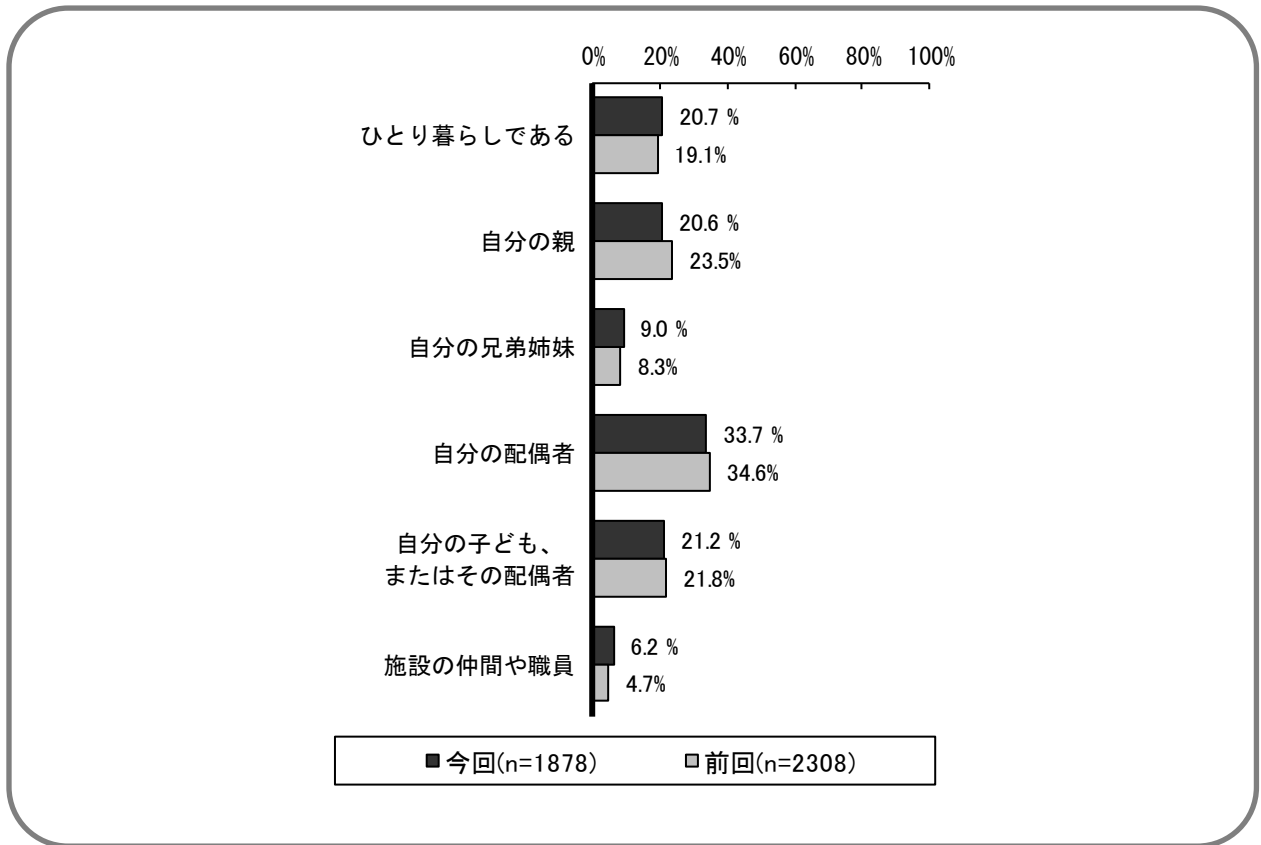
同居者については、全体では「自分の配偶者」が33.7%と最も多く、次いで、「自分の子ども、またはその配偶者」、「ひとり暮らしである」、「自分の親」となっています。

分類別に見ると、「自分の配偶者」との回答では[難病] (49.6%)、[高次] (40.7%)、[身体] (38.9%) が、「自分の親」との回答では[知的] (65.0%)、[発達] (64.5%)、[精神] (29.7%) が、全体より多くなっています。

(→詳細な調査結果は179ページ)

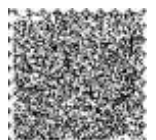


■ 前回調査との比較（グラフは主な6選択肢）



前回調査と比較すると大きな変化は見られず、「自分の配偶者」が最も多く、次いで「自分の子ども、またはその配偶者」となっています。

「ひとり暮らしである」との回答については、平成 28 年度調査と比べて 1.6%増加しており、全体の 2 割を超えています。



(3) 収入の種類 (18歳以上 問11)

問 あなたが生活をするためのお金で、一番多いのは次のうちどれですか。(○は1つ)

●自分と家族の、就労または年金が主要な収入源。

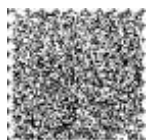
■障がいの分類別結果 (上位5回答、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
全体 (n=1878)	自分の年金	自分の就労	家族の就労	家族の年金	生活保護
	39.4	21.5	11.9	9.3	6.6
身体 (n=1042)	自分の年金	自分の就労	家族の年金	家族の就労	生活保護
	47.2	17.6	9.6	7.3	6.6
知的 (n=334)	自分の年金	自分の就労	家族の就労	家族の年金	生活保護
	39.5	22.2	19.5	6.3	3.0
精神 (n=337)	自分の年金	自分の就労	家族の就労	生活保護	家族の年金
	27.9	21.4	17.5	15.4	7.4
難病 (n=284)	自分の就労	自分の年金	家族の就労	家族の年金	自分の資産/ 家族の資産
	31.3	29.2	16.2	11.6	3.2
発達 (n=93)	自分の就労	自分の年金	家族の就労	生活保護	家族の年金
	29.0	22.6	20.4	10.8	5.4
高次 (n=59)	自分の年金	自分の就労	家族の年金	家族の就労	自分の資産/ 生活保護
	50.8	11.9	11.9	10.2	5.1

生活収入については、「自分の年金」との回答が、[高次] (50.8%)、[身体] (47.2%)、[知的] (39.5%)、[精神] (27.9%) で最も多くなっています。「自分の就労」との回答では、[難病] (31.3%) と[発達] (29.0%) で最も多くなっています。

すべての分類で、「自分の年金」、「自分の就労」、「家族の就労」、「家族の年金」の4選択肢がいずれも上位5回答に入っています。

(→詳細な調査結果は179ページ)





(4) 主な介助者・支援者（18歳以上 問12/18歳未満 問8）

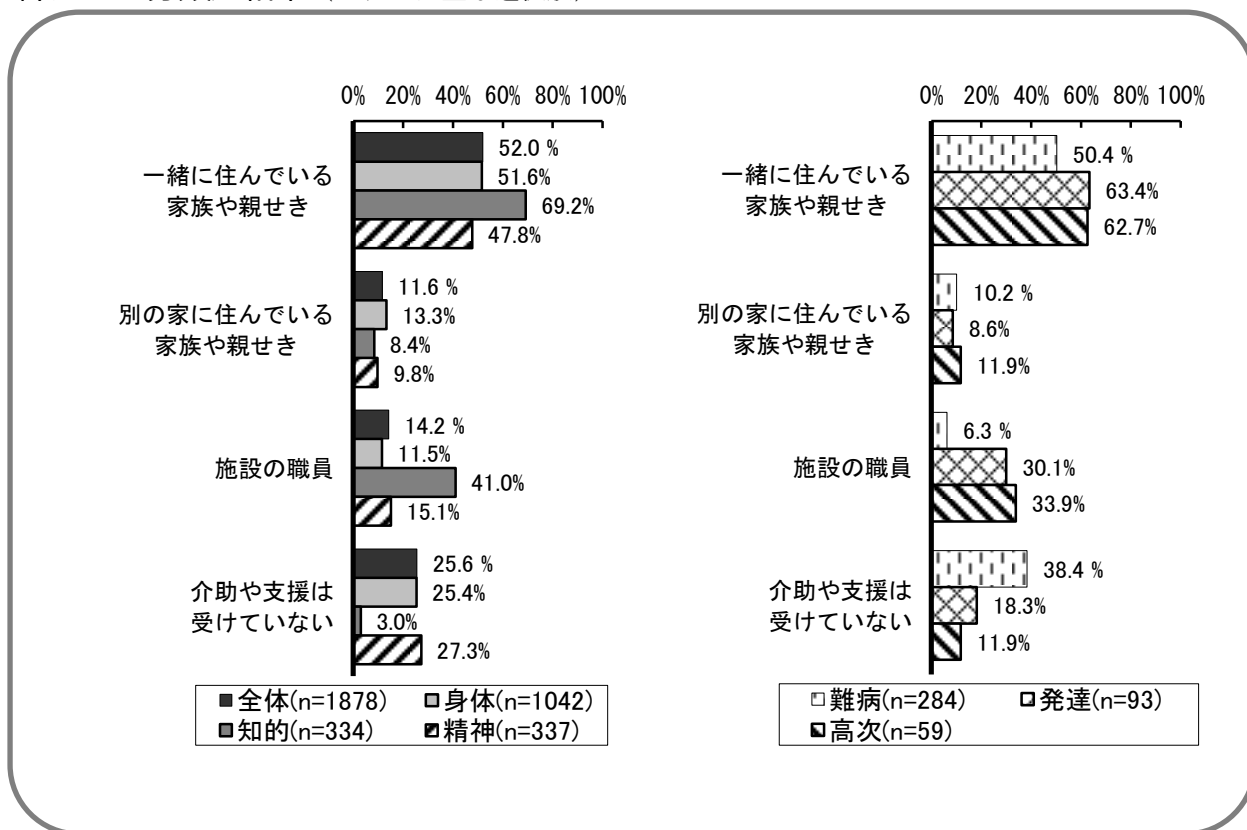
問 ふだん、あなたを介助・支援している（助けてくれる）のはどなたですか。

（〇はいくつでも）

<18歳以上>

●いずれも「一緒に住んでいる家族や親せき」との回答が多い。「介助や支援は受けていない」との回答は全体の25.6%。

■障がいの分類別結果（グラフは主な選択肢）



主な介助者・支援者については、「一緒に住んでいる家族や親せき」との回答がすべての分類で多く、[知的]、[発達]、[高次]では全体よりも多くなっています。

一方で、回答者全体では「介助や支援は受けていない」との回答が25.6%となっています。分類別では、[難病]（38.4%）、[精神]（27.3%）が全体よりも多くなっています。

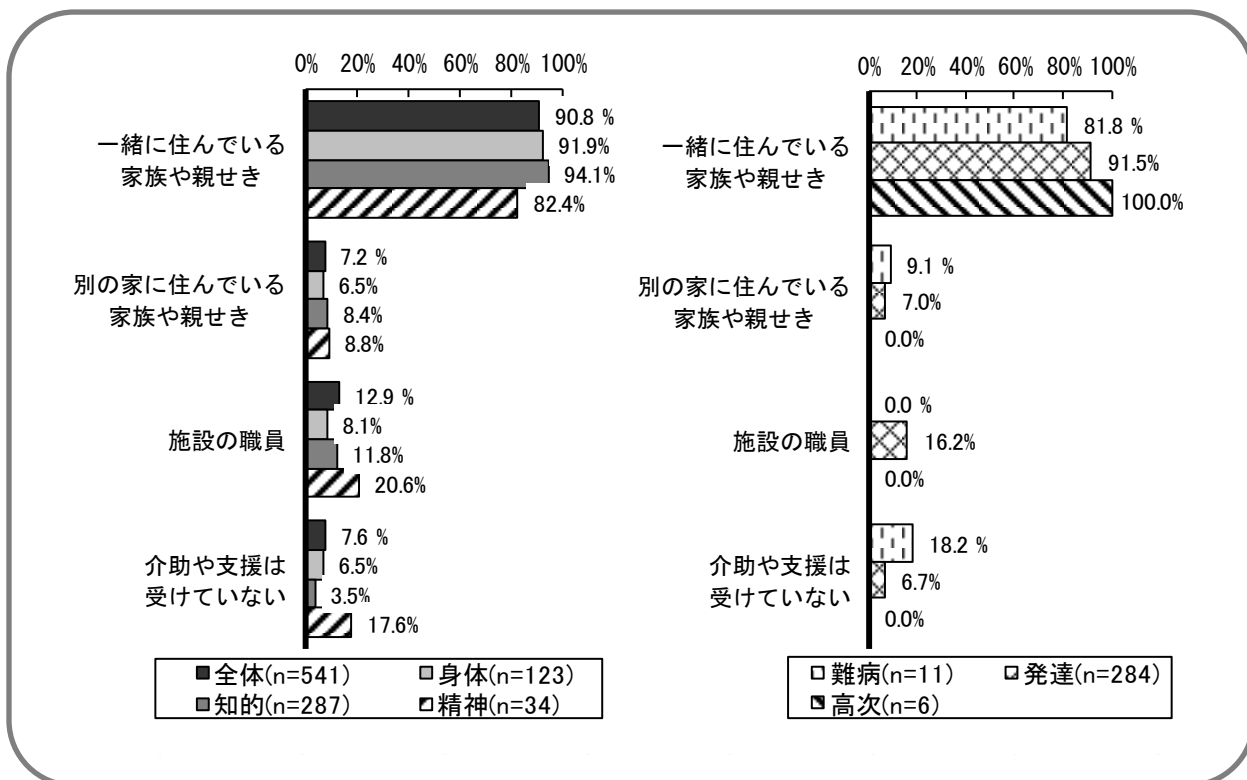
（→詳細な調査結果は180ページ）



<18 歳未満>

●いずれも「一緒に住んでいる家族や親せき」との回答が多い。

■障がいの分類別結果（グラフは主な選択肢）



18 歳未満では、いずれも「一緒に住んでいる家族や親せき」が最も多く、[精神]と[難病]が 8 割台である他は、9 割を超えて極めて多くなっています。

(→詳細な調査結果は 197 ページ)



(5) 主な介助者・支援者が不在時の対応 (18歳以上 問13/18歳未満 問9)

問 あなたは、介助や支援してくれる(助けてくれる)人がいない場合、どのようにしていますか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●同居、または同居していない家族や親せきに頼む場合が全体の2割。[精神]と[難病]では「特にない」が4割。

■障がいの分類別結果 (単位: %)

	一緒に住んでいる 他の家族や親せきに頼む	別の家に住んでいる 他の家族や親せきに頼む	緊急一時保護を使う	介護や家事援助などを行う ホームヘルプサービスを使う	短期入所を使う	近所の人や友達・知り合いに頼む	ボランティアに頼む	その他	特にない	無回答
全体 (n=1878)	22.2	21.6	4.0	8.7	6.4	7.9	1.8	5.4	35.6	8.2
身体 (n=1042)	21.7	22.3	2.4	10.6	5.8	7.9	2.1	4.9	34.5	8.4
知的 (n=334)	29.6	20.4	17.4	9.3	18.9	8.4	2.4	6.6	23.4	8.1
精神 (n=337)	18.1	19.9	2.1	8.0	3.9	8.9	2.1	9.5	40.7	5.9
難病 (n=284)	26.1	22.9	1.1	7.4	7.0	5.3	1.1	2.1	41.5	6.7
発達 (n=93)	25.8	21.5	11.8	7.5	15.1	9.7	3.2	8.6	34.4	7.5
高次 (n=59)	23.7	22.0	0.0	11.9	18.6	6.8	1.7	10.2	23.7	11.9

介助者がいない場合の対応については、全体では「特にない」との回答が最も多くなっており、[難病] (41.5%)、[精神] (40.7%) では全体よりも多くなっています。

それ以外の選択肢では、回答者全体で、「一緒に住んでいる他の家族や親せきに頼む」が22.2%、「別の家に住んでいる他の家族や親せきに頼む」が21.6%と2割を超えています。

また、[知的]、[高次]、[発達]においては「短期入所を使う」との回答が、全体よりも多くなっています。



<18歳未満>

●同居、または同居していない家族や親せきに頼む場合が18歳以上に比べ、多い。

■障がいの分類別結果（単位：％）

	一緒に住んでいる 他の家族や親せきに頼む	別の家に住んでいる 他の家族や親せきに頼む	緊急一時保護を使う	介護や家事援助などを行うホーム ヘルプサービスを使う	短期入所を使う	近所の人や友達・知り合いに頼む	ボランティアに頼む	その他	特にない	無回答
<b>全体</b> (n=541)	39.6	30.5	5.9	3.0	8.3	7.2	0.7	5.4	26.1	3.7
<b>身体</b> (n=123)	40.7	34.1	10.6	7.3	17.9	3.3	0.8	7.3	19.5	5.7
<b>知的</b> (n=287)	43.2	33.1	9.4	4.2	12.5	7.0	1.0	7.0	20.9	2.1
<b>精神</b> (n=34)	35.3	17.6	2.9	2.9	11.8	0.0	0.0	14.7	32.4	8.8
<b>難病</b> (n=11)	36.4	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2	36.4	0.0
<b>発達</b> (n=284)	43.0	27.8	3.5	2.1	5.3	7.7	0.7	4.9	26.8	3.5
<b>高次</b> (n=6)	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7

18歳未満では、回答者全体で「一緒に住んでいる他の家族や親せきに頼む」との回答が39.6%と最も多く、18歳以上の割合22.2%に比べ、17.4ポイント多くなっています。

2番目に、「別の家に住んでいる他の家族や親せきに頼む」との回答が多く、同居、または同居していない家族や親せきに頼む場合が7割を超えています。

それ以外の選択肢では、「短期入所を使う」との回答が多く、分類別では、[身体] (17.9%)、[高次] (16.7%)、[知的] (12.5%)、[精神] (11.8%) が全体よりも多くなっています。



(6) 生活における不安・困っていること (18歳以上 問14/18歳未満 問10)

問 あなたは、ご自分の生活のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●「健康や医療のこと」、「お金のこと」がすべての分類で多い。

■障がいの分類別結果 (上位5回答と「特にない」、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=1878)	健康や医療のこと	お金のこと	親が亡くなった後の過ごし方	仕事のこと	思うように言いたいことが伝えられないこと	特にない
	45.4	39.8	17.4	17.1	17.0	19.6
身体 (n=1042)	健康や医療のこと	お金のこと	家族のこと	思うように言いたいことが伝えられないこと	仕事のこと	特にない
	47.0	35.5	14.5	14.1	11.2	22.1
知的 (n=334)	親が亡くなった後の過ごし方	思うように言いたいことが伝えられないこと	健康や医療のこと	お金のこと	仕事のこと	特にない
	52.4	33.5	32.3	25.1	16.8	15.3
精神 (n=337)	お金のこと	健康や医療のこと	仕事のこと	親が亡くなった後の過ごし方	家族のこと	特にない
	67.4	51.9	38.0	32.3	30.9	6.8
難病 (n=284)	健康や医療のこと	お金のこと	仕事のこと	家族のこと	親が亡くなった後の過ごし方	特にない
	54.2	42.6	19.4	17.3	6.7	22.2
発達 (n=93)	親が亡くなった後の過ごし方	お金のこと	思うように言いたいことが伝えられないこと	健康や医療のこと	仕事のこと	特にない
	55.9	54.8	53.8	48.4	37.6	9.7
高次 (n=59)	健康や医療のこと	思うように言いたいことが伝えられないこと	お金のこと	施設やサービスのこと	家族のこと	特にない
	45.8	44.1	40.7	20.3	16.9	13.6



生活のことでの困りごととしては、いずれの分類でも「健康や医療のこと」と「お金のこと」が上位4位までに入っており、多くなっています。

[発達]と[知的]では、「親が亡くなった後の過ごし方」が最も多くなっています。

「思うように言いたいことが伝えられないこと」との回答については、[知的]と[高次]で2番目、[発達]で3番目と多くなっています。

「特にない」との回答については、[精神]と[発達]がそれぞれ1割以下にとどまっており、ほとんどの方が生活において何かしらの困りごとを抱えていることがうかがえます。

(→詳細な調査結果は 180 ページ)



■[身体]の「手帳を取るきっかけ（問6）」別結果（上位5回答と「特にない」、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
身体 (n=1042)	健康や医療のこと	お金のこと	家族のこと	思うように言いたいことが伝えられないこと	仕事のこと	特にない
	47.0	35.5	14.5	14.1	11.2	22.1
視覚 (n=160)	健康や医療のこと	お金のこと	困ったときの相談先がないこと	家族のこと	施設やサービスのこと	特にない
	50.6	37.5	14.4	10.6	10.6	20.6
聴覚 (n=157)	健康や医療のこと	お金のこと	思うように言いたいことが伝えられないこと	家族のこと	仕事のこと	特にない
	42.0	31.2	16.6	14.0	10.8	20.4
音声 (n=82)	思うように言いたいことが伝えられないこと	健康や医療のこと	お金のこと	家族のこと	施設やサービスのこと	特にない
	51.2	47.6	35.4	14.6	12.2	17.1
運動 (n=360)	健康や医療のこと	お金のこと	思うように言いたいことが伝えられないこと	家族のこと	施設やサービスのこと	特にない
	46.9	33.6	17.2	15.3	12.8	20.0
内部 (n=290)	健康や医療のこと	お金のこと	家族のこと	仕事のこと	親が亡くなった後の過ごし方	特にない
	49.7	37.6	15.9	11.7	6.9	26.9

[身体]の「手帳を取るきっかけ（問6）」別に見ると、[音声]では「思うように言いたいことが伝えられないこと」との回答が51.2%と最も多くなっています。[運動]（17.2%）、[聴覚]（16.6%）で、それぞれ3番目に入っています。

また、[視覚]では、3番目に「困ったときの相談先がないこと」が入っています。

「施設やサービスのこと」については、[運動]、[音声]、[視覚]でそれぞれ5番目に入っています。

（→詳細な調査結果は180ページ）



■年齢別に見た傾向（単位：％）

	学校のこと	お金のこと	仕事のこと	家族のこと	健康や医療のこと	近所付き合いのこと	困ったときの相談先がないこと	進路や就職のこと	施設やサービスのこと	親が亡くなった後の過ごし方	自分の自由な時間の過ごし方	いやがらせや暴力などを受けること	思うように言いたいことが伝えられないこと	その他	特にない	無回答
<b>全体 (n=1878)</b>	0.4	39.8	17.1	16.9	45.4	4.6	9.9	4.2	8.6	17.4	6.5	2.7	17.0	3.7	19.6	2.7
<b>18～39歳 (n=320)</b>	1.9	41.3	34.1	17.8	37.2	7.5	12.5	12.2	10.6	47.5	12.8	5.3	30.9	4.7	12.2	1.6
<b>40～64歳 (n=632)</b>	0.2	50.0	29.6	20.4	46.4	6.3	13.9	6.2	6.8	23.7	6.6	4.3	18.8	3.6	16.5	1.1
<b>65歳以上 (n=882)</b>	0.1	32.4	2.7	13.8	48.0	2.3	5.9	0.0	9.5	2.2	4.1	0.7	11.1	3.4	24.4	3.9

年齢別の傾向を見ると、[18～39歳]では、「特にない」との回答が12.2%と全体と比べて低くなっています。生活のことの困りごととしては、「親が亡くなった後の過ごし方」が47.5%で最も多く、「お金のこと」、「仕事のこと」、「健康や医療のこと」、「思うように言いたいことが伝えられないこと」との回答が多くなっています。

[40～64歳]では、「お金のこと」との回答が50.0%と全体と比べて多く、次いで「仕事のこと」が多くなっています。

[65歳以上]では、「特にない」との回答が24.4%と全体と比べて多くなっています。また、「健康や医療のこと」との回答が全体と比べて多く、年齢があがるに伴い、割合も多くなっています。





<18歳未満>

●「思うように言いたいことが伝えられない」、「学校のこと」が4割を超える。

■障がいの分類別結果（上位5回答と「特にない」、単位：%）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=541)	思うように言いたいことが伝えられないこと	学校のこと (保育園や幼稚園も含む)	親が亡くなった後の過ごし方	進路や就職のこと	お金のこと	特にない
	48.2	44.4	36.8	34.8	18.9	13.7
身体 (n=123)	親が亡くなった後の過ごし方	学校のこと (保育園や幼稚園も含む)	進路や就職のこと	思うように言いたいことが伝えられないこと	健康や医療のこと	特にない
	44.7	43.1	37.4	34.1	33.3	12.2
知的 (n=287)	思うように言いたいことが伝えられないこと	親が亡くなった後の過ごし方	進路や就職のこと	学校のこと (保育園や幼稚園も含む)	お金のこと	特にない
	57.1	51.2	37.3	31.7	24.4	11.1
精神 (n=34)	進路や就職のこと	学校のこと (保育園や幼稚園も含む)	思うように言いたいことが伝えられないこと	親が亡くなった後の過ごし方	お金のこと	特にない
	52.9	50.0	47.1	41.2	26.5	11.8
難病 (n=11)	お金のこと	健康や医療のこと/ 親が亡くなった後の過ごし方/ 思うように言いたいことが伝えられないこと			学校のこと (保育園や幼稚園も含む)	特にない
	54.5	45.5			36.4	9.1
発達 (n=284)	思うように言いたいことが伝えられないこと	学校のこと (保育園や幼稚園も含む)	進路や就職のこと	親が亡くなった後の過ごし方	お金のこと	特にない
	54.2	50.0	35.2	33.5	15.1	12.3
高次 (n=6)	学校のこと (保育園や幼稚園も含む)	親が亡くなった後の過ごし方/ 思うように言いたいことが伝えられないこと		健康や医療のこと/ 進路や就職のこと		特にない
	83.3	66.7		50.0		0.0

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

18歳未満では、回答者全体で「思うように言いたいことが伝えられないこと」(48.2%)、「学校のこと（保育園や幼稚園も含む）」(44.4%)が4割を超えて多くなっています。

18歳以上に比べ「健康や医療のこと」がやや順位を落としているのに対し、「学校のこと（保育園や幼稚園も含む）」や「進路や就職のこと」などの順位が高くなっている傾向が見られます。

(→詳細な調査結果は198ページ)



■年齢別に見た傾向（単位：％）

	学校のこと（保育園や幼稚園も含む）	お金のこと	健康や医療のこと	家族のこと	困ったときの相談先がないこと	近所付き合いのこと	施設やサービスのこと	進路や就職のこと	自分の自由な時間の過ごし方	親が亡くなった後の過ごし方	思うように言いたいことが伝えられないこと	いやがらせや暴力などを受けること	その他	特にない	無回答
<b>全体</b> (n=541)	44.4	18.9	17.6	8.7	8.7	5.2	17.0	34.8	10.5	36.8	48.2	6.3	3.9	13.7	1.5
<b>0～2歳</b> (n=17)	52.9	17.6	35.3	23.5	5.9	17.6	23.5	23.5	5.9	29.4	41.2	0.0	0.0	11.8	0.0
<b>3～5歳</b> (n=127)	62.2	14.2	14.2	4.7	9.4	2.4	20.5	29.1	2.4	24.4	41.7	6.3	4.7	16.5	2.4
<b>6～11歳</b> (n=215)	47.4	19.1	20.9	7.9	8.4	5.6	15.8	31.2	13.5	36.7	47.9	6.0	4.2	13.5	1.4
<b>12～14歳</b> (n=74)	35.1	14.9	10.8	10.8	6.8	4.1	14.9	43.2	10.8	43.2	59.5	9.5	2.7	9.5	1.4
<b>15～17歳</b> (n=104)	21.2	26.9	17.3	11.5	10.6	6.7	16.3	45.2	15.4	49.0	48.1	5.8	3.8	14.4	1.0

年齢別の傾向を見ると、[0～2歳]では、「学校のこと（保育園や幼稚園も含む）」が52.9%となった他、「健康や医療のこと」、「家族のこと」、「施設やサービスのこと」、「近所付き合いのこと」の項目が全体と比べて多くなっており、乳児期であることやこれから障がいを知って、対応していく段階として困りごとが多くある状況がうかがえます。[3～5歳]でも「学校のこと」が62.2%と多くなっています。

[12～14歳]では、「思うように言いたいことが伝えられないこと」との回答が59.5%と、全体と比べて多くなっています。

また、[12～14歳]と[15～17歳]では、「進路や就職のこと」や「親が亡くなった後の過ごし方」との回答が4割を超えており、全体と比べて多くなっています。



(7) 健康や医療についての不安、困っていること (18歳以上 問15/18歳未満 問11)

問 あなたは、ご自分の健康や医療のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●すべての分類で「障がいの重度化や病気が悪くなること」が最も多い。

■障がいの分類別結果 (上位5回答と「特にない」、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=1878)	障がいの重度化や病気が悪くなること	病院にかかるお金の負担が大きい	栄養管理がむずかしい	気軽に相談ができない	薬の管理がむずかしい	特にない
	39.4	18.4	12.0	11.8	10.4	30.5
身体 (n=1042)	障がいの重度化や病気が悪くなること	病院にかかるお金の負担が大きい	栄養管理がむずかしい	気軽に相談ができない	薬の管理がむずかしい	特にない
	42.8	16.0	10.9	9.8	8.1	31.0
知的 (n=334)	障がいの重度化や病気が悪くなること	薬の管理がむずかしい	治療の説明がわからない	障がい者専門の病院がない	栄養管理がむずかしい/気軽に相談できない	特にない
	25.4	19.5	16.5	14.4	13.2	33.8
精神 (n=337)	障がいの重度化や病気が悪くなること	気軽に相談ができない	病院にかかるお金の負担が大きい	栄養管理がむずかしい	薬の管理がむずかしい	特にない
	41.5	24.3	22.8	17.5	16.9	23.7
難病 (n=284)	障がいの重度化や病気が悪くなること	病院にかかるお金の負担が大きい	栄養管理がむずかしい	薬の管理がむずかしい	気軽に相談ができない	特にない
	50.7	27.1	10.9	6.3	5.6	24.6
発達 (n=93)	障がいの重度化や病気が悪くなること	気軽に相談ができない	病院にかかるお金の負担が大きい	薬の管理がむずかしい	栄養管理がむずかしい	特にない
	36.6	26.9	23.7	22.6	20.4	23.7
高次 (n=59)	障がいの重度化や病気が悪くなること	気軽に相談ができない	薬の管理がむずかしい/病院にかかるお金の負担が大きい		栄養管理がむずかしい	特にない
	50.8	25.4		23.7	20.3	16.9

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

健康や医療での困りごととしては、いずれの分類でも「障がいの重度化や病気が悪くなること」がもっとも多くなっています。

上位項目以外の回答としては、[知的]で「治療の説明がわからない」が3番目、「障がい者専門の病院がない」が4番目、などが特徴的です。

(→詳細な調査結果は181ページ)



■年齢別に見た傾向（単位：％）

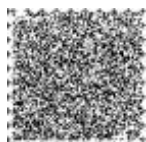
	障がいの重度化や病気が悪くなること	栄養管理がむずかしい	薬の管理がむずかしい	障がい者専門の病院がない	気軽に相談ができない	治療の説明がわからない	負担が大きい	病院にかかるお金の負担が大きい	通院のための介助者がいない	休日や夜間に対応してくれる病院がない	その他	特にない	無回答
全体 (n=1878)	39.4	12.0	10.4	5.6	11.8	6.1	18.4	5.9	5.0	5.9	30.5	3.7	
18～39歳 (n=320)	35.0	13.8	15.9	10.0	20.6	11.6	18.4	5.9	7.2	7.2	30.0	2.5	
40～64歳 (n=632)	41.5	13.6	10.6	6.5	16.0	7.3	19.1	5.2	5.4	7.6	27.7	2.5	
65歳以上 (n=882)	40.1	10.1	8.0	3.5	5.6	2.9	17.9	6.0	3.9	4.2	33.1	4.6	

年齢別の傾向を見ると、[18～39歳]では、「気軽に相談ができない」、「薬の管理がむずかしい」「治療の説明がわからない」との回答が多くなっています。

■地域別に見た傾向（単位：％）

	障がいの重度化や病気が悪くなること	栄養管理がむずかしい	薬の管理がむずかしい	障がい者専門の病院がない	気軽に相談ができない	治療の説明がわからない	負担が大きい	病院にかかるお金の負担が大きい	通院のための介助者がいない	休日や夜間に対応してくれる病院がない	その他	特にない	無回答
全体 (n=1878)	39.4	12.0	10.4	5.6	11.8	6.1	18.4	5.9	5.0	5.9	30.5	3.7	
大森地域 (n=588)	38.4	11.9	10.4	5.1	11.9	6.6	18.4	6.1	3.7	6.0	31.8	2.9	
調布地域 (n=420)	45.2	12.1	12.1	6.0	11.7	6.2	18.6	5.7	5.0	8.1	27.1	2.4	
蒲田地域 (n=541)	37.3	12.6	9.2	6.7	10.9	5.5	18.1	5.0	5.5	4.8	32.7	5.0	
菟谷・羽田地域 (n=277)	39.4	10.5	9.7	4.7	13.7	5.4	19.9	7.6	6.5	4.7	28.9	3.2	

地域別に傾向を見たところ、「障がい者専門の病院がない」、「休日や夜間に対応してくれる病院がない」といった回答について、大きな差は見られません。



<18歳未満>

●「障がいの重度化や病気が悪くなること」、「障がい者専門の病院がない」、「気軽に相談ができない」が多い。

■障がいの分類別結果（上位5回答と「特にない」、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=541)	障がいの重度化や病気が悪くなること	障がい者専門の病院がない	気軽に相談ができない	薬の管理がむずかしい	栄養管理がむずかしい	特にない
	19.4	11.8	11.3	9.8	7.6	48.2
身体 (n=123)	障がいの重度化や病気が悪くなること	病院にかかるお金の負担が大きい	障がい者専門の病院がない	気軽に相談ができない	薬の管理がむずかしい	特にない
	44.7	9.8	8.9	8.1	5.7	27.6
知的 (n=287)	障がいの重度化や病気が悪くなること	障がい者専門の病院がない	気軽に相談ができない	薬の管理がむずかしい	栄養管理がむずかしい	特にない
	18.5	18.1	15.0	13.2	11.8	39.4
精神 (n=34)	薬の管理がむずかしい	病院にかかるお金の負担が大きい	障がいの重度化や病気が悪くなること	気軽に相談ができない／治療の説明がわからない		特にない
	35.3	20.6	17.6	11.8		44.1
難病 (n=11)	障がいの重度化や病気が悪くなること	病院にかかるお金の負担が大きい	障がい者専門の病院がない	薬の管理がむずかしい／気軽に相談ができない／治療の説明がわからない		特にない
	54.5	45.5	27.3	9.1		9.1
発達 (n=284)	障がい者専門の病院がない	障がいの重度化や病気が悪くなること	気軽に相談ができない	薬の管理がむずかしい	栄養管理がむずかしい	特にない
	14.1	11.6	10.6	8.5	8.1	54.2
高次 (n=6)	障がいの重度化や病気が悪くなること	薬の管理がむずかしい	治療の説明がわからない	障がい者専門の病院がない／気軽に相談ができない／病院にかかるお金の負担が大きい		特にない
	66.7	50.0	33.3	16.7		0.0

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

18歳未満では、健康や医療での困りごととしては、「特にない」との回答が全体の48.2%で最も多くなっています。

分類別に見ると、「障がいの重度化や病気が悪くなること」が[高次]、[難病]、[身体]、[知的]で最も多く、[精神]では「薬の管理が難しい」、[発達]では「障がい者専門の病院がない」との回答が最も多くなっています。

(→詳細な調査結果は198ページ)

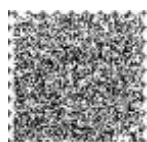


■ 年齢別に見た傾向 (単位：%)

	障がいの重度化や 病気が悪くなること	栄養管理がむずかしい	薬の管理がむずかしい	障がい者専門の 病院がない	気軽に相談ができない	治療の説明が わからない	病院にかかるお金の 負担が大きい	通院のための 介助者がいない	休日や夜間に対応して くれる病院がない	その他	特にな い	無回 答
全体 (n=541)	19.4	7.6	9.8	11.8	11.3	6.5	6.3	2.2	2.2	9.4	48.2	3.5
0～2歳 (n=17)	52.9	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	41.2	5.9
3～5歳 (n=127)	20.5	7.1	3.1	10.2	5.5	2.4	1.6	0.0	3.1	8.7	58.3	3.1
6～11歳 (n=215)	20.5	8.4	10.2	11.6	11.6	7.0	5.1	3.3	1.4	9.8	46.0	4.2
12～14歳 (n=74)	9.5	8.1	14.9	16.2	17.6	10.8	2.7	4.1	1.4	10.8	44.6	2.7
15～17歳 (n=104)	17.3	7.7	15.4	12.5	13.5	8.7	17.3	1.0	3.8	10.6	44.2	1.9

年齢別の傾向を見ると、[0～2歳]では、「障がいの重度化や病気が悪くなること」が52.9%と全体に比べて極めて高くなっていることがうかがえます。

[12～14歳]では「気軽に相談できない」との回答が、[15～17歳]では「病院にかかるお金の負担が大きい」と「薬の管理がむずかしい」が多くなっています。



■地域別に見た傾向（単位：％）

	障がいの重度化や病気が悪くなること	栄養管理がむずかしい	薬の管理がむずかしい	障がい者専門の病院がない	気軽に相談ができない	治療の説明がわからない	病院にかかるお金の負担が大きい	通院のための介助者がいない	休日や夜間に対応してくれる病院がない	その他	特にない	無回答
<b>全体</b> (n=541)	19.4	7.6	9.8	11.8	11.3	6.5	6.3	2.2	2.2	9.4	48.2	3.5
<b>大森地域</b> (n=171)	17.0	7.0	9.9	12.3	10.5	5.8	4.1	1.8	2.3	8.8	52.6	3.5
<b>調布地域</b> (n=143)	23.1	6.3	9.1	9.8	10.5	4.9	7.7	2.8	1.4	8.4	49.7	3.5
<b>蒲田地域</b> (n=157)	19.7	7.6	7.0	14.0	11.5	5.7	7.0	2.5	3.8	8.9	45.2	3.8
<b>糀谷・羽田地域</b> (n=68)	16.2	11.8	17.6	10.3	14.7	13.2	5.9	1.5	0.0	14.7	41.2	2.9

地域別に傾向を見たところ、18歳以上と同様に、「障がい者専門の病院がない」、「休日や夜間に対応してくれる病院がない」といった、地域的な特性が表れやすい点についての大きな差は見られません。



### 3 日中の過ごし方

(1) 平日の日中、主に過ごす場所（18歳以上 問16/18歳未満 問12）

問 あなたは、月曜日から金曜日（平日）の日中（昼間）、どこで過ごしていますか。  
 （○は1つ）

<18歳以上>

● [知的]は「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設に通っている」、[難病]と[発達]は「会社などで働いている」が多い。

■ 障がいの分類別結果（単位：％）

	会社などで働いている、または、自分で商売などを行っている	働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設に通っている	家において、特に何もしていない	家で家事や育児、介護などを行っている	学校に通っている	治療やリハビリのために、病院に通院している、または入院している	自宅で、居宅介護、重度訪問介護、重度障害者等包括支援を受けている	その他	無回答
全体 (n=1878)	26.7	11.8	29.6	8.7	0.4	8.3	2.7	7.0	4.8
身体 (n=1042)	21.7	6.0	36.0	8.4	0.1	10.2	3.7	8.8	5.0
知的 (n=334)	25.4	49.1	8.7	1.5	0.6	3.0	2.7	5.1	3.9
精神 (n=337)	25.8	15.7	23.4	14.5	0.9	8.3	2.1	7.1	2.1
難病 (n=284)	41.9	0.4	26.8	10.6	0.4	7.7	4.6	4.6	3.2
発達 (n=93)	33.3	31.2	12.9	5.4	2.2	4.3	1.1	6.5	3.2
高次 (n=59)	8.5	15.3	23.7	8.5	0.0	13.6	6.8	16.9	6.8

日中の過ごし方については、全体では「家において、特に何もしていない」が29.6%と最も多くなっています。次いで「会社などで働いている、自分で商売（自営業）などを行っている」（26.7%）、「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設（自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護、療養介護）に通っている」（11.8%）となっています。

分類別に見ると、[知的]では「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設に通っている」との回答が、[難病]と[発達]では、「会社などで働いている、または、自分で商売などを行っている」との回答が最も多くなっています。

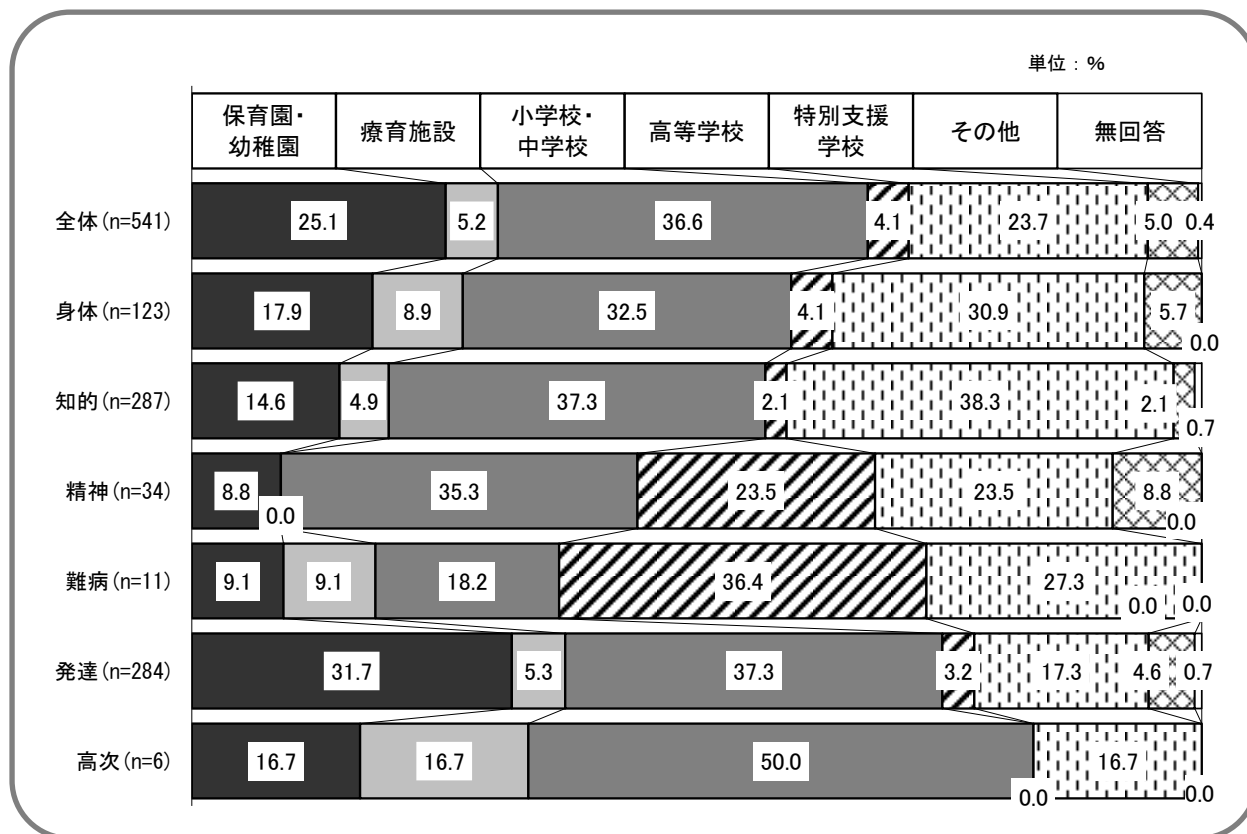




<18歳未満>

●全体では、「小学校・中学校」が最も多い。[知的]、[身体]では「特別支援学校」との回答が3割を超えている。

■障がいの分類別結果



18歳未満では、回答者全体では「小学校・中学校」との回答が36.6%で最も多く、次いで「保育園・幼稚園」(25.1%)、「特別支援学校」(23.7%)となっています。

分類別に見ると、[身体]、[知的]で「特別支援学校」との回答が、3割を超えています。

他の選択肢では、「高等学校」との回答が、[難病](36.4%)、[精神](23.5%)と、全体より多くなっています。



(2) 仕事をする上での不安や不満 (18歳以上 問16-2)

問 「(1) 平日の日中、主に過ごす場所」で「会社などで働いている、または、自分で商売(自営業)などを行っている」とお答えの方へ) 仕事をする上で不安や不満はありますか。(〇はいくつでも)

● [難病]を除くすべての分類で「給料が少ない」が最も多い。

■ 障がいの分類別結果 (上位5回答と「特に不安や不満はない」、単位:%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=502)	給料が少ない	障がいの重度化や体調不良	職場の人たちとの人間関係がむずかしい	昇給や昇進に違いがある	働く条件や契約の内容に不安がある/障がいへの理解が十分でない	特に不安や不満はない
	29.7	18.9	18.3	12.5	12.2	33.7
身体 (n=226)	給料が少ない	障がいの重度化や体調不良	職場の人たちとの人間関係がむずかしい	障がいへの理解が十分でない	働く条件や契約の内容に不安がある	特に不安や不満はない
	25.2	20.4	16.4	14.6	11.5	36.7
知的 (n=85)	給料が少ない	職場の人たちとの人間関係がむずかしい	昇給や昇進に違いがある	障がいへの理解が十分でない	働く条件や契約の内容に不安がある	特に不安や不満はない
	32.9	28.2	20.0	12.9	11.8	27.1
精神 (n=87)	給料が少ない	職場の人たちとの人間関係がむずかしい	働く条件や契約の内容に不安がある	障がいの重度化や体調不良	昇給や昇進に違いがある	特に不安や不満はない
	52.9	29.9	25.3	24.1	18.4	18.4
難病 (n=119)	障がいの重度化や体調不良	給料が少ない	通うのが大変	職場の人たちとの人間関係がむずかしい/働く条件や契約の内容に不安がある		特に不安や不満はない
	21.0	20.2	11.8		7.6	42.0
発達 (n=31)	給料が少ない	働く条件や契約の内容に不安がある	職場の人たちとの人間関係がむずかしい	障がいの重度化や体調不良/昇給や昇進に違いがある/障がいへの理解が十分でない		特に不安や不満はない
	41.9	38.7	35.5		22.6	22.6
高次 (n=5)	給料が少ない	働く条件や契約の内容に不安がある/障がいへの理解が十分でない/その他				特に不安や不満はない
	40.0				20.0	20.0

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

※斜線を引いている枠は、その順位に該当する項目がないことを示しています

仕事をする上での不安や不満については、「給料(もらえるお金)が少ない」との回答が[難病]を除くすべての分類において最も多く、また[難病](20.2%)でも2番目に多くなっています。

他方で、[精神]や[発達]では「特に不安や不満はない」との回答の割合が他よりも低く、不安を抱えている方が多いことがうかがえます。



(→詳細な調査結果は181ページ)

■年齢別に見た傾向（単位：％）

	給料が少ない	仕事がむずかしい	障がいの重度化や体調不良	相談する人や場所がない	仕事内容が単調すぎる	自分に合った内容の仕事がない	職場の人たちとの人間関係がむずかしい	働く条件や契約の内容に不安がある	トイレなど障がい者用の設備が十分でない	昇給や昇進に違いがある	通うのが大変	障がいへの理解が十分でない	その他	特に不安や不満はない	無回答
<b>全体</b> (n=502)	29.7	5.2	18.9	7.8	3.0	5.0	18.3	12.2	2.4	12.5	8.6	12.2	4.0	33.7	3.0
<b>18～39歳</b> (n=123)	33.3	5.7	19.5	9.8	6.5	4.1	22.0	12.2	1.6	22.8	5.7	14.6	2.4	32.5	2.4
<b>40～64歳</b> (n=277)	31.0	6.1	20.2	9.0	2.2	6.5	20.2	15.2	3.2	11.9	10.1	14.4	4.7	28.9	2.2
<b>65歳以上</b> (n=96)	21.9	1.0	14.6	2.1	1.0	1.0	7.3	4.2	1.0	2.1	7.3	3.1	4.2	47.9	6.3

年齢別の傾向を見ると、[18～39歳]では、「昇給や昇進に違いがある（なかなか給料（もらえるお金）が上がらない）」との回答が22.8%と全体と比べて多くなっています。

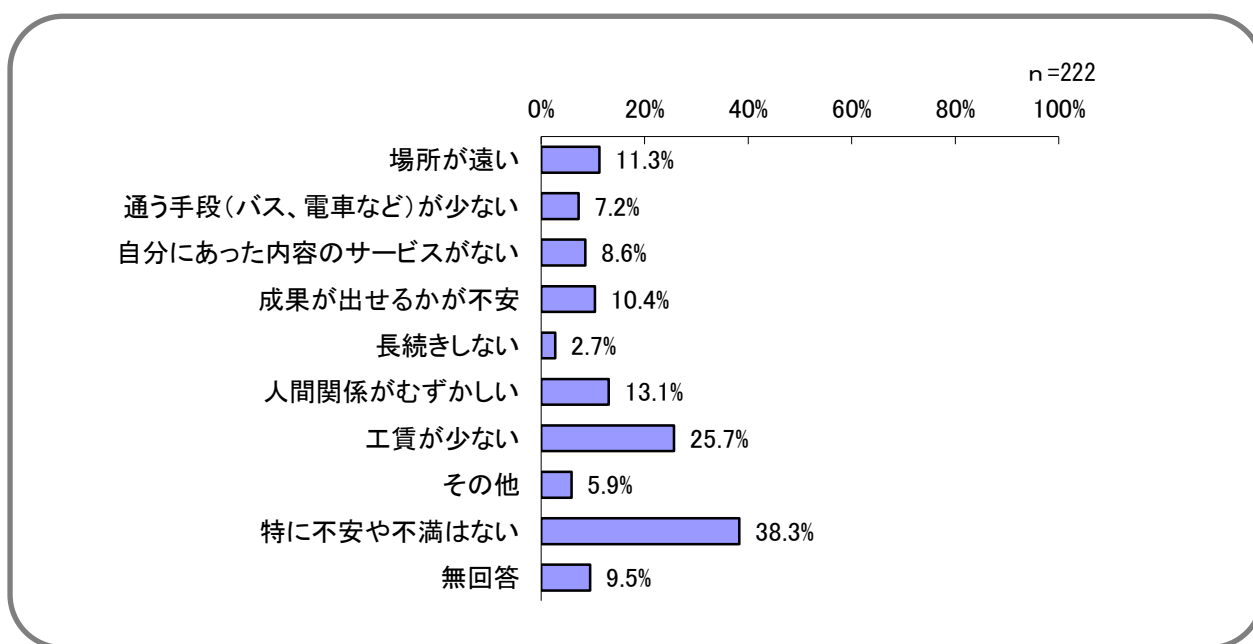


### (3) 就労継続支援などの施設での不安や不満（18歳以上 問16-3）

問 「(1) 平日の日中、主に過ごす場所」で「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設に通っている」とお答えの方へ) 自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、生活介護、療養介護などの施設に通う上で不安や不満はありますか。(〇はいくつでも)

#### ●「特に不安や不満がない」が最も多いが、他では「工賃が少ない」が多い。

##### ■ 調査結果



就労継続支援などの施設での不安や不満については、「特に不安や不満はない」との回答が 38.3%で最も多くなっています。

それ以外の選択肢では、「工賃（もらえるお金）が少ない」との回答が 25.7%で最も多く、「人間関係がむずかしい」、「場所が遠い」などが続いています。

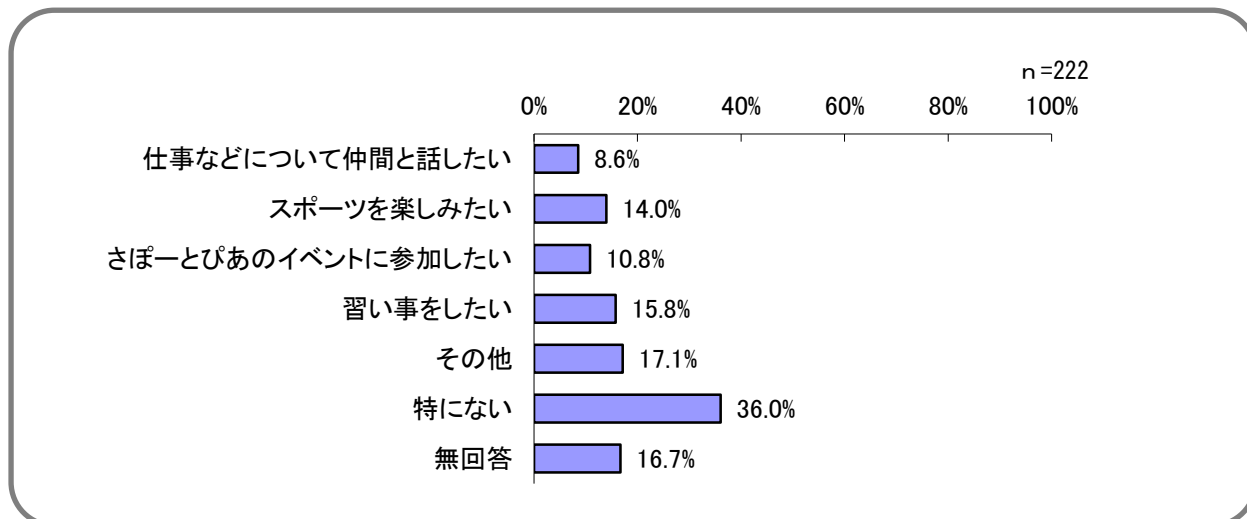


#### (4) 施設通所後の過ごし方 (18歳以上 問16-4)

問 「(1) 平日の日中、主に過ごす場所」で「働く練習や社会生活を学ぶために作業などを行う施設に通っている」とお答えの方へ) 施設で過ごした後はどのように過ごしたいですか。(〇はいくつでも)

### ●「特にない」が最も多い。

#### ■ 調査結果



施設通所後の過ごし方については、「特にない」との回答が 36.0%で最も多くなっています。

それ以外の選択肢では、無回答を除くと、「その他」との回答が 17.1%で最も多く、次いで「習い事をしたい」、「スポーツを楽しみたい」「さぼーとびあのイベントに参加したい」などが多くなっています。

「その他」の記述内容としては、「家でゆっくり過ごしたい」が主な回答となっています。

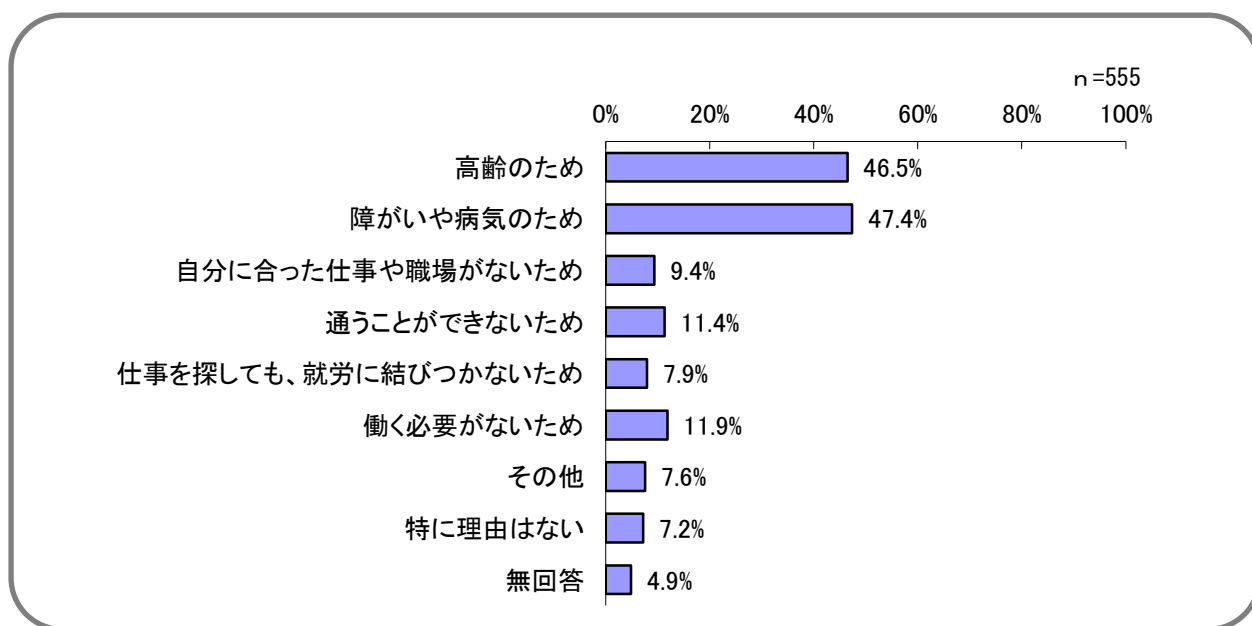


(5) 平日の日中を家で過ごしている理由 (18歳以上 問 16-5)

問 「(1) 平日の日中、主に過ごす場所」で「家にいて、特に何もしていない」とお答えの方へ) 何もしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

●「障がいや病気のため」「高齢のため」との回答が非常に多い。

■ 調査結果



「家にいて、特に何もしていない」方に、その理由をたずねたところ、「障がいや病気のため」(47.4%)と「高齢のため」(46.5%)との回答が4割を超えており、非常に多くなっています。

次いで、「働く必要がないため」、「通うことができないため」などが続いています。

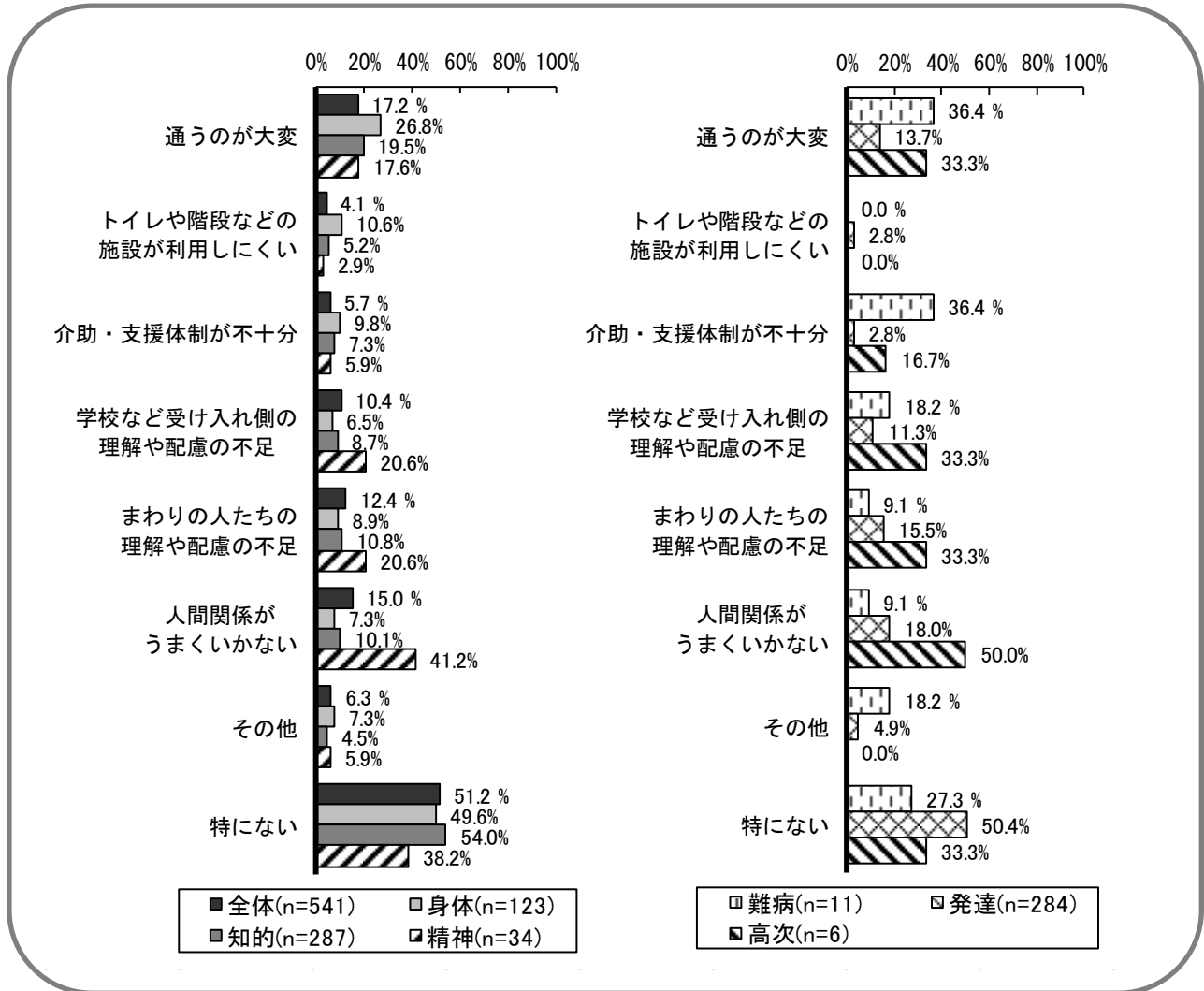


(6) 通園・通学での困りごと (18歳未満 問13)

問 あなたは、通園や通学で困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

●困りごとの中では「通うのが大変」、「人間関係」、「理解や配慮の不足」の順。

■障がいの分類別結果



通学・通園の困りごとについては、全体では「特にない」との回答が 51.2%と多くなっています。

それ以外の選択肢では、「通うのが大変」が 17.2%で最も多く、「人間関係がうまくいかない」、「まわりの人たちの理解や配慮の不足」などが続いています。

(→詳細な調査結果は 199 ページ)



■年齢別に見た傾向（単位：％）

	通うのが大変	トイレや階段などの施設が利用しにくい	介助・支援体制が不十分	学校など受け入れ側の理解や配慮の不足	まわりの人たちの理解や配慮の不足	人間関係がうまくいかない	その他	特にない	無回答
<b>全体</b> (n=541)	17.2	4.1	5.7	10.4	12.4	15.0	6.3	51.2	4.3
<b>0～2歳</b> (n=17)	23.5	5.9	5.9	5.9	11.8	5.9	5.9	47.1	17.6
<b>3～5歳</b> (n=127)	11.0	3.9	5.5	11.8	12.6	11.0	5.5	58.3	4.7
<b>6～11歳</b> (n=215)	19.1	4.2	6.0	9.8	10.7	14.9	6.5	48.8	4.2
<b>12～14歳</b> (n=74)	20.3	4.1	4.1	13.5	14.9	18.9	9.5	45.9	2.7
<b>15～17歳</b> (n=104)	18.3	3.8	6.7	6.7	12.5	19.2	4.8	51.9	2.9

年齢別の傾向を見ると、[0～2歳]では、「通うのが大変」が23.5%となっており、全体と比べ、6.3ポイント多くなっています。



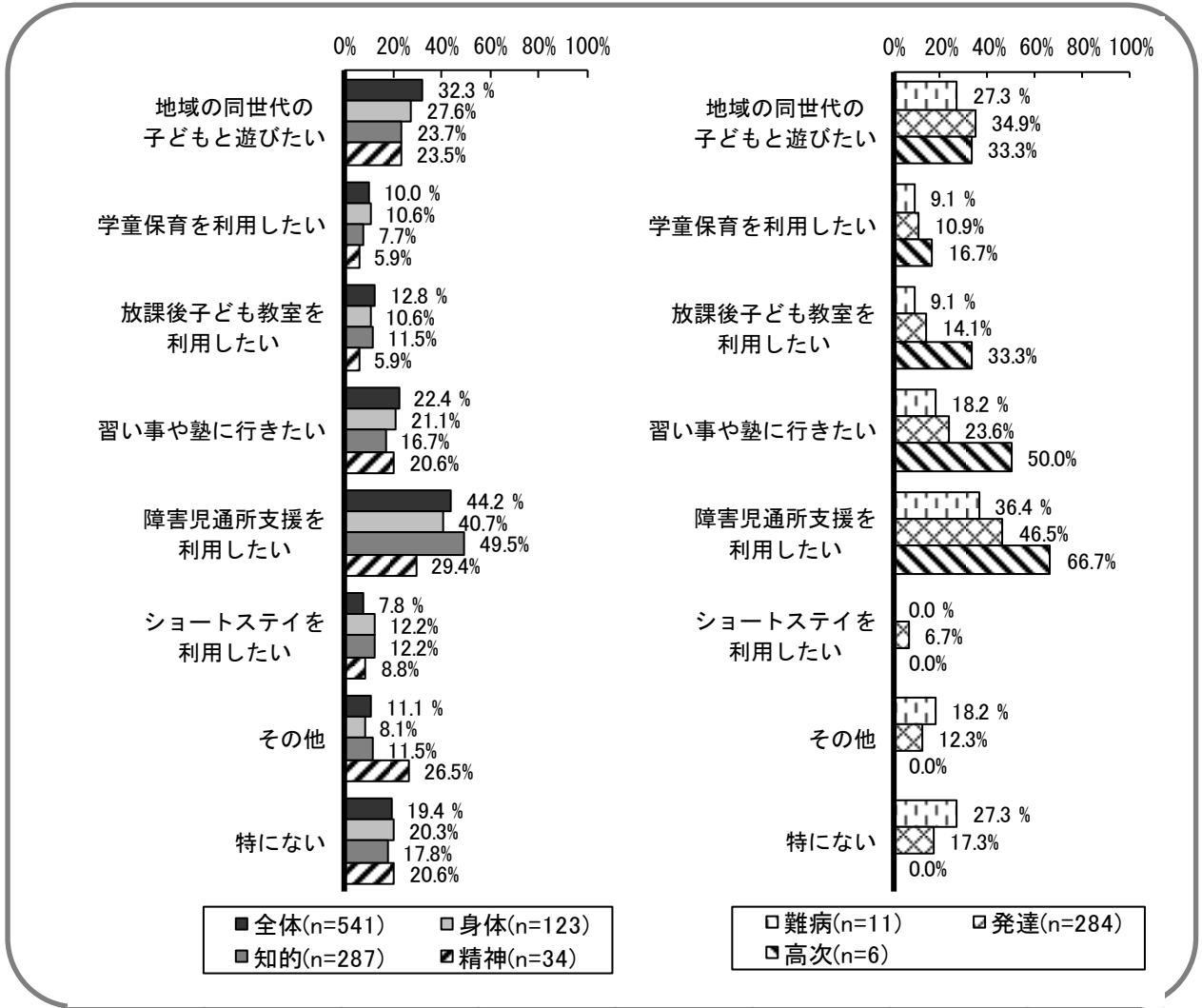


(7) 放課後等の過ごし方 (18歳未満 問14)

問 あなたは、放課後や学校休業日などの時間をどのように過ごしたいですか。  
(○はいくつでも)

●「障害児通所支援」、「同世代の子どもと遊びたい」、「習い事や塾に行きたい」の順。

■障がいの分類別結果



放課後や学校休業日などの過ごし方は、全体では「障害児通所支援を利用したい」が44.2%で最も多く、次いで、「地域の同世代の子どもと遊びたい」、「習い事や塾に行きたい」などとなっています。

(→詳細な調査結果は199ページ)



■年齢別に見た傾向（単位：％）

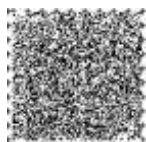
	地域の同世代の子どもと遊びたい	学童保育を利用したい	放課後子ども教室を利用したい	習い事や塾に行きたい	障害児通所支援を利用したい	ショートステイを利用したい	その他	特にない	無回答
全体 (n=541)	32.3	10.0	12.8	22.4	44.2	7.8	11.1	19.4	1.7
0～2歳 (n=17)	29.4	0.0	0.0	5.9	41.2	11.8	0.0	41.2	11.8
3～5歳 (n=127)	41.7	16.5	15.0	22.8	55.1	5.5	7.1	14.2	2.4
6～11歳 (n=215)	40.9	14.9	19.1	28.8	48.8	5.6	12.1	11.6	1.9
12～14歳 (n=74)	21.6	0.0	8.1	18.9	39.2	5.4	13.5	24.3	0.0
15～17歳 (n=104)	12.5	1.0	2.9	14.4	24.0	16.3	13.5	35.6	0.0

年齢別の傾向を見ると、[3～5歳]では「障害児通所支援を利用したい」と「地域の同世代の子と遊びたい」、「学童保育を利用したい」が、[6～11歳]では「地域の同世代の子と遊びたい」と「習い事や塾に行きたい」、「放課後子ども教室を利用したい」との回答が多くなっています。

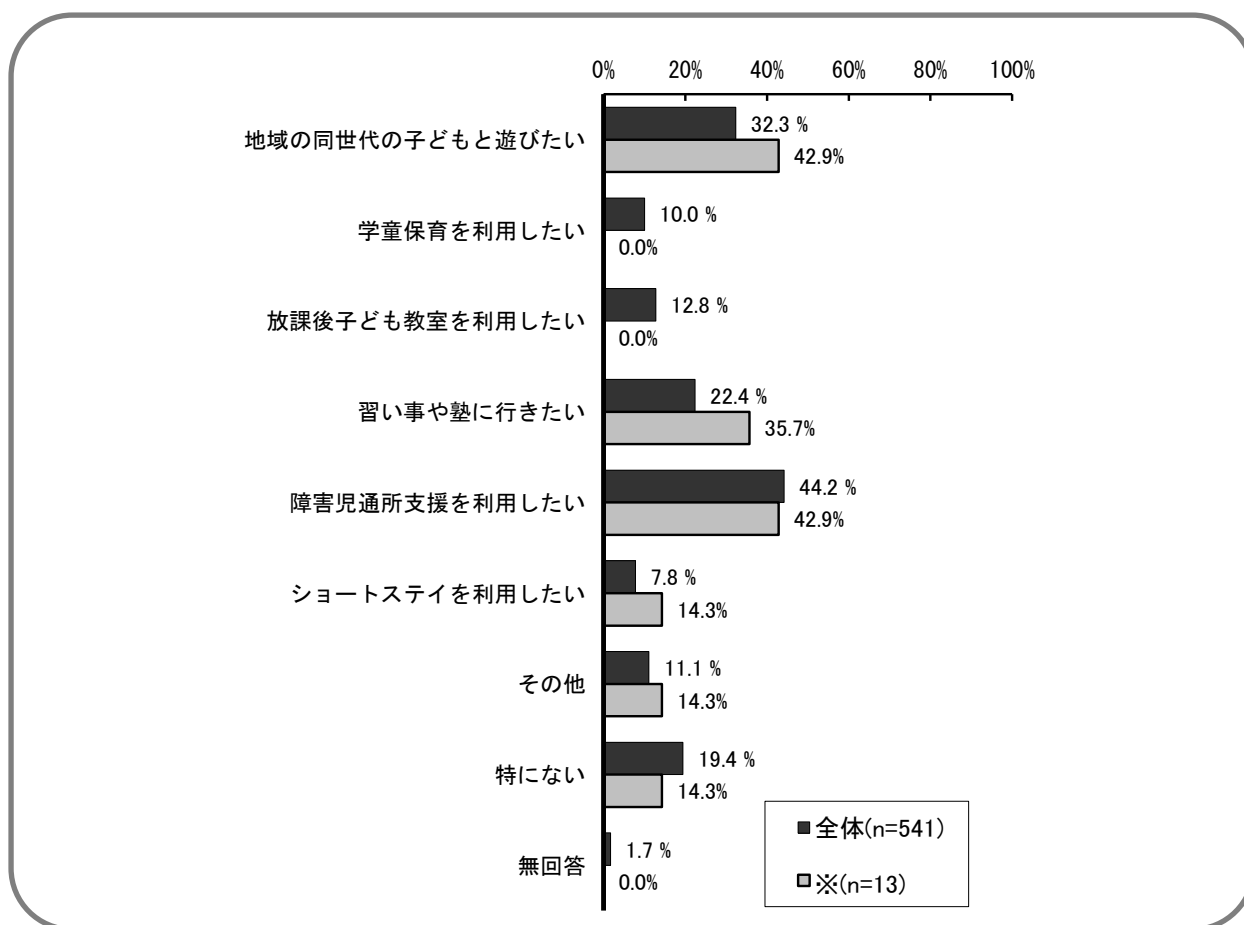
■前回調査との比較（単位：％）

	地域の同世代の子どもと遊びたい	学童保育を利用したい	放課後子ども教室を利用したい	習い事や塾に行きたい	障害児通所支援を利用したい	ショートステイを利用したい	その他	特にない	無回答
今回 (n=541)	32.3	10.0	12.8	22.4	44.2	7.8	11.1	19.4	1.7
前回 (n=665)	31.0	8.4	9.8	23.5	40.3	5.7	9.5	21.2	2.3

前回調査との比較では、大きな変化は見られません。



■ 「障害福祉サービス等を『使っていない』」（18歳未満 問17）かつ「障害福祉サービス等の利用を『今より増やしたい』」（18歳未満 問22）人の傾向



※ 「4 サービスの利用について（2）障害福祉サービス等の利用の有無（18歳未満 問17）」で「使っていない」かつ、「4 サービスの利用について（7）今後のサービス利用意向（18歳未満 問22）」で「今より増やしたい」と回答した人

放課後等の過ごし方の傾向を見ると、回答者数が少ないものの、「地域の同世代の子どもと遊びたい」と「障害児通所支援を利用したい」がともに42.9%で最も多くなっています。

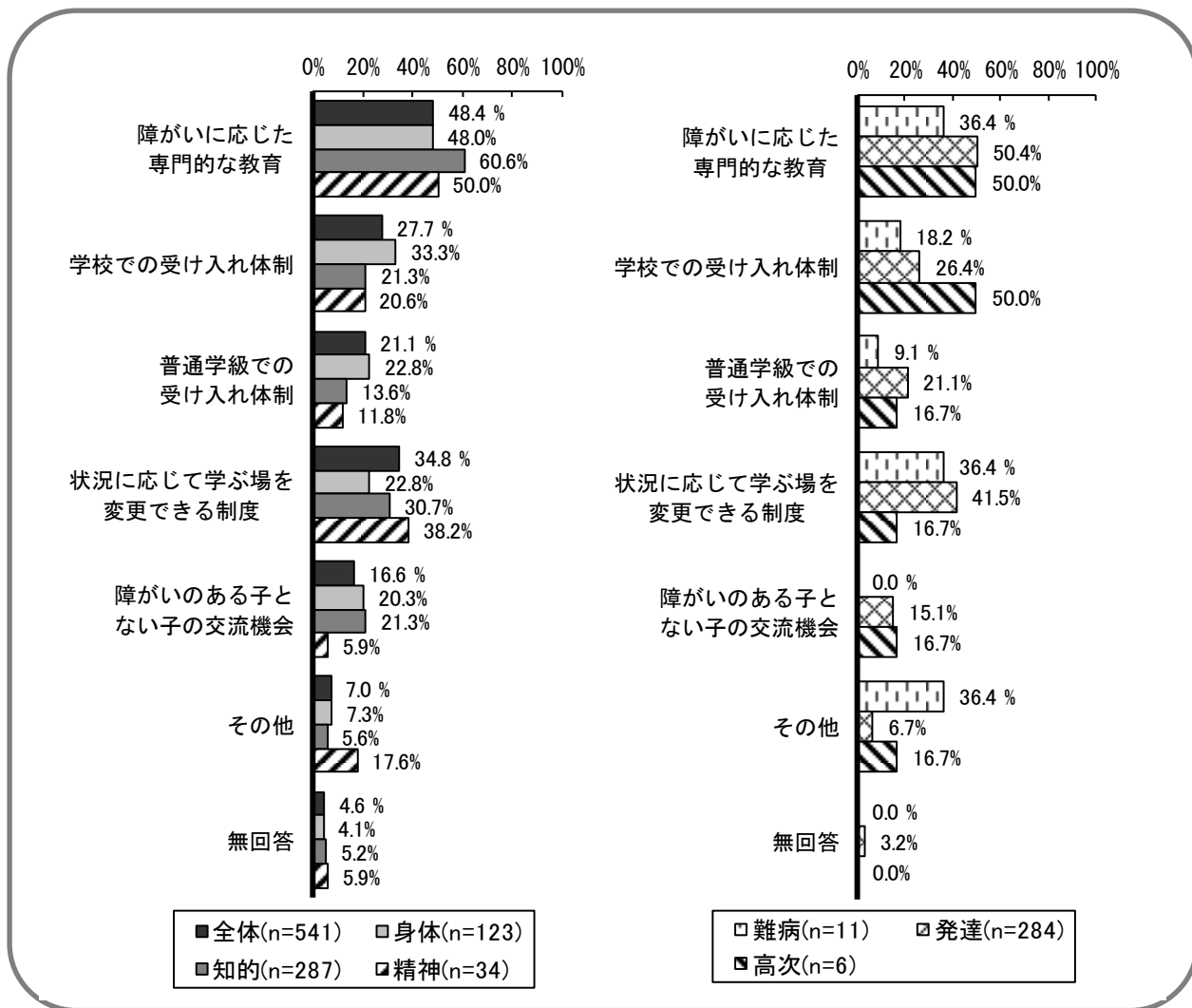


(8) 教育で充実してほしいこと (18歳未満 問15)

問 あなたが、教育の場面において、特に充実させてほしいのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

●いずれも「障がいに応じた専門的な教育」が、最も多い。

■障がいの分類別結果



教育で充実してほしいことについては、いずれも「障がいに応じた専門的な教育」が最も多く、全体で48.4%となっています。

次いで、「状況に応じて学ぶ場を変更できる制度」、「学校での受け入れ態勢」などとなっています。



■年齢別に見た傾向（単位：％）

	障がいに応じた専門的な教育	学校での受け入れ体制	普通学級での受け入れ体制	状況に応じて学ぶ場を変更できる制度	障がいのある子とない子の交流機会	その他	無回答
全体 (n=541)	48.4	27.7	21.1	34.8	16.6	7.0	4.6
0～2歳 (n=17)	64.7	23.5	17.6	35.3	17.6	0.0	5.9
3～5歳 (n=127)	49.6	39.4	30.7	43.3	14.2	3.1	0.0
6～11歳 (n=215)	48.8	25.1	20.9	36.3	17.7	7.9	4.7
12～14歳 (n=74)	41.9	28.4	21.6	28.4	20.3	8.1	4.1
15～17歳 (n=104)	49.0	18.3	10.6	25.0	15.4	10.6	10.6

年齢別の傾向を見ると、[0～2歳]では「障がいに応じた専門的な教育」が64.7％と、全体と比べ、16.3ポイントも上回っています。[3～5歳]では「状況に応じて学ぶ場を変更できる制度」、「学校での受け入れ体制」、「普通学級での受け入れ体制」がそれぞれ多くなっています。

■前回調査との比較（単位：％）

	障がいに応じた専門的な教育	学校での受け入れ体制	普通学級での受け入れ体制	状況に応じて学ぶ場を変更できる制度	障がいのある子とない子の交流機会	その他	無回答
今回 (n=541)	48.4	27.7	21.1	34.8	16.6	7.0	4.6
前回 (n=665)	58.6	30.5	21.7	32.2	21.1	6.9	3.9

前回との比較では、「障がいに応じた専門的な教育」との回答では減少が見られますが、引き続き最も高い意向となっています。



## 4 サービスの利用について

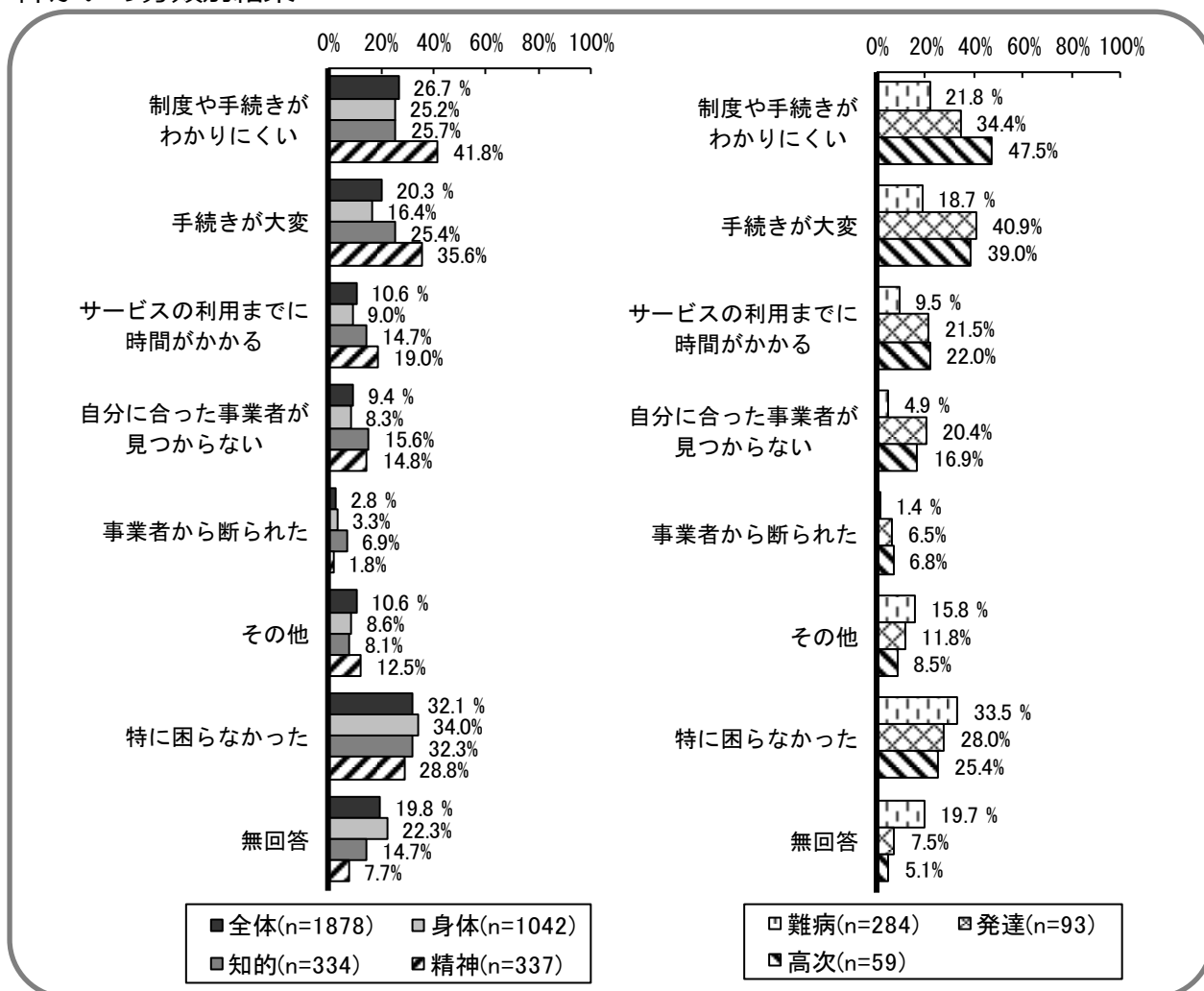
### (1) サービスを受けるまでに困ったこと（18歳以上 問17/18歳未満 問16）

問 あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思った時に、困ったことはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

<18歳以上>

●困りごとの中では「制度や手続きが分かりにくい」と「手続きが大変」が多い。

■障がいの分類別結果



サービスを受けるまでの困りごととしては、全体では「特に困らなかった」が32.1%で最も多くなっています。

それ以外の選択肢では、「制度や手続きが分かりにくい」が最も多く、次いで「手続きが大変」となっており、この2項目が2割を超えています。

分類別に見ると、[精神]、[発達]、[高次]では「制度や手続きが分かりにくい」と[手続きが大変]との回答が[特に困らなかった]よりも高く、利用するための課題になっていることが分かります。



■ 前回との比較（単位：％）

	制度や手続きがわかりにくい	手続きが大変	サービスの利用までに時間がかかる	自分に合った事業者が見つからない	事業者から断られた	その他	特に困らなかった	無回答
今回 (n=1878)	26.7	20.3	10.6	9.4	2.8	10.6	32.1	19.8
前回 (n=2308)	31.7	24.2	13.1	6.8	1.6	8.4	29.3	17.2

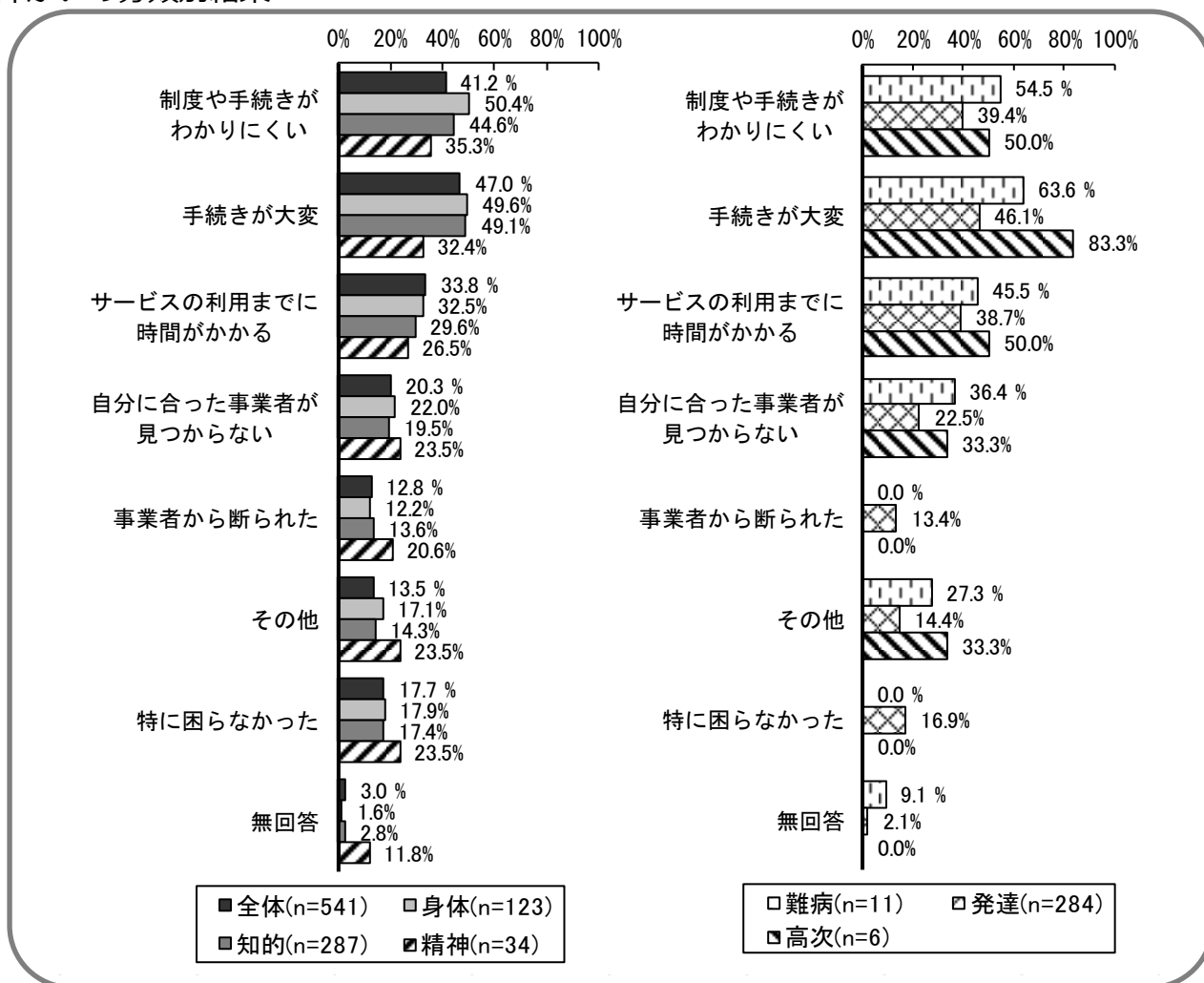
前回との比較では、「制度や手続きがわかりにくい」が 5.0 ポイント下がっています。



<18歳未満>

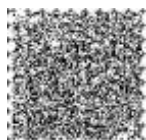
●18歳以上に比べ「特に困らなかった」との回答が少ない。

■障がいの分類別結果



18歳未満では、全体では「手続きが大変」が47.0%で最も多く、次いで、「制度や手続きがわかりにくい」、「サービスの利用までに時間がかかる」などとなっています。

18歳以上では最も多かった「特に困らなかった」との回答は、18歳未満では17.7%にとどまっています。





■ 前回との比較（単位：％）

	制度や手続きが わかりにくい	手続きが大変	サービスの利用までに 時間がかかる	自分に合った事業者 が見つからない	事業者から断られた	その他	特に困らなかった	無回答
<b>今回</b> (n=541)	41.2	47.0	33.8	20.3	12.8	13.5	17.7	3.0
<b>前回</b> (n=665)	43.3	42.0	28.4	17.7	9.5	11.7	17.4	3.3

前回との比較では、「サービスの利用までに時間がかかる」や「手続きが大変」が前回よりも多くなっています。



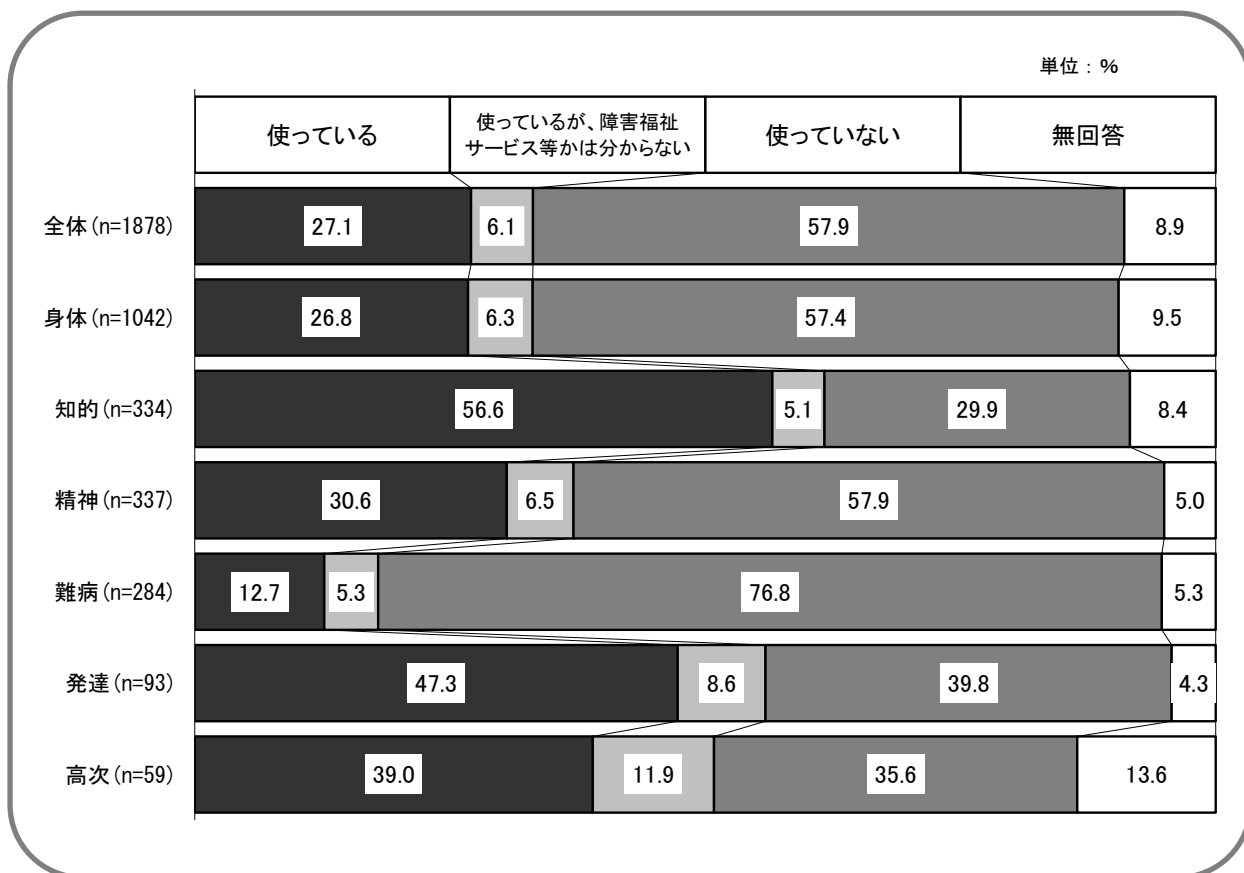
(2) サービスの利用の有無 (18歳以上 問18/18歳未満 問17)

問 あなたは、障害福祉サービス等を使っていますか。(○は1つ)

<18歳以上>

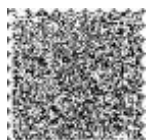
● [知的]、[発達]、[高次]での「使っている」が多い。

■ 障がいの分類別結果



障害福祉サービス等の利用については、全体では「使っている」との回答が27.1%となっています。

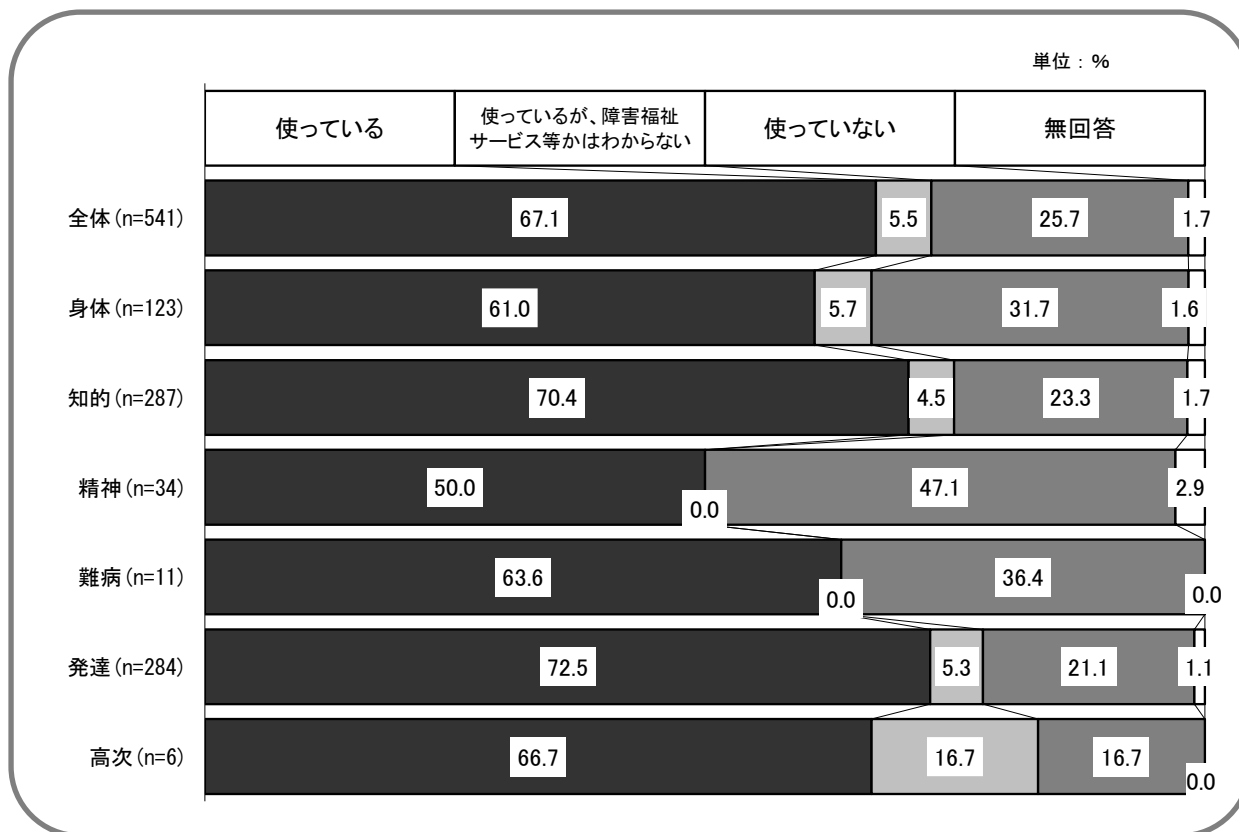
分類別に見ると、[知的]では、「使っている」との回答が56.6%で最も多く、[発達]や[高次]でも同様の傾向となっています。



<18歳未満>

●18歳以上と比べ「使っている」との回答が多い。

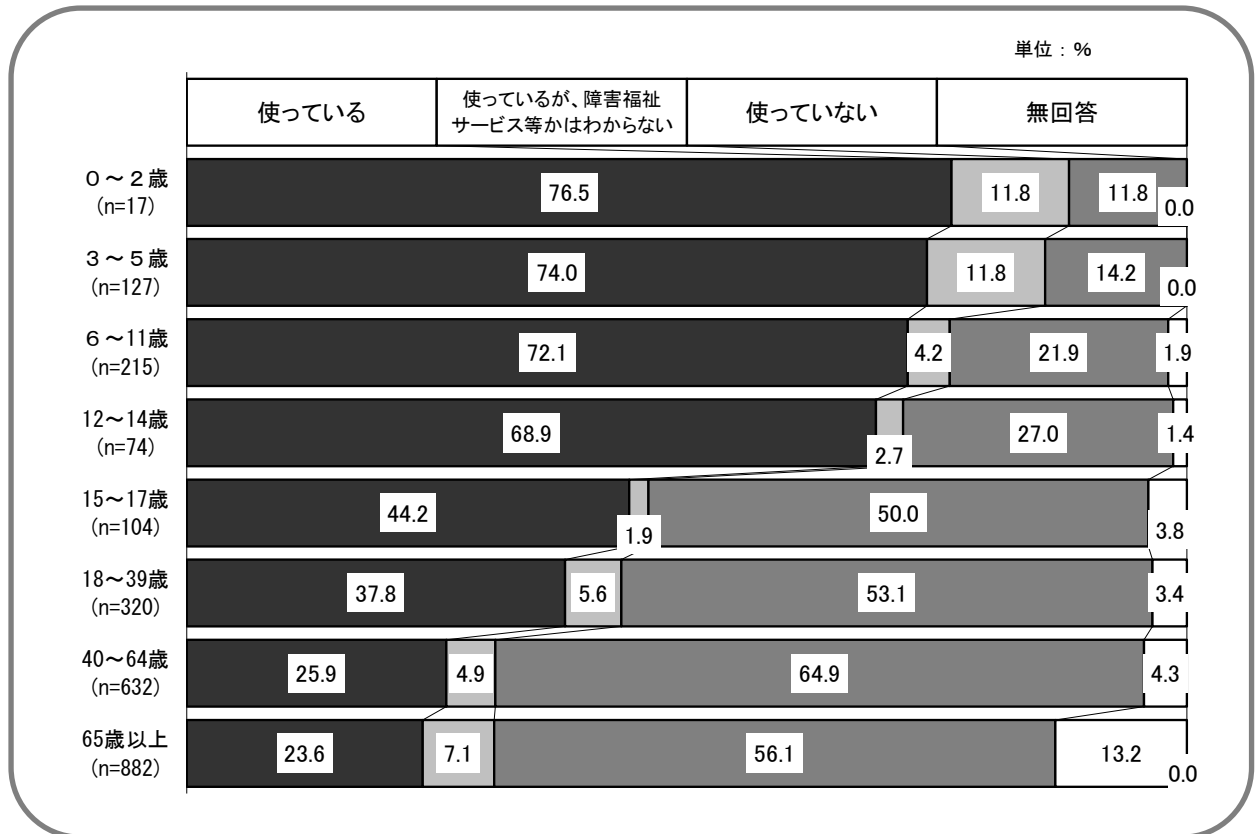
■障がいの分類別結果



18歳未満では、全体では「使っている」との回答は67.1%で最も多くなっています。分類別に見ると、「使っている」との回答は、[発達] (72.5%)、[知的] (70.4%)、で全体よりも多く、7割を超えています。



◆年齢別の傾向〈18歳以上／18歳未満〉



上記の結果は「18歳以上」と「18歳未満」での「(2)サービスの利用の有無」を年齢順に並べたものです。

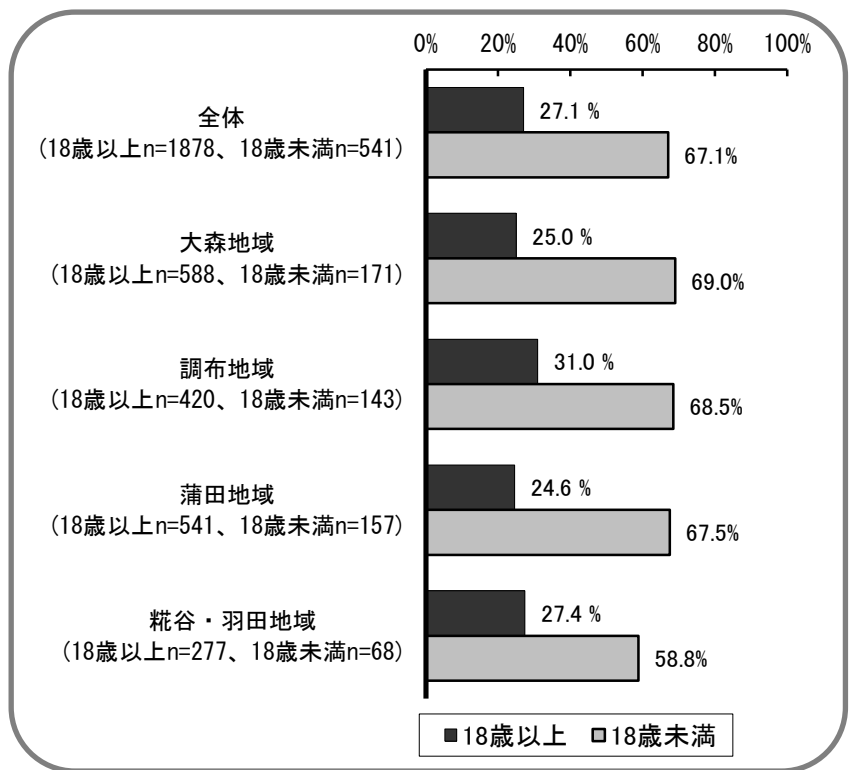
このようにして見ると、「利用している」については[0～2歳]が最も多く、年齢が上がるにつれて利用している人の割合が少なくなっています。



◆「使っている人」の地域別の傾向<18歳以上/18歳未満>

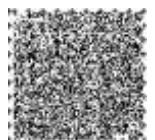
「使っている」と回答した人の、地域別の傾向を見ると、「18歳未満」では、[糀谷・羽田地域]は58.8%と低くなっています。

一方、「18歳以上」では大きな差異は見られません。



(調査結果) (単位：%)

		使っている	なんらかのサービスを利用しているが、障害福祉サービス等かどうかはわからない	使っていない	無回答
18歳以上	全体 (n=1878)	27.1	6.1	57.9	8.9
	大森地域 (n=588)	25.0	5.4	61.1	8.5
	調布地域 (n=420)	31.0	6.4	57.1	5.5
	蒲田地域 (n=541)	24.6	6.3	59.3	9.8
	糀谷・羽田地域 (n=277)	27.4	6.9	55.2	10.5
18歳未満	全体 (n=541)	67.1	5.5	25.7	1.7
	大森地域 (n=171)	69.0	4.7	24.6	1.8
	調布地域 (n=143)	68.5	6.3	23.1	2.1
	蒲田地域 (n=157)	67.5	5.1	26.1	1.3
	糀谷・羽田地域 (n=68)	58.8	7.4	32.4	1.5



(3) 利用しているサービスの種類 (18歳以上 問19/18歳未満 問18)

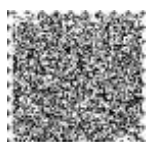
問 (「(2) サービスの利用の有無」で「使っている」または「なんらかのサービスを使っているが、障害福祉サービス等かはわからない」とお答えの方へ) どのようなサービスを使っていますか。具体的にお書きください。

※調査結果について…分類については、障害福祉のサービスとして提供していることが明らかなもののみとしました。また、この調査報告書の表に限り縦軸（上から下にかけて）方向に、それぞれ回答者全体と、各年齢別の分類ごとの全体に対する割合を示しています。

<18歳以上>

◆障害福祉サービス等の年齢別結果 (単位：%)

	全体 (n=1878)	18~39歳 (n=320)	40~64歳 (n=632)	65歳以上 (n=882)
<b>&lt;訪問系サービス&gt;</b>				
居宅介護	1.2	1.9	2.1	0.3
重度訪問介護	0.2	0.0	0.5	0.1
同行援護	1.1	0.3	1.9	0.9
行動援護	0.2	0.0	0.0	0.3
重度障害者等包括支援	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>&lt;日中活動系サービス&gt;</b>				
生活介護	1.8	5.9	1.4	0.6
自立訓練（生活訓練・機能訓練）	0.6	1.6	0.6	0.3
就労移行支援	0.5	1.9	0.6	0.0
就労継続支援A型	0.2	0.0	0.6	0.0
就労継続支援B型	2.7	6.6	4.3	0.2
就労継続支援（※A型・B型の記載なし）	0.4	1.3	0.6	0
就労定着支援	0.2	0.0	0.6	0.0
療養介護	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所	2.0	6.9	1.9	0.3
<b>&lt;居住系サービス&gt;</b>				
自立生活援助	0.0	0.0	0.0	0.0
共同生活援助（グループホーム）	1.2	2.5	2.1	0.0
施設入所支援	0.5	0.3	0.8	0.5
<b>&lt;相談支援&gt;</b>				
計画相談支援	2.3	7.2	2.8	0.3
地域相談支援（地域移行支援）	0.1	0.3	0.0	0.0
地域相談支援（地域定着支援）	0.0	0.0	0.0	0.0



◆地域生活支援事業の年齢別結果（単位：％）

	全体 (n=1878)	18～39歳 (n=320)	40～64歳 (n=632)	65歳以上 (n=882)
相談支援事業	0.1	0.0	0.2	0.0
意思疎通支援事業	0.1	0.0	0.0	0.1
日常生活用具給付等事業	0.5	0.0	0.0	1.0
移動支援事業	3.5	13.8	2.4	0.6
地域活動支援センター	0.3	0.0	0.8	0.1
訪問入浴サービス	0.5	1.3	0.5	0.1
日中一時支援	0.7	1.9	0.9	0.1
レクリエーション活動等支援	0.1	0.3	0.0	0.0

◆その他の支援の年齢別結果（単位：％）

	全体 (n=1878)	18～39歳 (n=320)	40～64歳 (n=632)	65歳以上 (n=882)
<b>&lt;経済面への支援&gt;</b>				
自立支援医療制度	0.1	0.6	0.0	0.0
その他、医療費への支援	0.1	0.0	0.0	0.2
補聴器への補助	0.2	0.0	0.0	0.3
補装具費の支給	0.3	0.0	0.5	0.2
その他、経済的支援	0.1	0.0	0.2	0.0
交通面への支援（移送サービス等）	3.7	1.3	1.7	6.1
<b>&lt;その他の記述&gt;</b>				
緊急一時保護	0.2	0.6	0.2	0
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の利用	0.1	0	0.2	0
その他、施設名の記入	0.5	1.6	0.5	0.1
その他、サービス名等の記入	2.3	4.7	3.3	0.9



<18歳未満>

◆障害福祉サービス等の年齢別結果（単位：％）

	全体 (n=541)	0~2歳 (n=17)	3~5歳 (n=127)	6~11歳 (n=215)	12~14歳 (n=74)	15~17歳 (n=104)
<b>&lt;訪問系サービス&gt;</b>						
居宅介護	3.3	5.9	2.4	2.3	5.4	3.8
<b>&lt;日中活動系サービス&gt;</b>						
短期入所	5.9	11.8	2.4	6.5	2.7	9.6
<b>&lt;相談支援&gt;</b>						
計画相談支援	2.8	0.0	4.7	2.3	1.4	2.9
障害児相談支援	1.1	0.0	0.8	1.4	1.4	0.0
<b>&lt;障害児通所支援&gt;</b>						
児童発達支援	19.0	52.9	55.1	9.8	0.0	0.0
医療型児童発達支援	1.7	5.9	5.5	0.5	0.0	0.0
放課後等デイサービス	32.9	0.0	0.0	50.2	56.8	26.9
保育所等訪問支援	1.1	0.0	3.9	0.5	0.0	0.0
居宅訪問型児童発達支援	19.0	52.9	55.1	9.8	0.0	0.0

◆地域生活支援事業の年齢別結果（単位：％）

	全体 (n=541)	0~2歳 (n=17)	3~5歳 (n=127)	6~11歳 (n=215)	12~14歳 (n=74)	15~17歳 (n=104)
相談支援事業	0.6	0	0.8	0.9	0.0	0.0
日常生活用具給付等事業	0.2	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0
移動支援事業	10.0	5.9	0.8	12.1	13.5	14.4
訪問入浴サービス	1.3	0.0	0.0	1.9	2.7	1.0
日中一時支援	0.9	0.0	0.0	0.5	4.1	1.0

◆その他の支援の年齢別結果（単位：％）

	全体 (n=541)	0~2歳 (n=17)	3~5歳 (n=127)	6~11歳 (n=215)	12~14歳 (n=74)	15~17歳 (n=104)
経済的支援（助成等）	0.6	0.0	0.0	0.5	2.7	0.0
交通面への支援 （移送サービス等）	0.4	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
訪問看護	0.7	5.9	0.8	0.5	0.0	1.0
緊急一時保護	0.6	0.0	0.0	0.5	1.4	1.0
リハビリ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の利用）	0.7	11.8	1.6	0.0	0.0	0.0
特別支援学級・教室	0.4	0.0	0.8	0.5	0.0	0.0
その他、施設名の記入	3.0	5.9	8.7	1.9	0.0	0.0
その他、サービス名等の記入	5.7	11.8	12.6	2.3	0.0	7.7



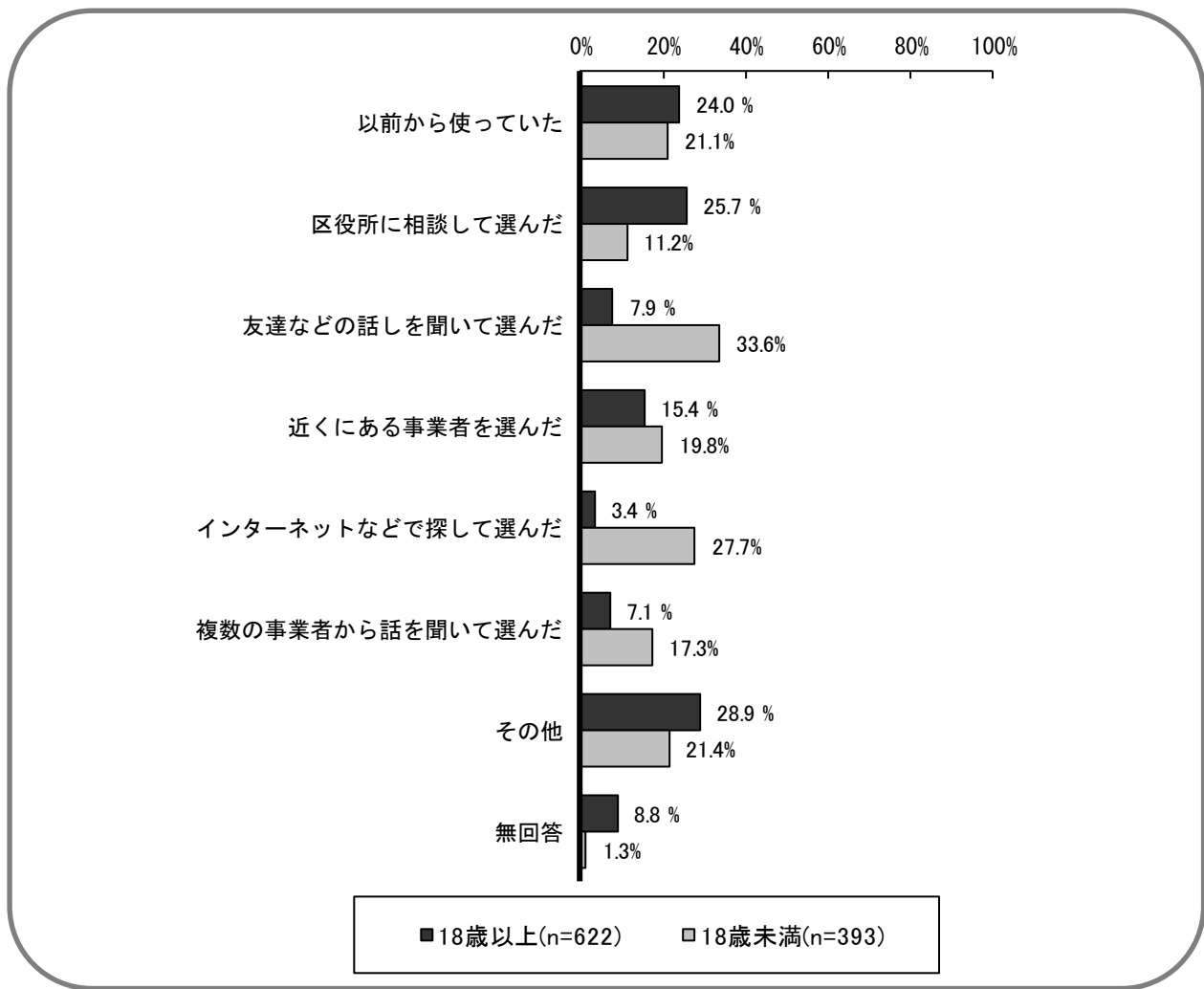


(4) サービス提供事業者の選び方 (18歳以上 問20/18歳未満 問19)

問 (「(2) サービスの利用の有無」で「使っている」または「なんらかのサービスを使っているが、障害福祉サービス等かはわからない」とお答えの方へ) あなたは、いま使っているサービス提供事業者をどのようにして選びましたか。(〇はいくつでも)

●18歳以上では「区役所に相談」、18歳未満では「友達などの話を聞いて」が多い。

■調査結果



障害福祉サービス等の提供事業者を選ぶ理由については、18歳以上では「その他」が28.9%で最も多く、次いで「区役所に相談して選んだ」、「以前から使っていた」となっています。「その他」の記述内容としては、「病院（医師）からの紹介」、「ケアマネジャーからの紹介」が主な回答となっています。

18歳未満では「友達などの話を聞いて選んだ」が33.6%で最も多く、次いで「インターネットなどで探して選んだ」、「その他」となっており、「その他」の記述内容としては、「病院（医師）からの紹介」、「学校（幼稚園）からの紹介」が挙げられています。



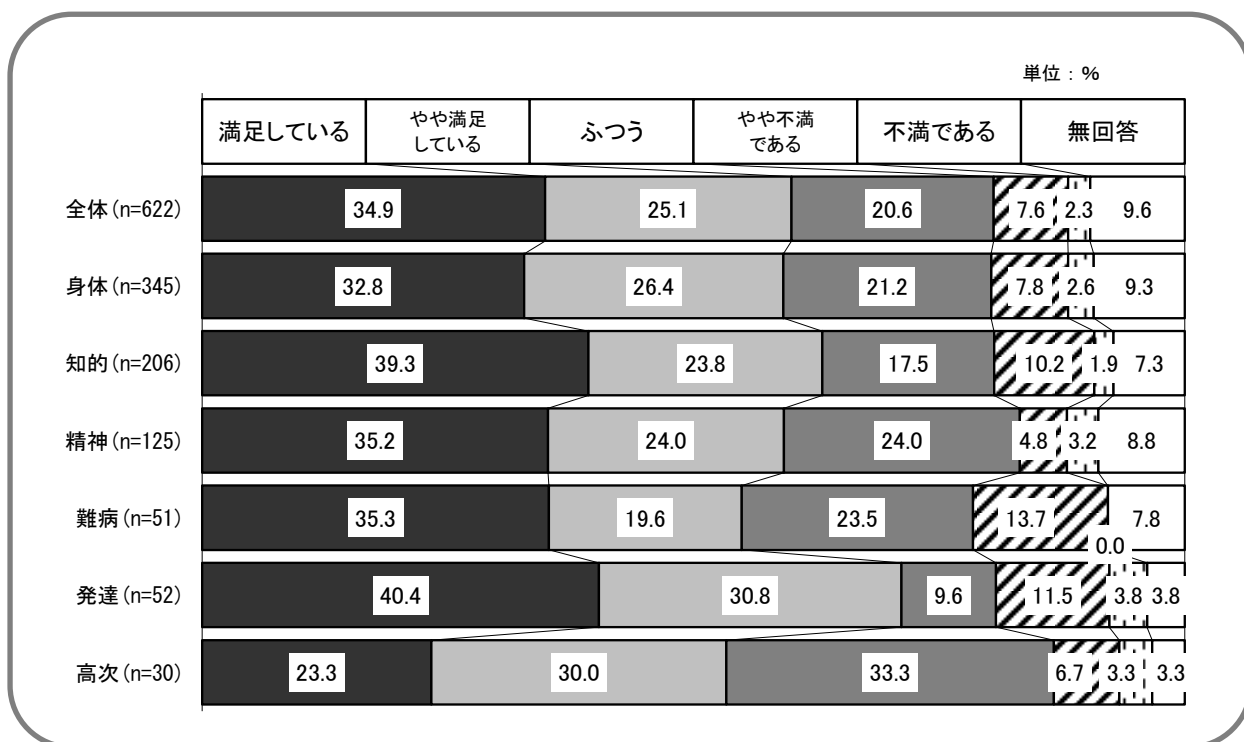
(5) サービス利用の満足度 (18歳以上 問21/18歳未満 問20)

問 (「(2) サービスの利用の有無」で「使っている」または「なんらかのサービスを使っているが、障害福祉サービス等かはわからない」とお答えの方へ) あなたは、いま使っているサービス全体について、どのくらい満足していますか。(○は1つ)

<18歳以上>

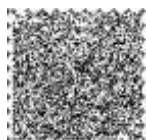
●『満足』している層は全体の6割。

■障がいの分類別結果

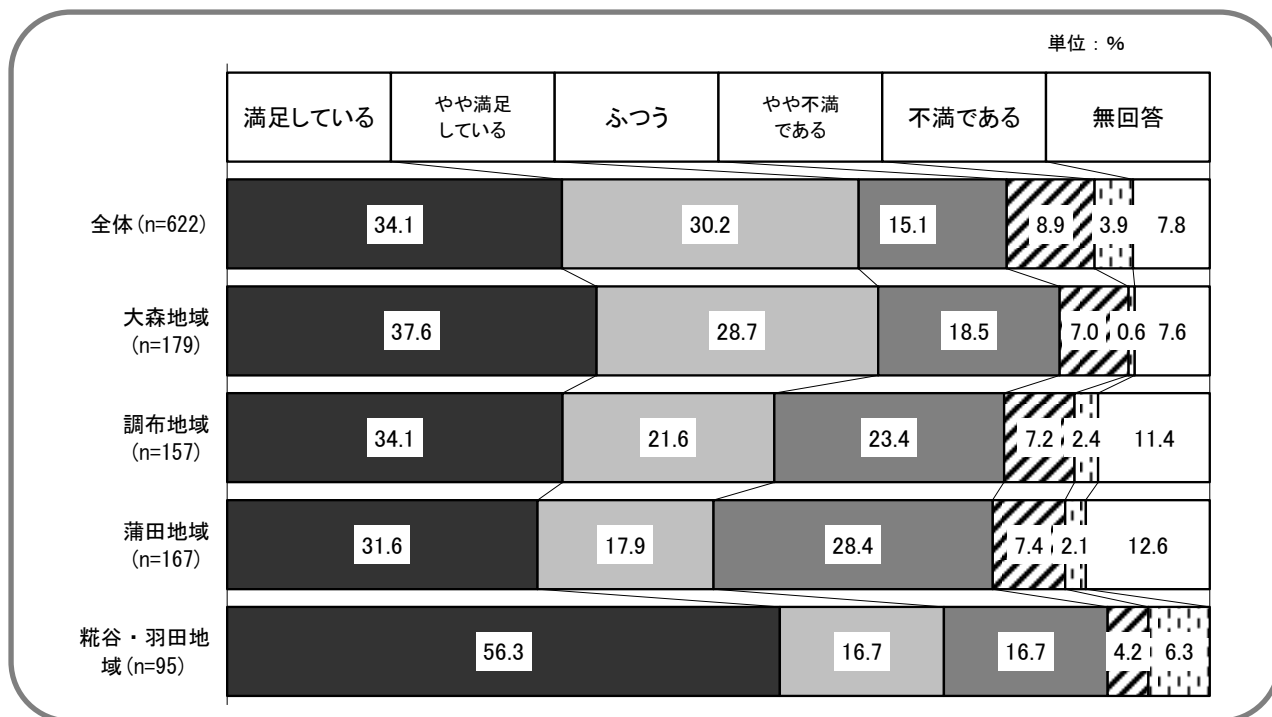


障害福祉サービス等を利用している方の満足度については、全体では「満足している」との回答が34.9%で最も多く、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足』している層は、全体の60.0%となっています。

分類別に見ると、[発達]では『満足』している層は71.2%と多くなっています。



## ■ 地域別に見た傾向



地域別に見ると、『満足』している層は[糎谷・羽田地域]の73.0%が最も多く、[蒲田地域]や[調布地域]は5割程度となっています。

## ■ 利用しているサービス別の傾向 (単位：%)

	満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
全体 (n=622)	34.9	25.1	20.6	7.6	2.3	9.6
訪問系サービス (n=44)	29.5	38.6	15.9	11.4	2.3	2.3
日中活動系サービス (n=126)	37.3	27.0	15.1	11.1	4.8	4.8
居住系サービス (n=31)	41.9	22.6	9.7	6.5	3.2	16.1
相談支援 (n=44)	47.7	20.5	15.9	11.4	0.0	4.5
地域生活支援事業 (n=90)	31.1	30.0	15.6	17.8	1.1	4.4
経済的な支援 (n=79)	35.4	20.3	20.3	5.1	2.5	16.5
その他の支援 (n=53)	45.3	26.4	15.1	7.5	0.0	5.7

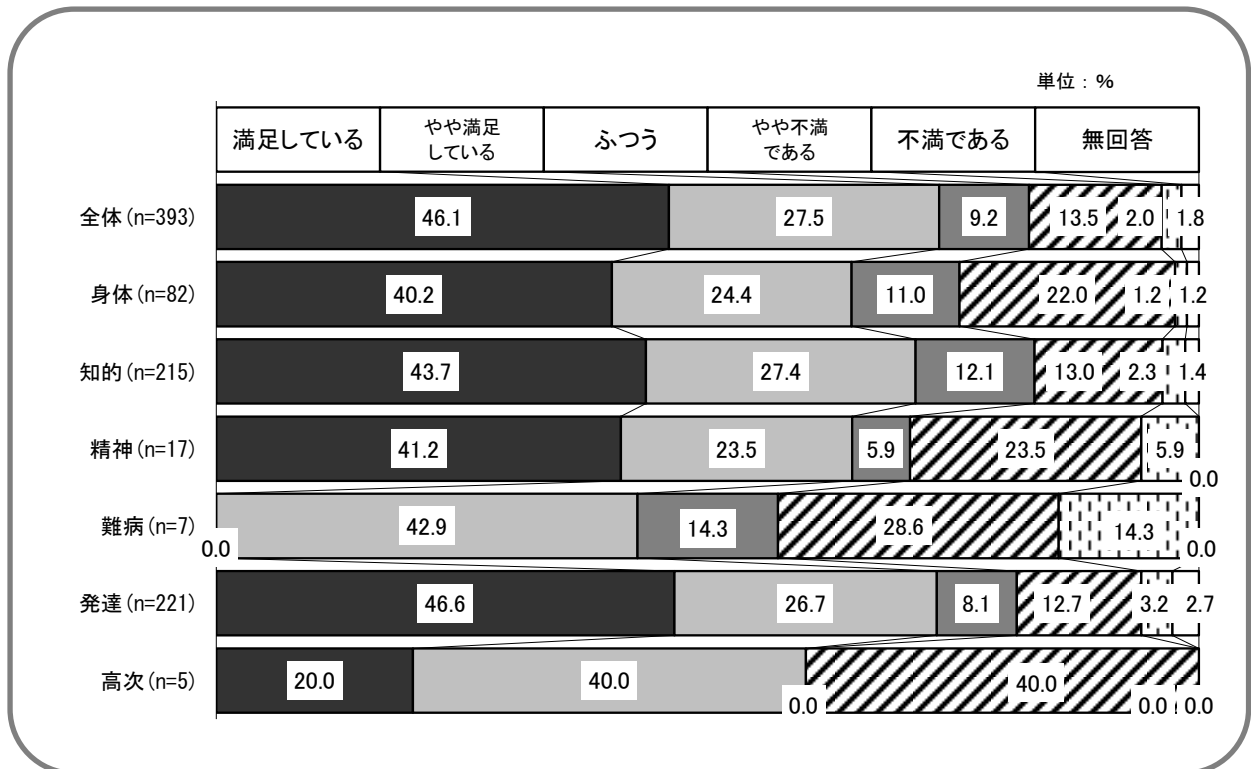
利用しているサービス別の傾向としては、回答者数が少ない選択肢がみられるものの、[地域生活支援事業]で「やや不満である」との回答が全体に比べ多くなっています。



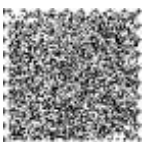
<18歳未満>

●『満足』している層は全体の7割以上。

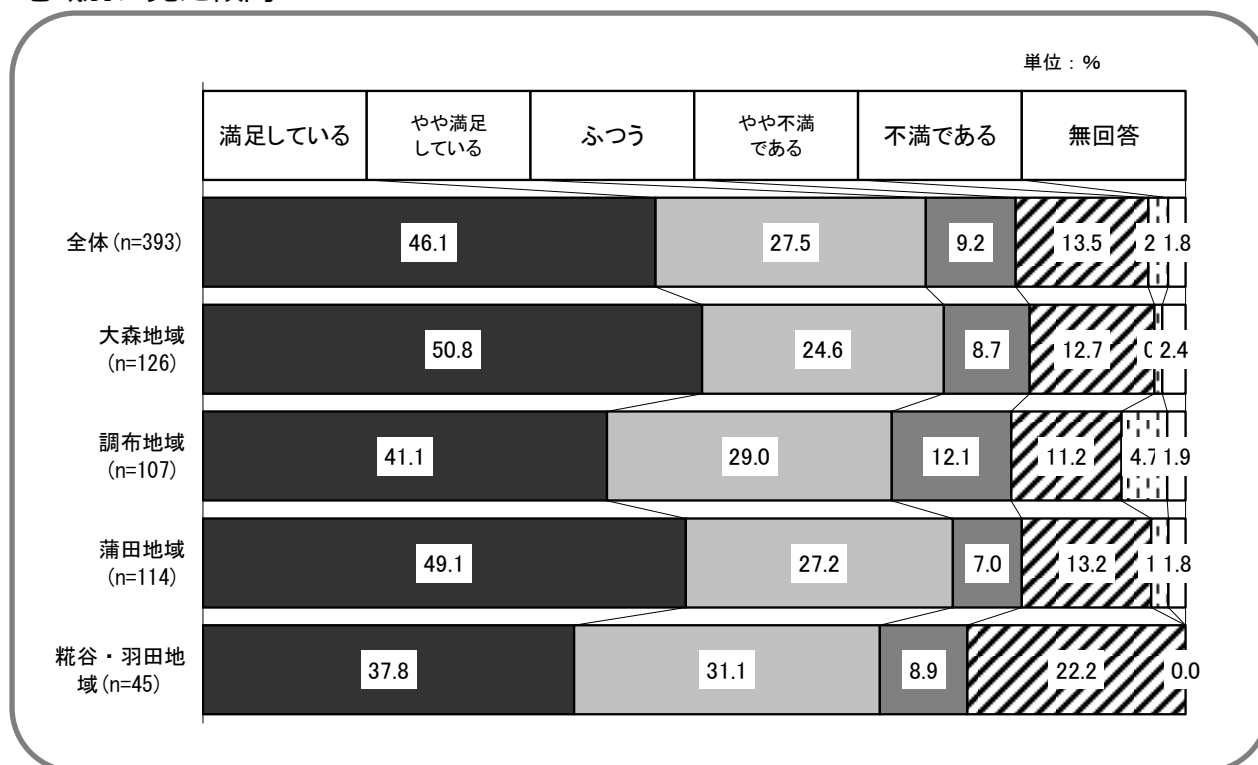
■障がいの分類別結果



18歳未満では、全体では「満足している」との回答が46.1%で最も多く、『満足』している層は全体の73.6%となっています。



## ■ 地域別に見た傾向



地域別に見ると、『満足』している層は[蒲田地域]の76.3%が最も多くなっています。

## ■ 利用しているサービス別の傾向 (単位：%)

	満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
全体 (n=393)	46.1	27.5	9.2	13.5	2.0	1.8
訪問系サービス (n=18)	44.4	22.2	5.6	27.8	0.0	0.0
日中活動系サービス (n=32)	43.8	25.0	9.4	21.9	0.0	0.0
相談支援 (n=21)	57.1	14.3	4.8	23.8	0.0	0.0
障害児通所支援 (n=287)	47.7	25.4	9.8	13.9	1.7	1.4
地域生活支援事業 (n=59)	33.9	27.1	11.9	18.6	6.8	1.7
その他の支援 (n=60)	41.7	33.3	6.7	15.0	1.7	1.7

利用しているサービス別の傾向としては、回答者数が少ない選択肢がみられるものの、[訪問系サービス]、[相談支援]、[日中活動系サービス]、[地域生活支援事業]で「やや不満である」との回答が全体に比べ多くなっています。



◆年齢別の傾向<18歳以上/18歳未満> (単位：%)

	満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
0～2歳 (n=17)	53.3	26.7	13.3	6.7	0.0	0.0
3～5歳 (n=127)	43.1	33.0	4.6	15.6	1.8	1.8
6～11歳 (n=215)	45.7	27.4	7.3	15.9	1.8	1.8
12～14歳 (n=74)	43.4	26.4	13.2	13.2	0.0	3.8
15～17歳 (n=104)	56.3	16.7	16.7	4.2	6.3	0.0
18～39歳 (n=320)	33.1	24.5	17.3	14.4	2.9	7.9
40～64歳 (n=632)	35.4	27.2	24.6	4.6	2.1	6.2
65歳以上 (n=882)	34.7	25.1	19.2	6.6	2.2	12.2

年齢別の傾向を見ると、[15～17歳]と[0～2歳]では「満足している」との回答が5割を超えて多くなっています。

[18歳未満]では「満足している」との回答がいずれの年齢でも4割を超えているのに対し、[18歳以上]では、「満足している」との回答が4割未満にとどまっています。



◆前回との比較<18歳以上> (単位：%)

		満足 している	やや満足 している	ふつう	やや不満で ある	不満 である	無回答
全体	今回 (n=622)	34.9	25.1	20.6	7.6	2.3	9.6
	前回 (n=747)	32.7	23.7	21.3	8.7	3.2	10.4
[身体]	今回 (n=345)	32.8	26.4	21.2	7.8	2.6	9.3
	前回 (n=430)	33.7	25.1	21.4	7.4	2.8	9.5
[知的]	今回 (n=206)	39.3	23.8	17.5	10.2	1.9	7.3
	前回 (n=235)	31.5	23.4	20.4	12.3	3.4	8.9
[精神]	今回 (n=125)	35.2	24.0	24.0	4.8	3.2	8.8
	前回 (n=130)	33.1	23.1	20.8	9.2	4.6	9.2
[難病]	今回 (n=51)	35.3	19.6	23.5	13.7	0.0	7.8
	前回 (n=63)	34.9	31.7	15.9	6.3	0.0	11.1
[発達]	今回 (n=52)	40.4	30.8	9.6	11.5	3.8	3.8
	前回 (n=56)	26.8	25.0	25.0	5.4	3.6	14.3
[高次]	今回 (n=30)	23.3	30.0	33.3	6.7	3.3	3.3
	前回 (n=35)	28.6	22.9	28.6	8.6	2.9	8.6

前回との比較を見ると、全体では大きな変化は見られません。

回答者数の少ない[難病]や[発達]、[高次]では数字の変動が見られますが、回答者数の多い[身体]、[知的]、[精神]の中では、[知的]で、「満足している」との回答が増えています。



◆前回との比較<18歳未満> (単位：%)

		満足 している	やや満足 している	ふつう	やや不満で ある	不満 である	無回答
全体	今回 (n=393)	46.1	27.5	9.2	13.5	2.0	1.8
	前回 (n=460)	41.7	28.9	12.0	12.0	2.6	2.8
[身体]	今回 (n=82)	40.2	24.4	11.0	22.0	1.2	1.2
	前回 (n=89)	25.8	36.0	11.2	18.0	5.6	3.4
[知的]	今回 (n=215)	43.7	27.4	12.1	13.0	2.3	1.4
	前回 (n=243)	43.6	26.3	12.3	13.2	1.6	2.9
[精神]	今回 (n=17)	41.2	23.5	5.9	23.5	5.9	0.0
	前回 (n=15)	40.0	6.7	13.3	13.3	20.0	6.7
[難病]	今回 (n=7)	0.0	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0
	前回 (n=4)	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0
[発達]	今回 (n=221)	46.6	26.7	8.1	12.7	3.2	2.7
	前回 (n=264)	40.9	31.8	11.4	10.6	3.0	2.3
[高次]	今回 (n=5)	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	前回 (n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0

前回との比較を見ると、全体では大きな変化は見られません。

回答者数の少ない[精神]や[難病]、[高次]では数字の変動が見られますが、回答者数の多い[身体]、[知的]、[発達]の中では、[身体]で「満足している」との回答が増えているものの、「やや満足している」が減少しており、『満足』している層としては引き続き6割台となっています。



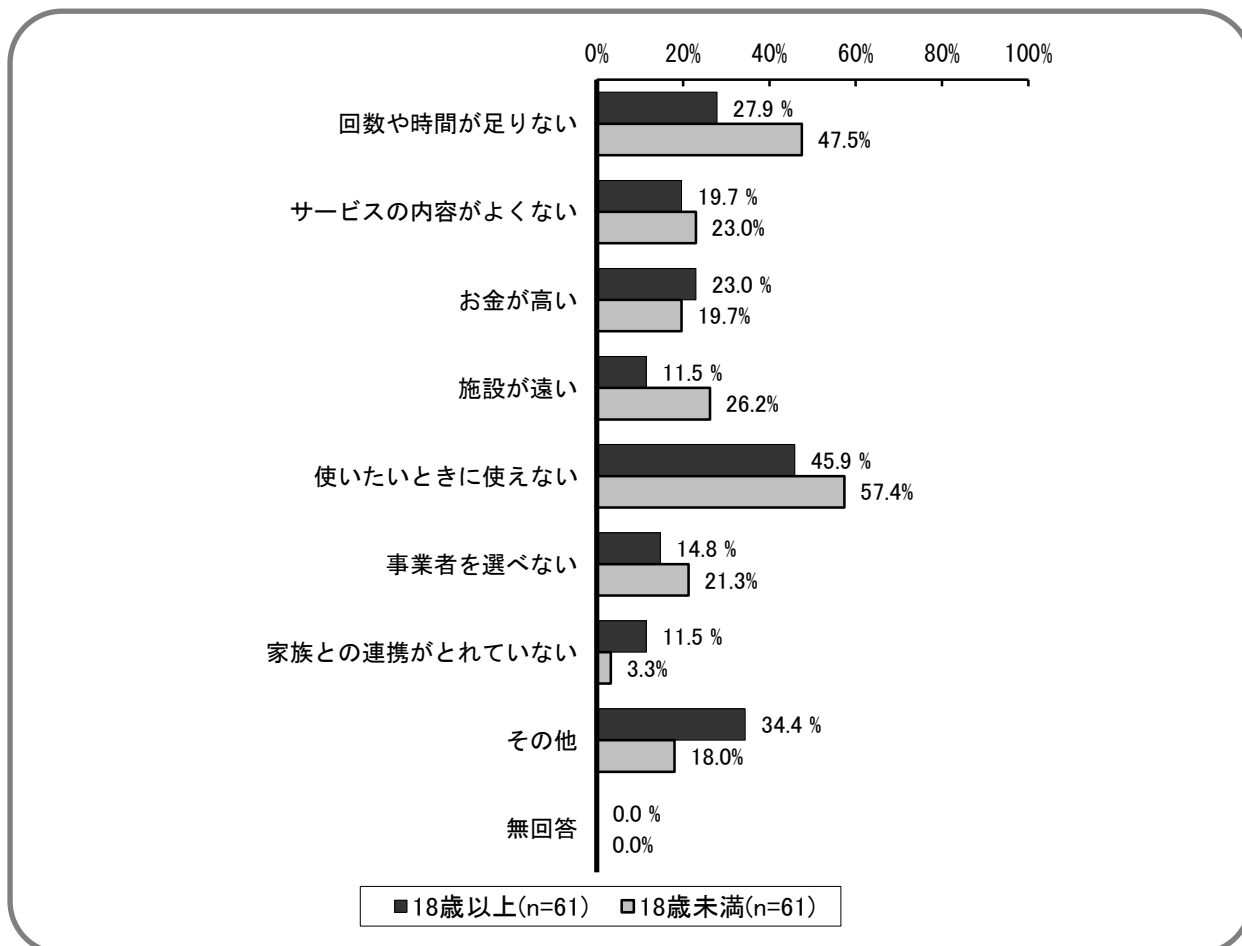


(6) サービス利用にあたって不満に感じること(18歳以上 問22/18歳未満 問21)

問 「(5) サービス利用の満足度」で「やや不満である」または「不満である」とお答えの方へ) どういった点に不満を感じますか。(〇はいくつでも)

●18歳以上、18歳未満いずれも「使いたい時に使えない」が多い。

■調査結果



不満を感じる点としては、18歳以上と18歳未満ともに、「使いたいときに使えない(日程などの条件が合わない)」が最も多くなっています。

18歳以上では、次いで「その他」、「回数や時間が足りない」が多くなっており、「その他」の記述内容としては「職員についての不満(職員の数が少ない、対応が良くないなど)」が主な回答となっています。

18歳未満では、「使いたいときに使えない」が57.4%と半数を超え多く、次いで、「回数や時間が足りない」が多くなっています。

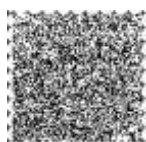


■利用しているサービス別の傾向（参考）

<18歳以上>（単位：％）

	回数や時間が足りない	サービスの内容がよくない	お金が高い	施設が遠い	使いたいときに使えない	事業者を選べない	家族との連携がとれていない	その他	無回答
<b>全体</b> (n=61)	27.9	19.7	23.0	11.5	45.9	14.8	11.5	34.4	0.0
<b>訪問系サービス</b> (n=6)	50.0	16.7	33.3	33.3	100.0	33.3	50.0	16.7	0.0
<b>日中活動系サービス</b> (n=20)	30.0	15.0	15.0	15.0	65.0	15.0	20.0	35.0	0.0
<b>居住系サービス</b> (n=3)	0.0	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
<b>相談支援</b> (n=5)	60.0	20.0	40.0	40.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0
<b>地域生活支援事業</b> (n=17)	41.2	11.8	11.8	17.6	76.5	11.8	11.8	11.8	0.0
<b>経済的な支援</b> (n=6)	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0	0.0	66.7	0.0
<b>その他の支援</b> (n=4)	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	75.0	0.0

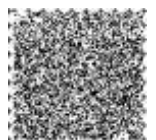
利用しているサービス別の傾向としては、18歳以上では、回答者数が少ないものの、[訪問系サービス]、[相談支援]、[地域生活支援事業]、[日中活動系サービス]で「使いたいときに使えない（日程などの条件が合わない）」との回答が6割を超え、全体と比べても多い傾向が見られます。



<18歳未満> (単位：%)

	回数や時間が足りない	サービスの内容がよくない	お金が高い	施設が遠い	使いたいときに使えない	事業者を選べない	家族との連携がとれていない	その他	無回答
<b>全体</b> (n=61)	47.5	23.0	19.7	26.2	57.4	21.3	3.3	18.0	0.0
<b>訪問系サービス</b> (n=5)	60.0	0.0	20.0	20.0	100.0	20.0	0.0	20.0	0.0
<b>日中活動系サービス</b> (n=7)	57.1	14.3	28.6	42.9	100.0	42.9	0.0	0.0	0.0
<b>相談支援</b> (n=5)	60.0	0.0	20.0	40.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0
<b>障害児通所支援</b> (n=45)	48.9	20.0	17.8	33.3	60.0	20.0	4.4	17.8	0.0
<b>地域生活支援事業</b> (n=15)	46.7	13.3	33.3	20.0	80.0	20.0	6.7	20.0	0.0
<b>その他の支援</b> (n=10)	60.0	30.0	10.0	10.0	40.0	30.0	0.0	20.0	0.0

18歳未満では、回答者数が少ないものの、[障害児通所支援]と[その他の支援]以外の利用者では「使いたいときに使えない」の回答がいずれも8割を超え、全体と比べても多い傾向が見られます。



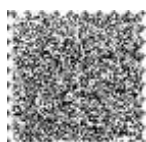
■ 要介護認定・要支援認定別の傾向（参考）

<18歳以上>（単位：％）

	回数や時間が足りない	サービスの内容がよくない	お金が高い	施設が遠い	使いたいときに使えない	事業者を選べない	家族との連携がとれていない	その他	無回答
<b>全体 (n=61)</b>	27.9	19.7	23.0	11.5	45.9	14.8	11.5	34.4	0.0
<b>要支援・要介護 認定者 (n=24)</b>	33.3	16.7	33.3	4.2	33.3	8.3	4.2	33.3	0.0
<b>要支援の認定を     受けている (n=11)</b>	36.4	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	54.5	0.0
<b>要介護の認定を     受けている (n=13)</b>	30.8	15.4	46.2	0.0	53.8	7.7	7.7	15.4	0.0
<b>受けていない (n=36)</b>	25.0	22.2	16.7	16.7	55.6	19.4	16.7	33.3	0.0

介護保険により要支援や要介護の認定を受けている方の傾向としては、回答者数が少ないものの、[要支援の認定を受けている]では、「回数や時間が足りない」との回答が全体より多くなっています。

また、[要介護の認定を受けている]では「使いたいときに使えない（日程などの条件が合わない）」、「お金が高い（経済的負担が大きい）」との回答が多くなっています。



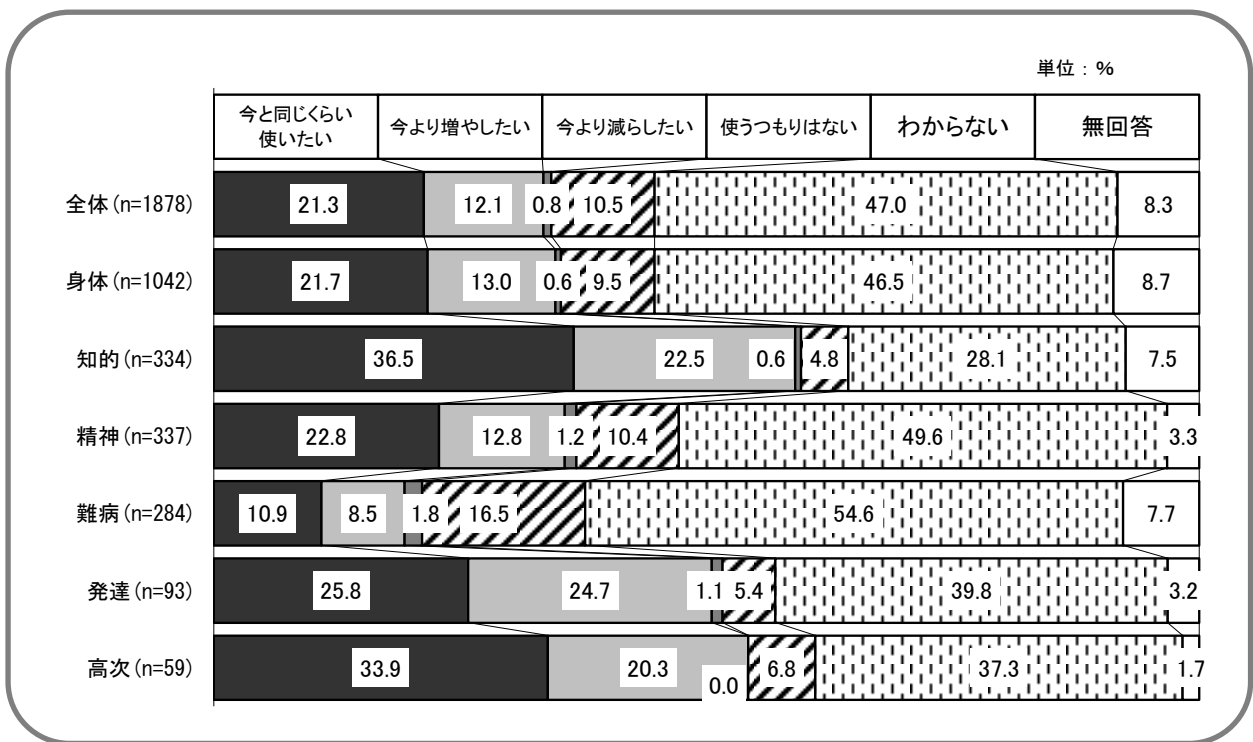
(7) 今後のサービス利用意向 (18歳以上 問23/18歳未満 問22)

問 あなたは、「障害福祉サービス等」を今後どのくらい使いたいですか。(○は1つ)

<18歳以上>

● [発達]、[知的]、[高次]で「今より増やしたい」が多い。

■ 障がいの分類別結果

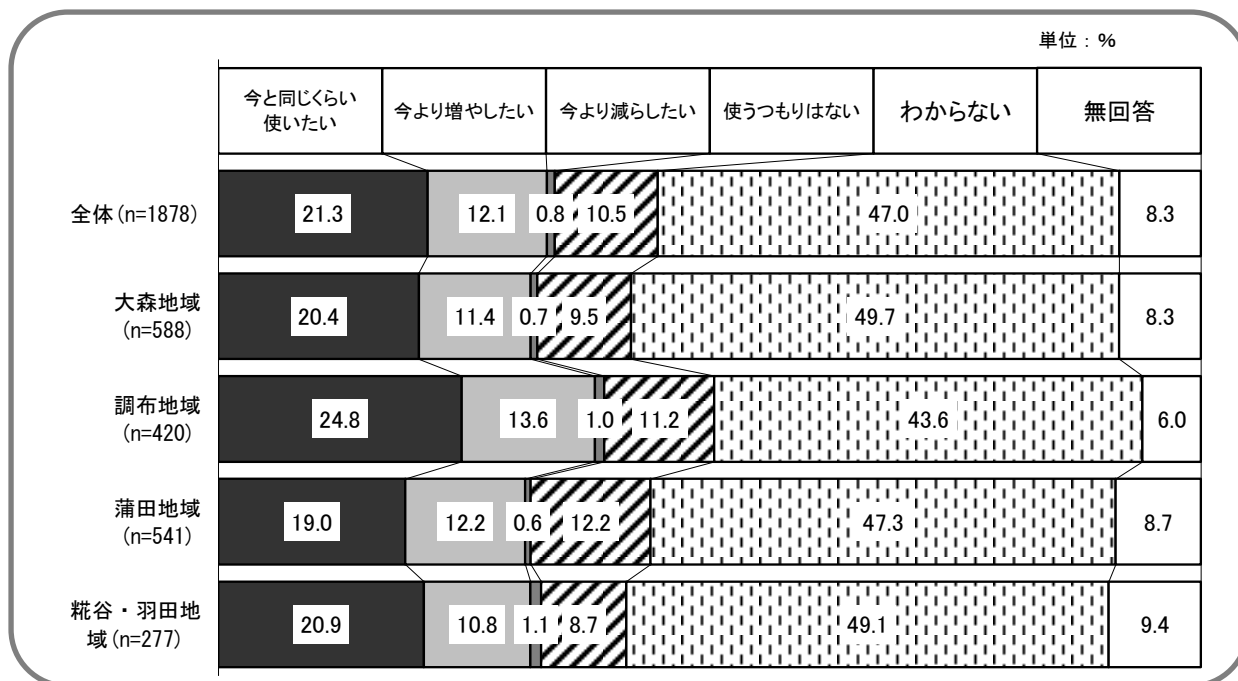


今後の利用意向については、全体では「わからない」との回答が47.0%で最も多くなっています。

分類別の傾向では、「今より増やしたい」との回答が[発達](24.7%)、[知的](22.5%)、[高次](20.3%)と、2割を超えており、全体よりも多くなっています。

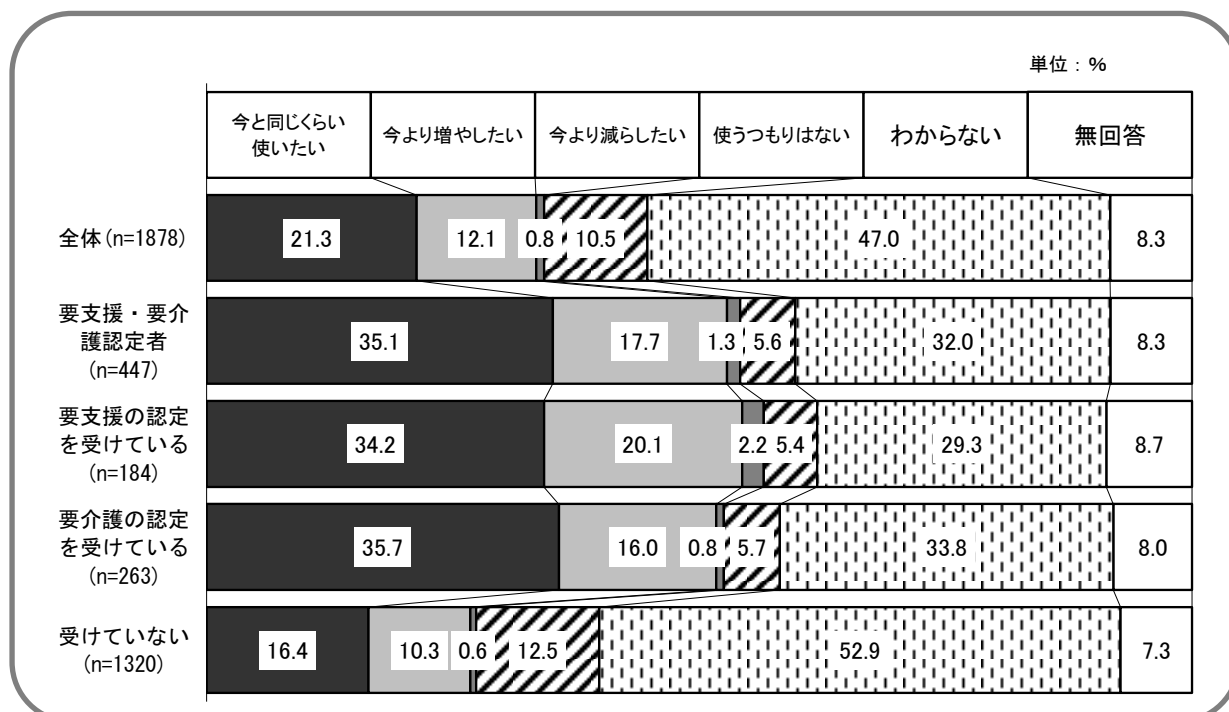


## ■ 地域別に見た傾向

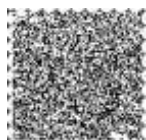


地域別に見ると、「利用を増やしたい」との回答については「調布地域」の13.6%が最も多いものの、大きな傾向の差は見られません。

## ■ 要介護認定・要支援認定別の傾向（参考）（単位：%）



介護保険により要支援や要介護の認定を受けている方の傾向としては、全体に比べ「わからない」との回答が低く、それに伴い、「今と同じくらい使いたい」と「今より増やしたい」との回答が多くなっており、意向がはっきりと出ていることがわかります。



■利用しているサービス別の傾向（単位：％）

	い 今と同じくらい使いた	使 今より いたい	減 今より らしたい	使 つつもりはない	わ から ない	無 回 答
<b>全体</b> (n=2308)	21.3	12.1	0.8	10.5	47.0	8.3
<b>訪問系サービス</b> (n=68)	48.9	37.8	2.2	0.0	8.9	2.2
<b>日中活動系サービス</b> (n=153)	53.1	30.0	0.0	0.0	13.8	3.1
<b>居住系サービス</b> (n=43)	63.6	6.1	0.0	0.0	24.2	6.1
<b>相談支援</b> (n=60)	46.7	42.2	0.0	0.0	8.9	2.2
<b>地域生活支援事業</b> (n=103)	45.2	37.6	2.2	0.0	10.8	4.3
<b>経済的な支援</b> (n=81)	57.3	25.6	0.0	0.0	14.6	2.4
<b>その他の支援</b> (n=24)	48.3	27.6	3.4	0.0	15.5	5.2

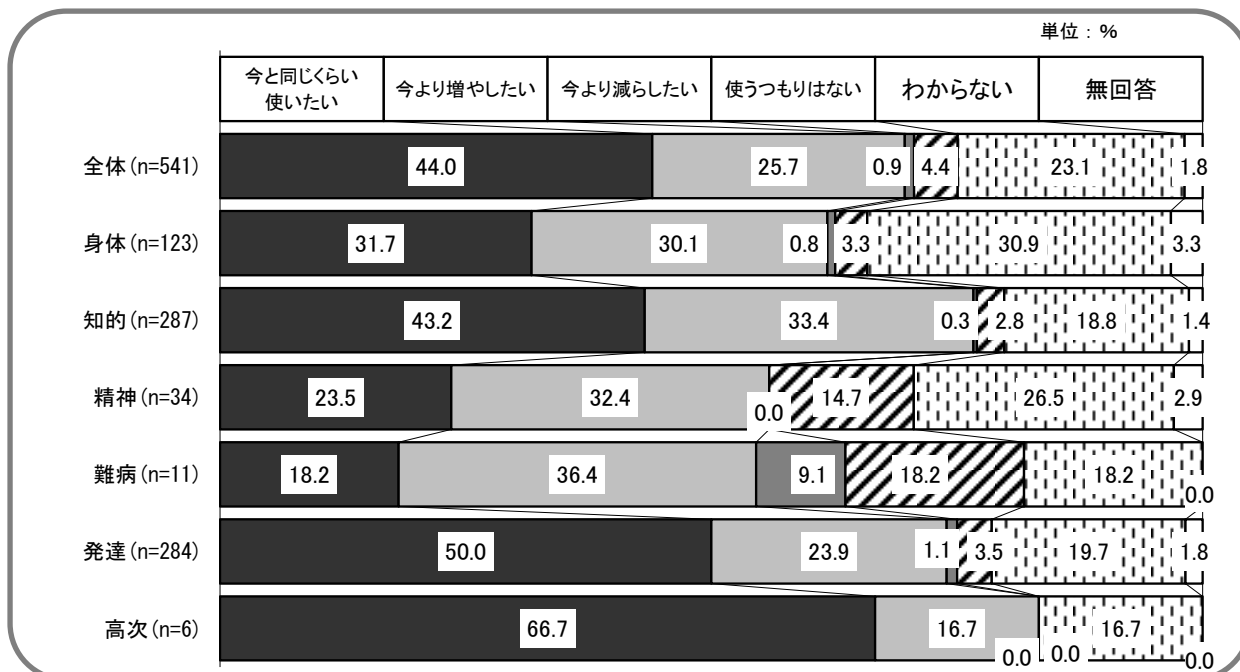
利用しているサービス別の傾向としては、回答者数が少ない選択肢がみられるものの、[相談支援]で「現在より利用を増やしたい」との回答が4割を超え、全体と比べても多い傾向が見られます。



<18歳未満>

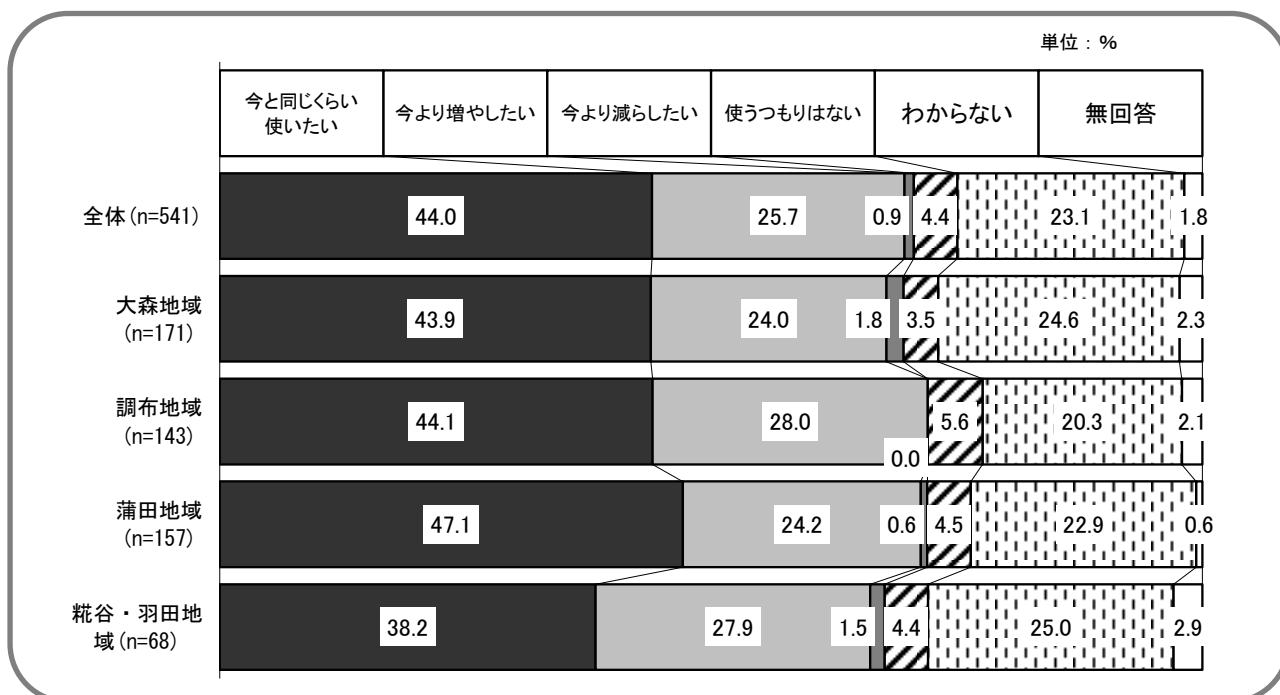
●「今と同じくらい使いたい」が4割台で最も多い。

■障がいの分類別結果



18歳未満では、全体では「今と同じくらい使いたい」との回答が44.0%で最も多くなっています。次いで、「今より増やしたい」、「わからない」などとなっています。

■地域別に見た傾向



地域別に見ると、[糞谷・羽田地域]で「今と同じくらい使いたい」が全体より低くなっているものの「利用を増やしたい」や「減らしたい」については大きな変化は見られません。





■利用しているサービス別の傾向（参考）（単位：％）

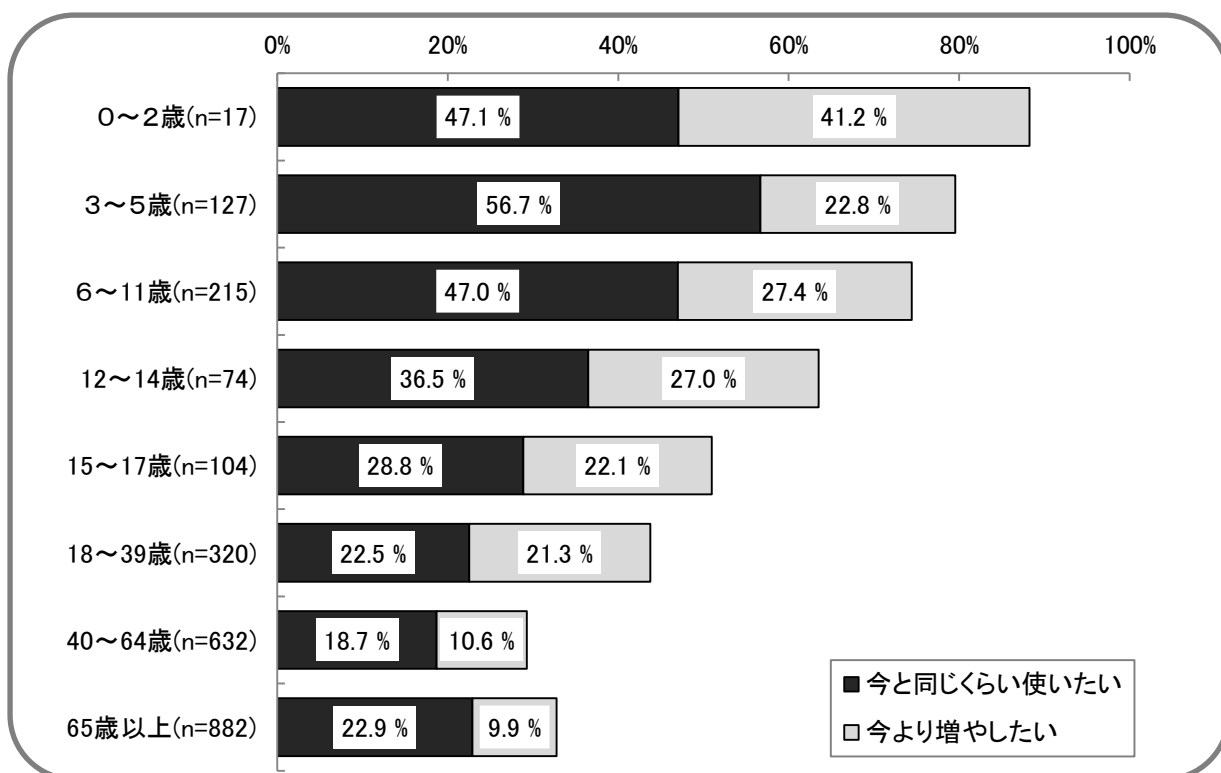
	今と同じくらい使いたい	今より増やしたい	今より減らしたい	使っつもりはない	わからない	無回答
<b>全体</b> (n=541)	44.0	25.7	0.9	4.4	23.1	1.8
<b>訪問系サービス</b> (n=18)	38.9	55.6	0.0	0.0	0.0	5.6
<b>日中活動系サービス</b> (n=32)	46.9	50.0	0.0	0.0	0.0	3.1
<b>相談支援</b> (n=21)	42.9	47.6	0.0	0.0	4.8	4.8
<b>障害児通所支援</b> (n=287)	59.2	31.4	1.4	0.3	6.6	1.0
<b>地域生活支援事業</b> (n=59)	35.6	61.0	1.7	0.0	1.7	0.0
<b>その他の支援</b> (n=60)	51.7	40.0	0.0	1.7	5.0	1.7

利用しているサービス別の傾向としては、回答者の少ない選択肢があるものの、[地域生活支援事業]、[訪問系サービス]、[日中活動系サービス]で「今より増やしたい」との回答が5割以上となっており、全体と比べても多い傾向が見られます。



◆ 「今と同じくらい使いたい」または「今より増やしたい」人の、年齢別の傾向

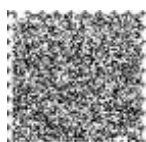
<18歳以上/18歳未満>



「今より増やしたい」と回答した人の年齢別の割合を見たところ、[0～2歳]との回答が41.2%で最も多く、[3～39歳]では2割台、[40歳以上]では1割前後となっています。

■ 集計結果 (単位：%)

	今と同じくらい使いたい	今より増やしたい	今より減らしたい	使うつもりはない	わからない	無回答
0～2歳(n=17)	47.1	41.2	0.0	0.0	5.9	5.9
3～5歳(n=127)	56.7	22.8	1.6	0.8	15.7	2.4
6～11歳(n=215)	47.0	27.4	0.9	3.7	19.5	1.4
12～14歳(n=74)	36.5	27.0	1.4	6.8	28.4	0.0
15～17歳(n=104)	28.8	22.1	0.0	9.6	36.5	2.9
18～39歳(n=320)	22.5	21.3	0.6	10.9	40.0	4.7
40～64歳(n=632)	18.7	10.6	0.8	11.7	52.5	5.7
65歳以上(n=882)	22.9	9.9	0.9	9.6	46.0	10.7



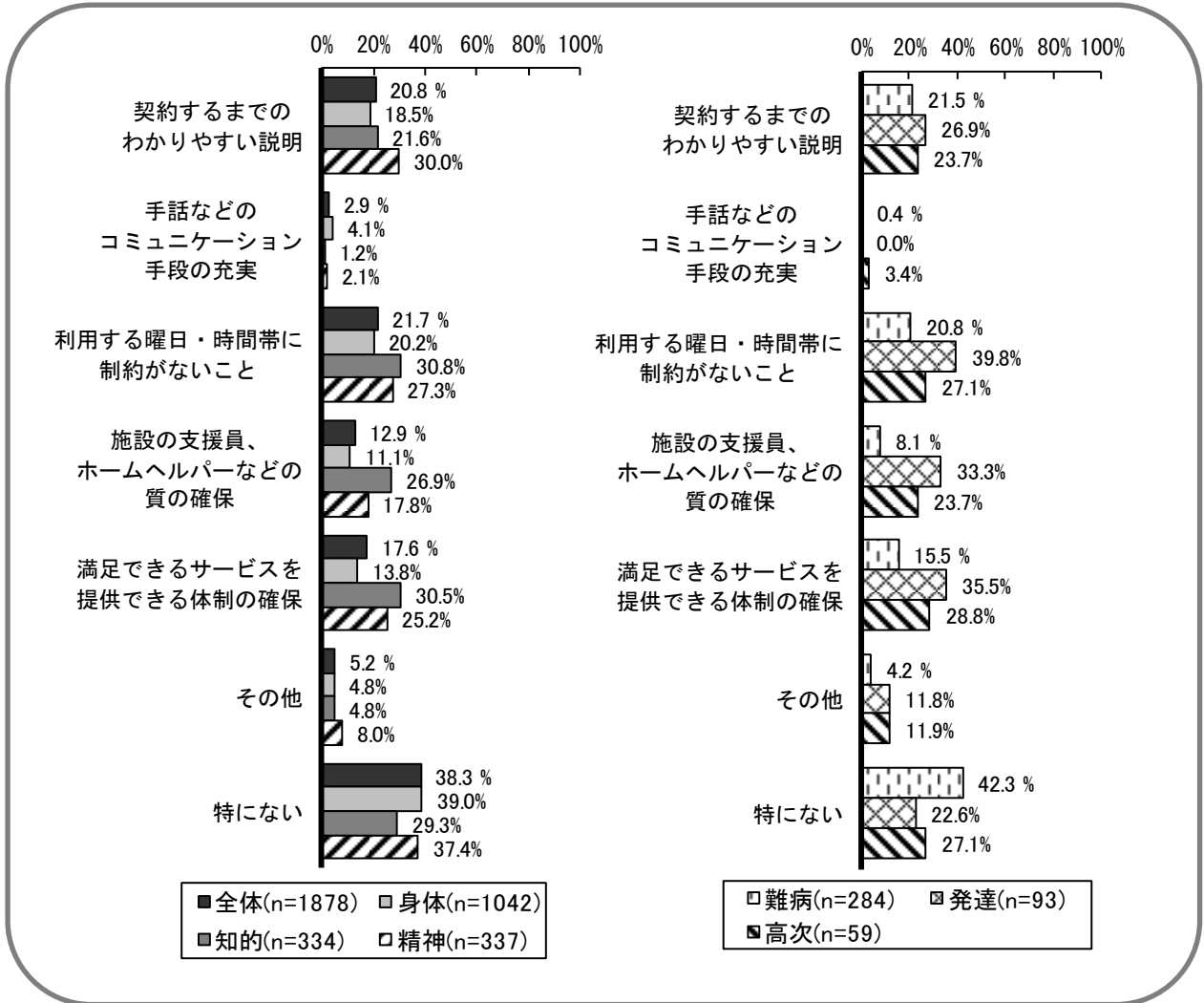
(8) サービス提供事業者に対して望むこと (18歳以上 問24/18歳未満 問23)

問 あなたが、サービスを提供する事業者に対して望むこと (してほしいこと) は、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>

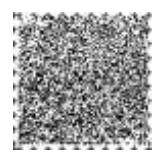
●「曜日・時間帯に制約がない」と「わかりやすい説明」が多い。

■障がいの分類別結果 (グラフは主な選択肢)



事業者に対して望むこととしては、「利用する曜日・時間帯に制約がないこと」が21.7%、「契約するまでのわかりやすい説明」が20.8%で、2割を超えています。分類別では、[知的]、[精神]、[発達]、[高次]では「利用する曜日・時間帯に制約がないこと」、「施設の支援員、ホームヘルパーなどの質の確保」、「満足できるサービスを提供できる体制の確保」の3項目で全体より多い回答となっています。

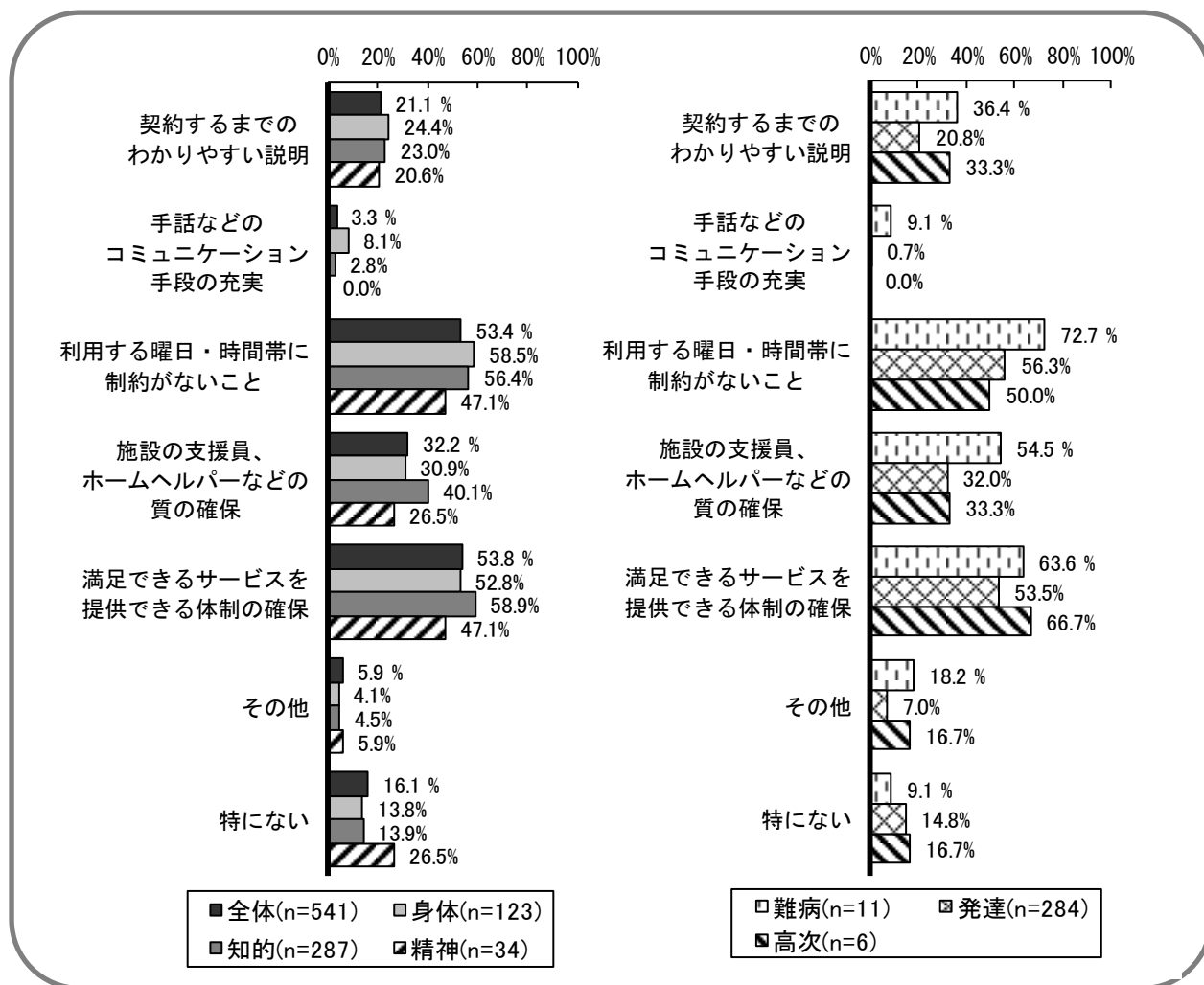
(→詳細な調査結果は185ページ)



<18歳未満>

●「曜日・時間帯に制約がない」と「体制の確保」は半数を超えて多い。

■障がいの分類別結果（グラフは主な選択肢）



18歳未満では、「満足できるサービスを提供できる体制の確保」が53.8%で最も多く、次いで「利用する曜日・時間帯に制約がないこと」が53.4%となっており、この2項目は全体の半数を超えて多くなっています。

一方、特にないと回答は全体で16.1%となっており、18歳以上に比べて低くなっています。

(→詳細な調査結果は202ページ)



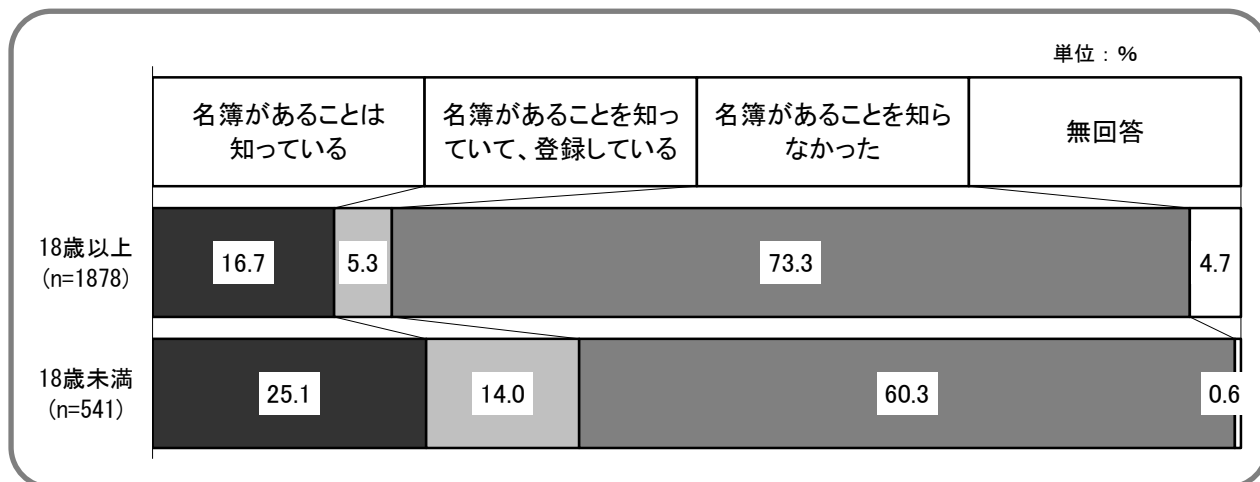
## 5 災害時の対応

### (1) 「避難行動要支援者名簿」の認知度（18歳以上 問25/18歳未満 問24）

問 あなたは、災害（地震や台風など）のとき、無事かどうかの確認や避難の手助けなどのために作成している「避難行動要支援者名簿」を知っていますか。（○は1つ）

●『知っている』層は、18歳以上が22.0%、18歳未満では39.1%。

#### ■調査結果



「避難行動要支援者名簿」の認知度について、「名簿があることは知っている」と「名簿があることを知っていて、登録している」を合わせた『知っている』層は、18歳以上では22.0%、18歳未満では39.1%となっています。

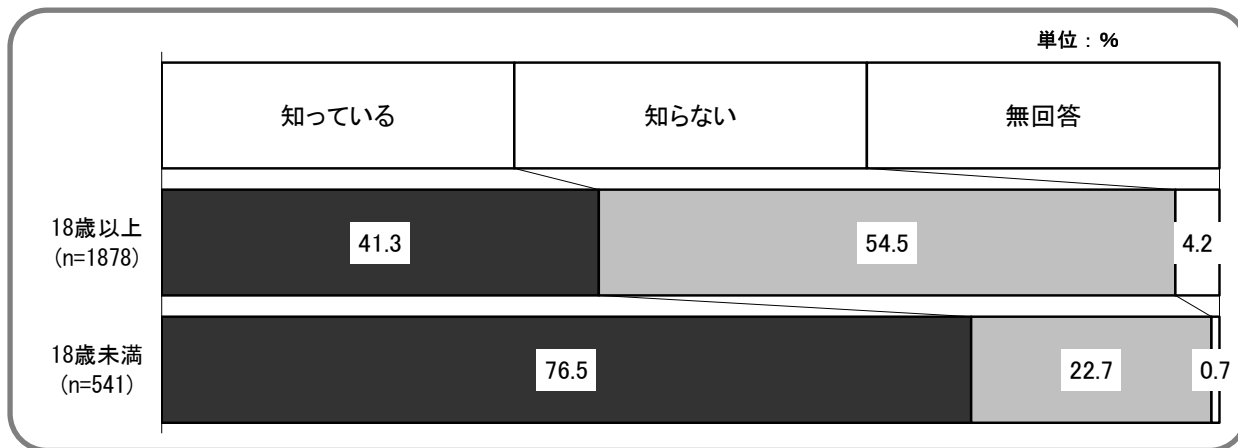


(2) ヘルプカードの認知度 (18歳以上 問26/18歳未満 問25)

問 あなたは、「ヘルプカード (たすけてねカード)」を知っていますか。(〇は1つ)

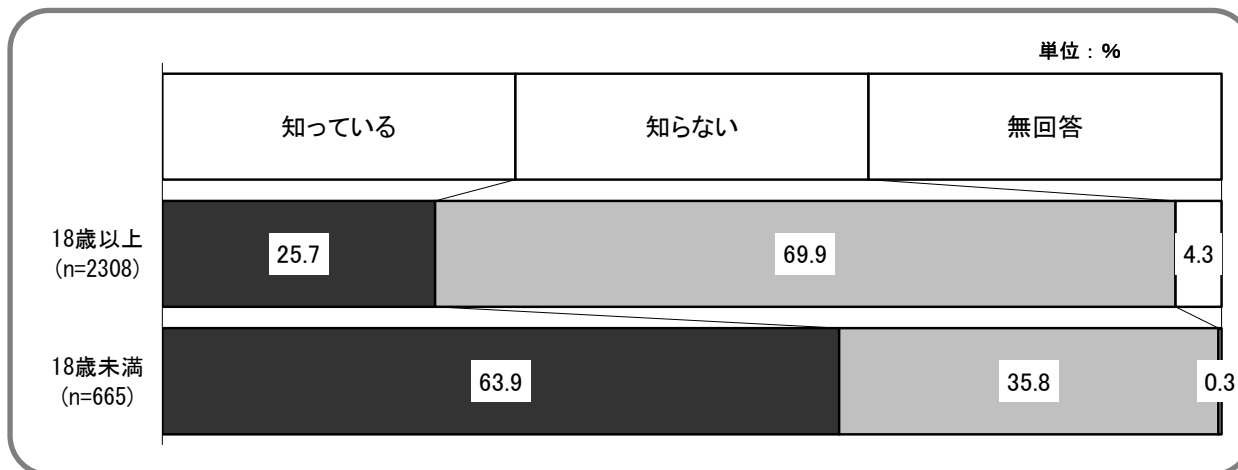
●18歳以上は41.3%であるのに対し、18歳未満では76.5%。

■調査結果



ヘルプカードの認知度については、18歳以上が41.3%、18歳未満が76.5%となっています。

◆前回との比較



前回との比較を見ると、ヘルプカードを「知っている」との回答が、18歳以上が15.6ポイント、18歳未満が12.6ポイント多くなっています。



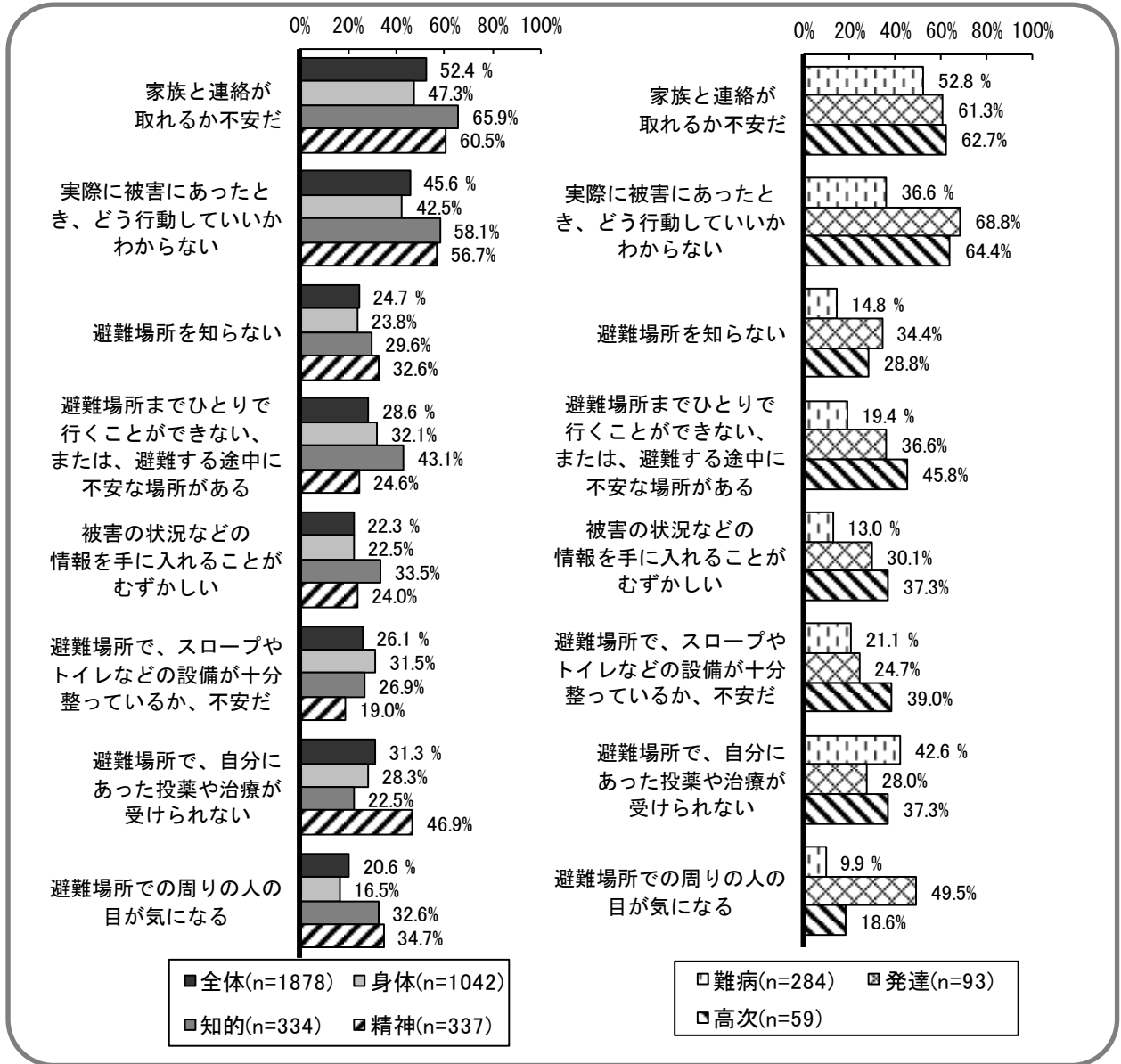
(3) 災害時の不安、困ること (18歳以上 問27/18歳未満 問26)

問 あなたが、災害(地震や台風など)があったときに、困ることや不安に思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●「家族と連絡が取れるか不安」は半数を超えて多い。

■障がいの分類別結果 (グラフは主な選択肢)



災害時の困りごとや不安なこととしては、全体では「家族と連絡が取れるか不安だ」が52.4%で最も多く、次いで「実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない」となっています。

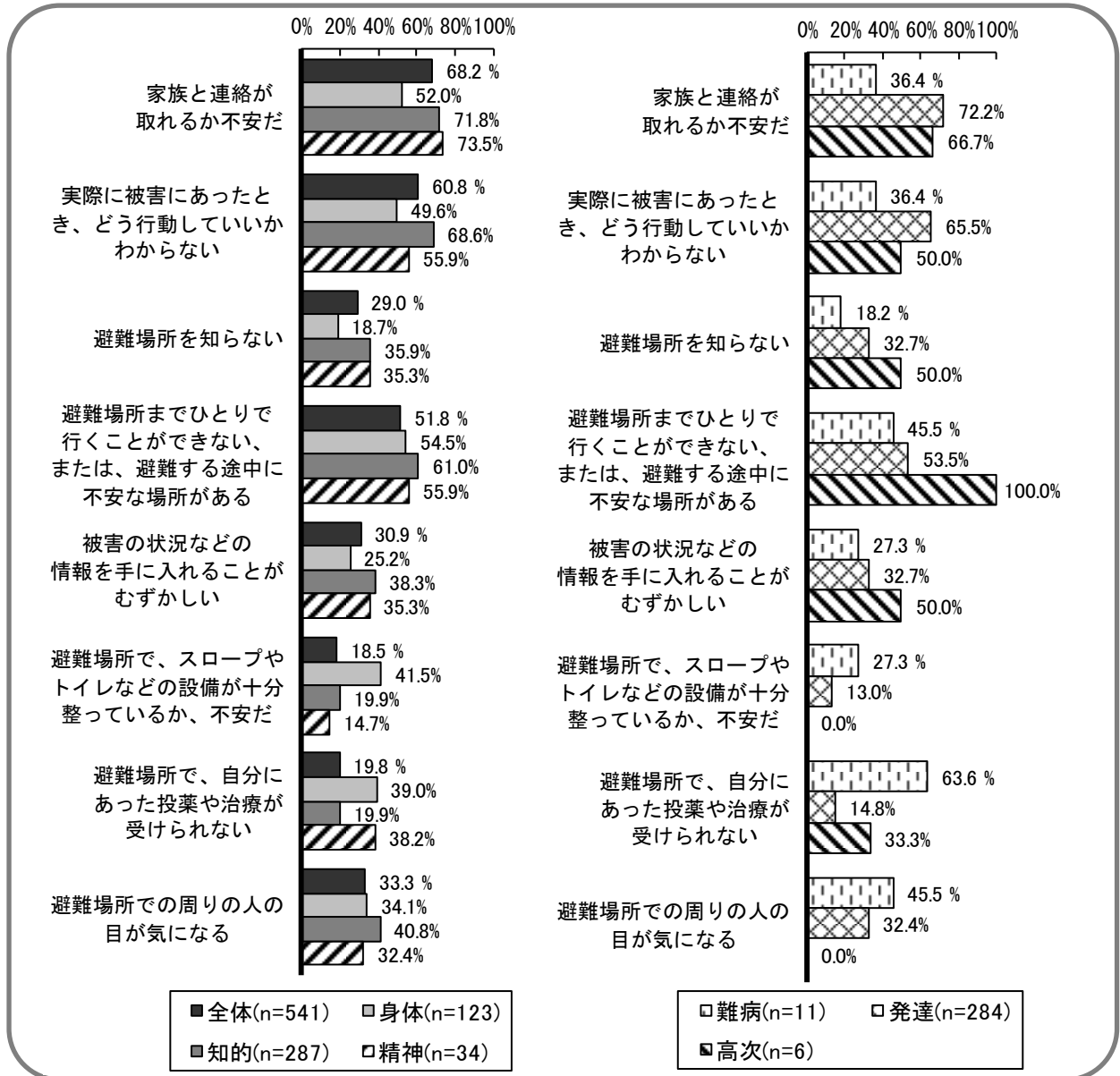
(→詳細な調査結果は186ページ)



<18歳未満>

●「家族と連絡が取れるか不安」は7割近くと多い。

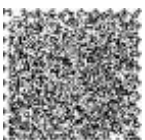
■障がいの分類別結果（グラフは主な選択肢）



18歳未満では、18歳以上と同じく「家族と連絡が取れるか不安だ」との回答が最も多くなっていますが、68.2%と18歳以上よりも多い結果となっています。

他にも、「実際に被害にあったとき、どう行動していいかわからない」「避難場所までひとりで行くことができない、または避難する途中に不安な場所がある」との回答が半数を超えており、18歳以上よりも多くなっています。

(→詳細な調査結果は203ページ)





◆年齢別の傾向<18歳以上/18歳未満> (単位：%)

	家族と連絡が取れるか不安だ	実際に被害にあったとき、 どう行動していいかわからない	避難場所を知らない	避難場所までひとりで行くことができない、 または、避難する途中に不安な場所がある	被害の状況などの情報を 手に入れることがむずかしい	避難場所での設備が 十分整っているか、不安だ	避難場所での設備が 受けられない	避難場所での周りの人の目が気になる	その他	無回答
<b>0～2歳</b> (n=17)	23.5	47.1	5.9	41.2	11.8	29.4	47.1	35.3	0.0	5.9
<b>3～5歳</b> (n=127)	57.5	51.2	22.0	48.8	18.1	15.7	15.0	26.0	8.7	3.1
<b>6～11歳</b> (n=215)	69.3	67.0	30.7	60.5	33.5	18.1	20.9	32.6	6.0	1.4
<b>12～14歳</b> (n=74)	85.1	71.6	37.8	52.7	48.6	20.3	13.5	36.5	8.1	0.0
<b>15～17歳</b> (n=104)	75.0	56.7	32.7	39.4	32.7	19.2	24.0	40.4	1.9	3.8
<b>18～39歳</b> (n=320)	68.4	62.5	26.3	34.1	26.6	26.3	29.7	34.7	5.6	3.8
<b>40～64歳</b> (n=632)	57.0	44.0	26.6	19.8	21.4	20.7	33.4	22.5	8.2	4.9
<b>65歳以上</b> (n=882)	44.0	41.2	23.0	33.1	21.8	30.6	30.6	14.7	6.8	8.8

年齢別に見ると、「家族と連絡が取れるか不安だ」との回答は[12～14歳] (85.1%)、[15～17歳] (75.0%) と、中学生・高校生の時期での回答が特に多くなっています。一方、「避難場所で、自分にあつた投薬や治療が受けられない」との回答については、[0～2歳] (47.1%)、[40～64歳] (33.4%)、[65歳以上] (30.6%) で多くなっています。

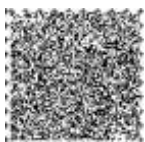


◆地域別に見た傾向<18歳以上/18歳未満> (単位：%)

		家族と連絡が取れるか不安だ	実際に被害にあったとき、 どう行動していいかわからない	避難場所を知らない	避難場所までひとりで行くことができない、 または、避難する途中に不安な場所がある	被害の状況などの情報を 手に入れることがむずかしい	避難場所ので、スロープやトイレなどの設備が 十分整っているか、不安だ	避難場所ので、自分にあつた投薬や治療が 受けられない	避難場所での周りの人の目が気になる	その他	無回答
18 歳 以 上	全体 (n=1878)	52.4	45.6	24.7	28.6	22.3	26.1	31.3	20.6	7.1	6.9
	大森地域 (n=588)	53.9	49.0	26.0	28.4	23.8	28.6	33.0	23.0	7.0	6.3
	調布地域 (n=420)	53.3	43.6	20.7	31.0	21.9	27.1	32.4	20.2	7.6	4.3
	蒲田地域 (n=541)	50.5	45.8	24.2	28.7	24.4	26.4	31.4	21.1	7.4	7.6
	糀谷・羽田地域 (n=277)	54.2	44.0	30.0	26.4	16.6	21.3	27.4	17.3	5.8	8.3
18 歳 未 満	全体 (n=541)	68.2	60.8	29.0	51.8	30.9	18.5	19.8	33.3	6.1	2.2
	大森地域 (n=171)	73.1	60.8	32.7	53.8	32.7	24.6	22.8	32.7	6.4	0.6
	調布地域 (n=143)	62.9	54.5	25.2	46.2	25.9	11.9	14.7	30.1	4.9	2.8
	蒲田地域 (n=157)	67.5	65.0	30.6	52.2	30.6	19.7	19.7	35.7	5.1	2.5
	糀谷・羽田地域 (n=68)	69.1	64.7	23.5	57.4	36.8	13.2	23.5	35.3	10.3	4.4

地域別に見た傾向としては、18歳以上では、[糀谷・羽田地域]で「避難場所を知らない」との回答が多くなっています。

18歳未満では、[糀谷・羽田地域]で「避難場所までひとりで行くことができない、または、避難する途中に不安な場所がある」、「被害の状況などの情報を手に入れることがむずかしい」との回答が多くなっています。また、[大森地域]で、「避難場所ので、スロープやトイレなどの設備が十分整っているか、不安だ」との回答が多くなっています。



## 6 外出の状況

### (1) 外出の頻度 (18 歳以上 問 28/18 歳未満 問 27)

問 ふだん、あなたはどのくらい外に出かけていますか。(○は1つ)

<18 歳以上>

●「ほとんど毎日外出する」は全体の 43.7%。

■障がいの分類別結果 (単位: %)

	ほとんど毎日 外出する	週に3~4日 外出する	週に1~2日 外出する	ほとんど 外出しない	無回答
全体 (n=1878)	43.7	22.7	18.3	13.0	2.3
身体 (n=1042)	38.4	25.5	19.5	14.5	2.1
知的 (n=334)	56.0	13.2	17.4	10.5	3.0
精神 (n=337)	45.1	22.3	18.1	14.2	0.3
難病 (n=284)	48.9	22.2	15.1	12.7	1.1
発達 (n=93)	58.1	9.7	18.3	12.9	1.1
高次 (n=59)	32.2	32.2	15.3	18.6	1.7

18 歳以上では、「ほとんど毎日外出する」は全体の 43.7%となっています。分類別では、[発達]、[知的]、[難病] がが全体よりも 5 ポイント以上多くなっています。

<18 歳未満>

●「ほとんど毎日外出する」は全体の 81.0%。

■障がいの分類別結果 (単位: %)

	ほとんど毎日 外出する	週に3~4日 外出する	週に1~2日 外出する	ほとんど 外出しない	無回答
全体 (n=541)	81.0	8.7	6.1	3.9	0.4
身体 (n=123)	69.9	15.4	8.1	5.7	0.8
知的 (n=287)	77.4	9.1	7.7	5.2	0.7
精神 (n=34)	67.6	23.5	5.9	2.9	0.0
難病 (n=11)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達 (n=284)	83.8	7.4	5.6	3.2	0.0
高次 (n=6)	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0

18 歳未満では、学校等へ通う人が多い (18 歳未満 問 12) ことから、「ほとんど毎日外出する」との回答が 81.0%と 18 歳以上と比べても多くなっています。

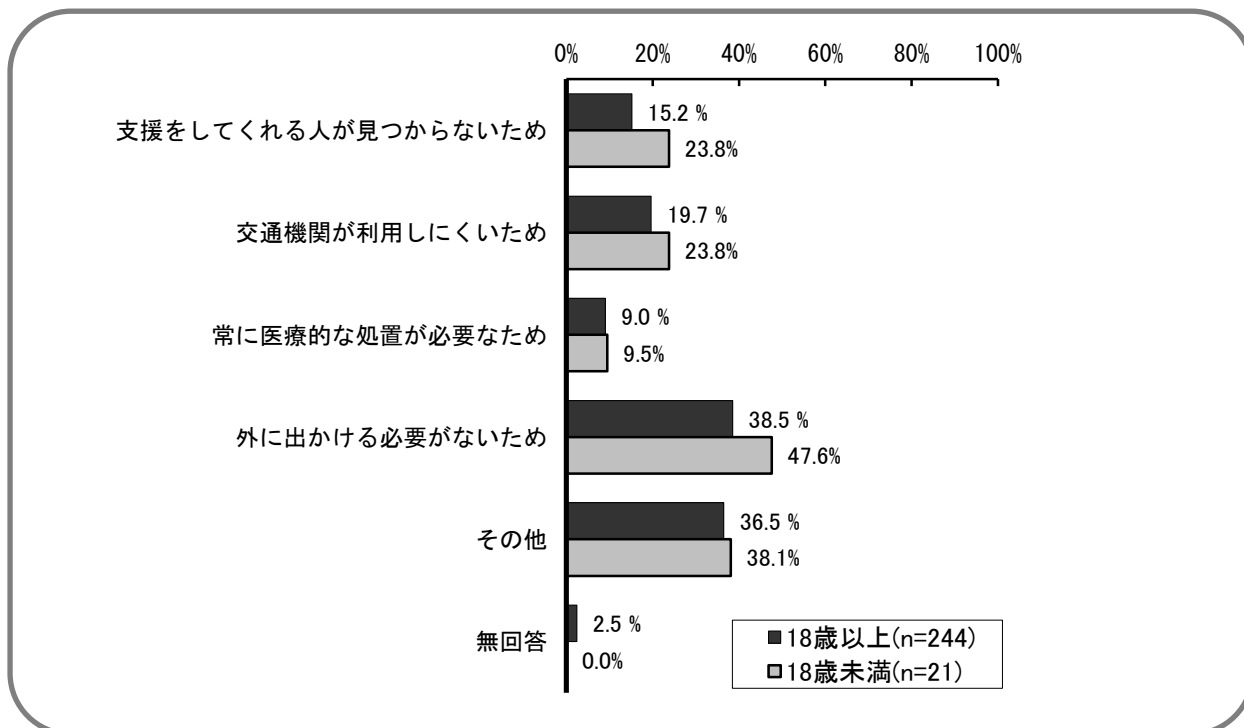


## (2) 外出しない理由 (18歳以上 問29/18歳未満 問28)

問 (「(1) 外出の頻度」で「ほとんど外に出かけない」とお答えの方へ) あなたが「ほとんど外に出かけない」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

### ●「出かける必要がないため」が多い。

#### ■ 調査結果



ほとんど外出しない人の理由としては、「外に出かける必要がないため」との回答が18歳以上は38.5%、18歳未満は47.6%と、最も多くなっています。

「その他」との回答が多くなっていますが、主な記述内容としては「体調が良くない」「歩けない」、「(外出するのが) 大変」などが挙げられています。



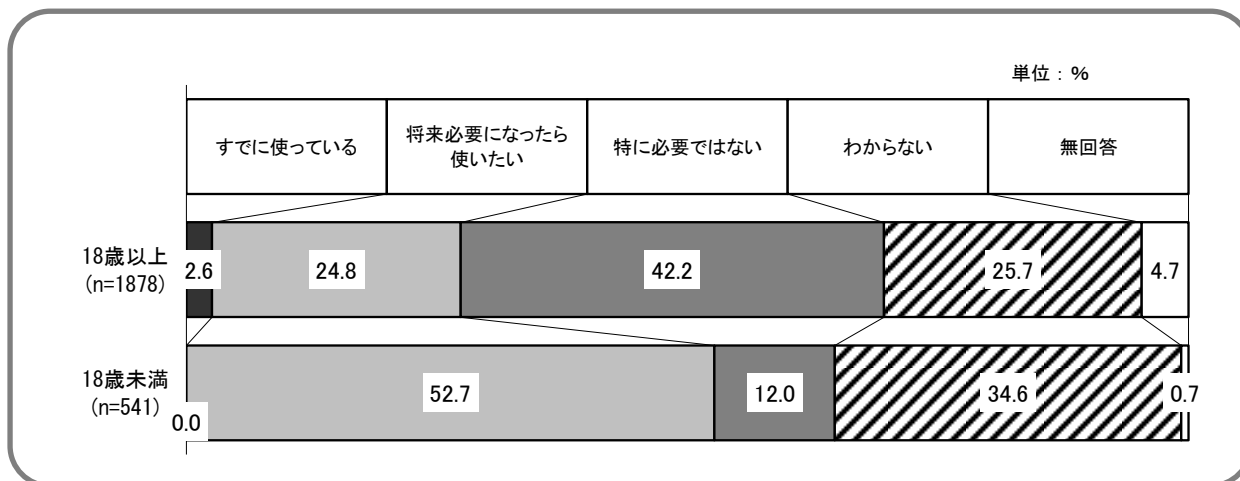
## 7 権利擁護

(1) 「成年後見制度」の活用意向（18歳以上 問30 / 18歳未満 問29）

問 あなたは、成年後見制度を使いたいですか。（○は1つ）

●18歳以上で「すでに使っている」は2.6%。

### ■調査結果



成年後見制度の活用については、18歳以上では「特に必要ではない」との回答が42.2%で最も多くなっています。18歳未満では、「将来必要になったら使いたい」との回答が52.7%で最も多くなっています。

「すでに活用している」との回答については、18歳以上では2.6%となっています。



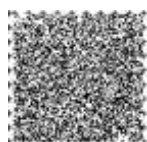
■ 前回との比較 <18 歳以上> (参考) (単位：%)

		すでに使っている	将来必要になったら使いたい	特に必要ではない	わからない	無回答
全体	今回 (n=1878)	2.6	24.8	42.2	25.7	4.7
	前回 (n=2308)	1.3	26.4	41.8	24.9	5.6
[身体]	今回 (n=1042)	2.1	20.7	48.8	23.4	5.0
	前回 (n=1312)	1.3	23.9	46.2	21.7	6.9
[知的]	今回 (n=334)	7.8	41.3	16.5	30.8	3.6
	前回 (n=365)	3.6	48.2	17.0	26.6	4.7
[精神]	今回 (n=337)	3.0	31.8	32.6	31.5	1.2
	前回 (n=387)	1.6	31.8	33.3	31.0	2.3
[難病]	今回 (n=284)	1.1	18.7	54.2	23.2	2.8
	前回 (n=408)	0.5	18.4	52.0	25.7	3.4
[発達]	今回 (n=93)	6.5	41.9	10.8	40.9	0.0
	前回 (n=84)	1.2	47.6	25.0	23.8	2.4
[高次]	今回 (n=59)	10.2	28.8	30.5	28.8	1.7
	前回 (n=59)	6.8	27.1	33.9	27.1	5.1

※前回調査の選択肢は「すでに活用している」「将来必要になったら活用したい」

18 歳以上の傾向について前回と比較すると、全体では大きな変化は見られません。

[発達]では、「すでに使っている」との回答が前回よりも増加しているものの、「わからない」との回答が前回は 17.1 ポイント上回り多くなっています。

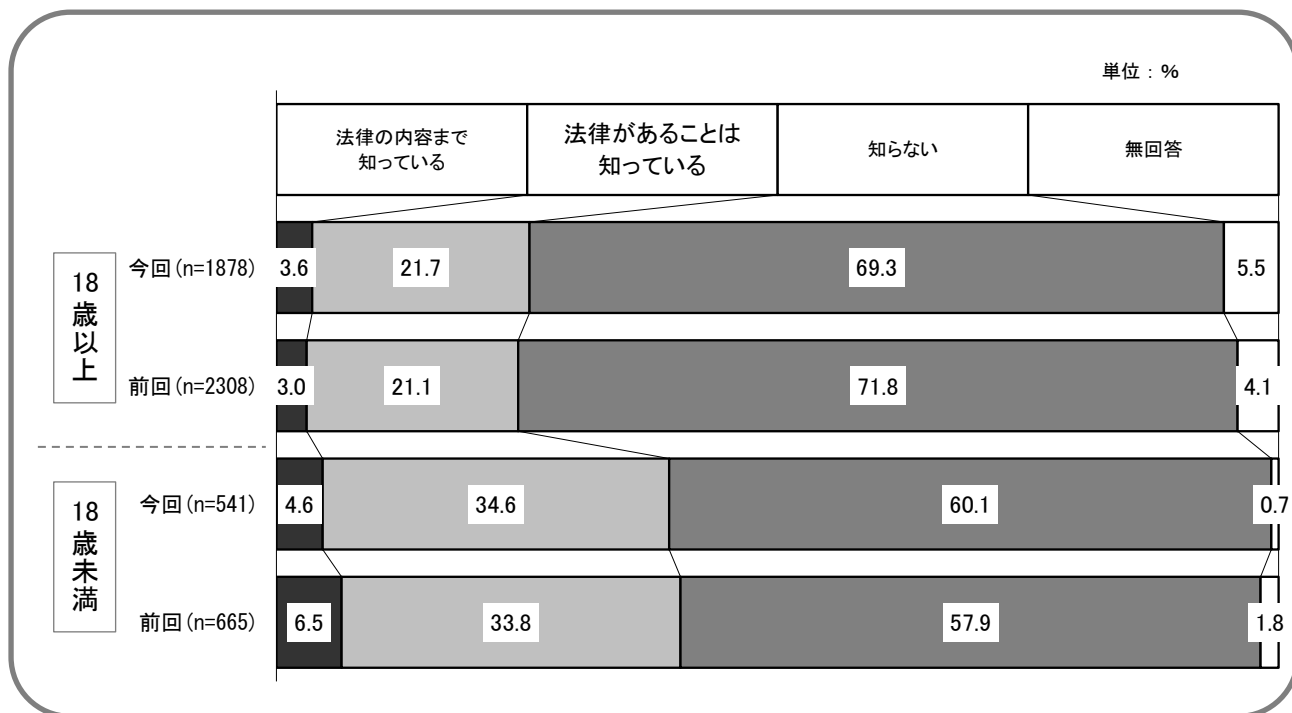


(2) 「障害者差別解消法」の認知度 (18歳以上 問31/18歳未満 問30)

問 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(○は1つ)

●18歳以上で「法律の内容まで知っている」人は3.6%。

■調査結果と前回との比較



「障害者差別解消法」の認知度については、18歳以上では「法律の内容まで知っている」人は全体の3.6%です。「法律の内容まで知っている」と「法律があることは知っている」を合わせた『知っている』層は、全体の25.3%にとどまっています。

18歳未満では「法律の内容まで知っている」人は全体の4.6%です。「法律の内容まで知っている」と「法律があることは知っている」を合わせた『知っている』層は、全体の39.2%です。

前回との比較では、18歳以上、18歳未満ともに大きな変化は見られません。



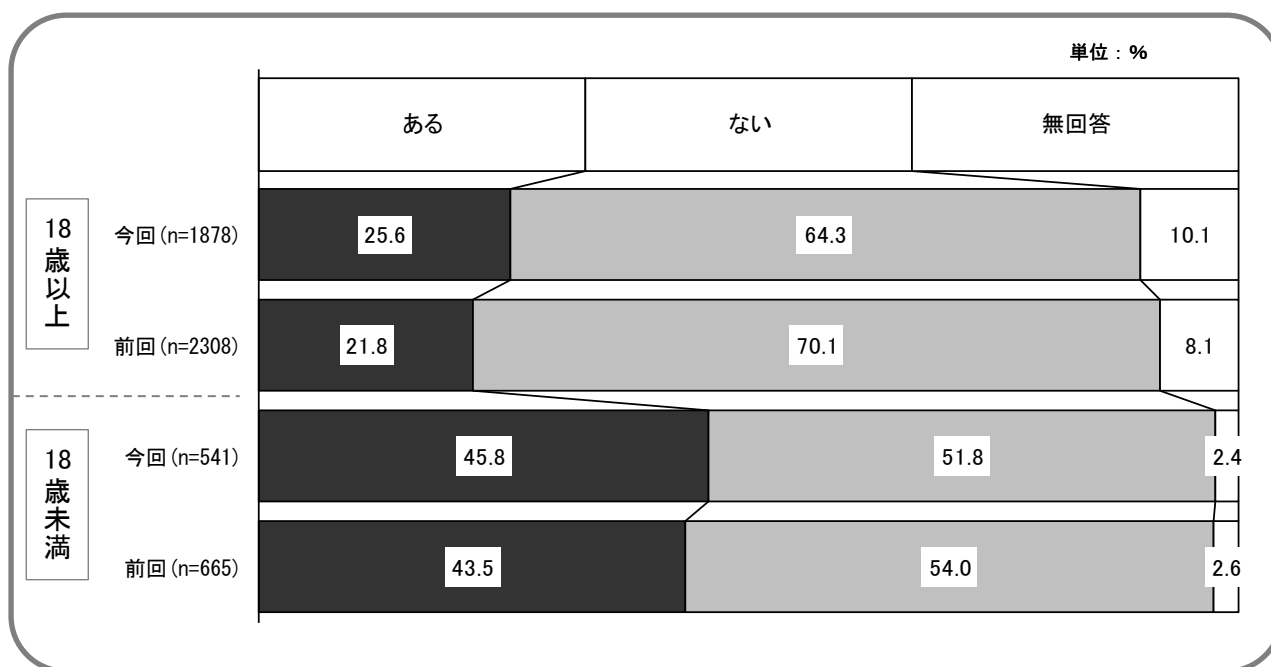
(3) 差別を感じた経験 (18 歳以上 問 32/18 歳未満 問 31)

問 あなたは、差別をされたと感じた (いやな思いをした) ことはありますか。

(○は1つ)

●「ある」と回答した人は 18 歳以上で 25.6%、18 歳未満では 45.8%。

■調査結果と前回との比較



差別をされたと感じた経験について「ある」と回答した方は、18 歳以上で 25.6%、18 歳未満では 45.8%となっています。

前回との比較では、大きな変化は見られませんが、18 歳以上、18 歳未満ともに、差別をされたと感じた経験が「ある」との回答が増加しています。



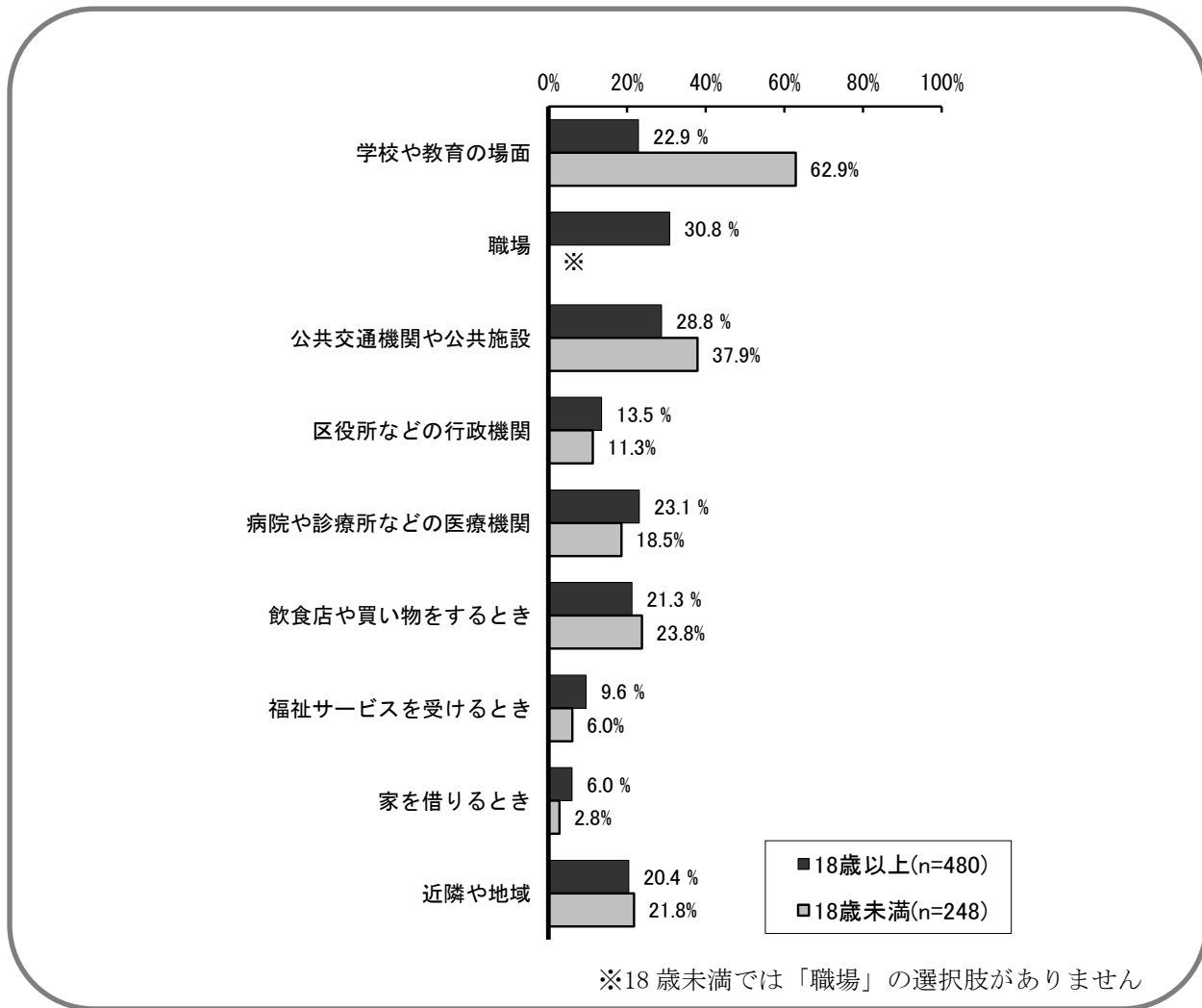


(4) 差別を感じた場所や場面 (18歳以上 問33/18歳未満 問32)

問 「(3) 差別を感じた経験」で「ある」とお答えの方へ) あなたが差別をされたと感じた・いやな思いをしたのは、どのような場所や場面ですか。(〇はいくつでも)

●18歳以上では「職場」が、18歳未満では「学校や教育の場面」が最も多い。

■調査結果 (グラフは主な選択肢)



差別をされたと感じた場所や場面については、18歳以上では「職場（仕事をしているとき）」との回答が30.8%で最も多くなっており、次いで「公共交通機関や公共施設（駅など）」、「病院や診療所などの医療機関」などとなっています。

18歳未満では、「学校や教育の場面」との回答が62.9%と最も多くなっており、次いで「公共交通機関や公共施設（駅など）」、「飲食店や買い物をするとき」などとなっています。

(→詳細な調査結果は18歳以上188ページ、18歳未満205ページ)



◆年齢別の傾向〈18歳以上／18歳未満〉（単位：％）

	学校や教育の場面	職場	公共交通機関や公共施設	区役所などの行政機関	病院や診療所などの医療機関	飲食店や買い物をするとき	福祉サービスを受けるとき	家を借りるとき	近隣や地域	その他	無回答
0～2歳 (n=17)	60.0		40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3～5歳 (n=127)	66.7		33.3	14.3	14.3	11.9	9.5	0.0	7.1	4.8	2.4
6～11歳 (n=215)	63.4		37.5	10.7	17.0	29.5	5.4	3.6	27.7	1.8	2.7
12～14歳 (n=74)	65.2		34.8	10.9	23.9	19.6	6.5	6.5	21.7	4.3	2.2
15～17歳 (n=104)	57.5		47.5	12.5	22.5	30.0	5.0	0.0	25.0	2.5	0.0
18～39歳 (n=320)	41.2	38.2	27.2	11.8	20.6	20.6	9.6	5.9	14.7	8.1	2.2
40～64歳 (n=632)	19.8	35.6	29.7	16.2	27.0	22.5	7.7	6.8	16.7	9.5	1.4
65歳以上 (n=882)	8.0	15.0	28.3	10.6	19.5	18.6	14.2	5.3	35.4	8.8	1.8

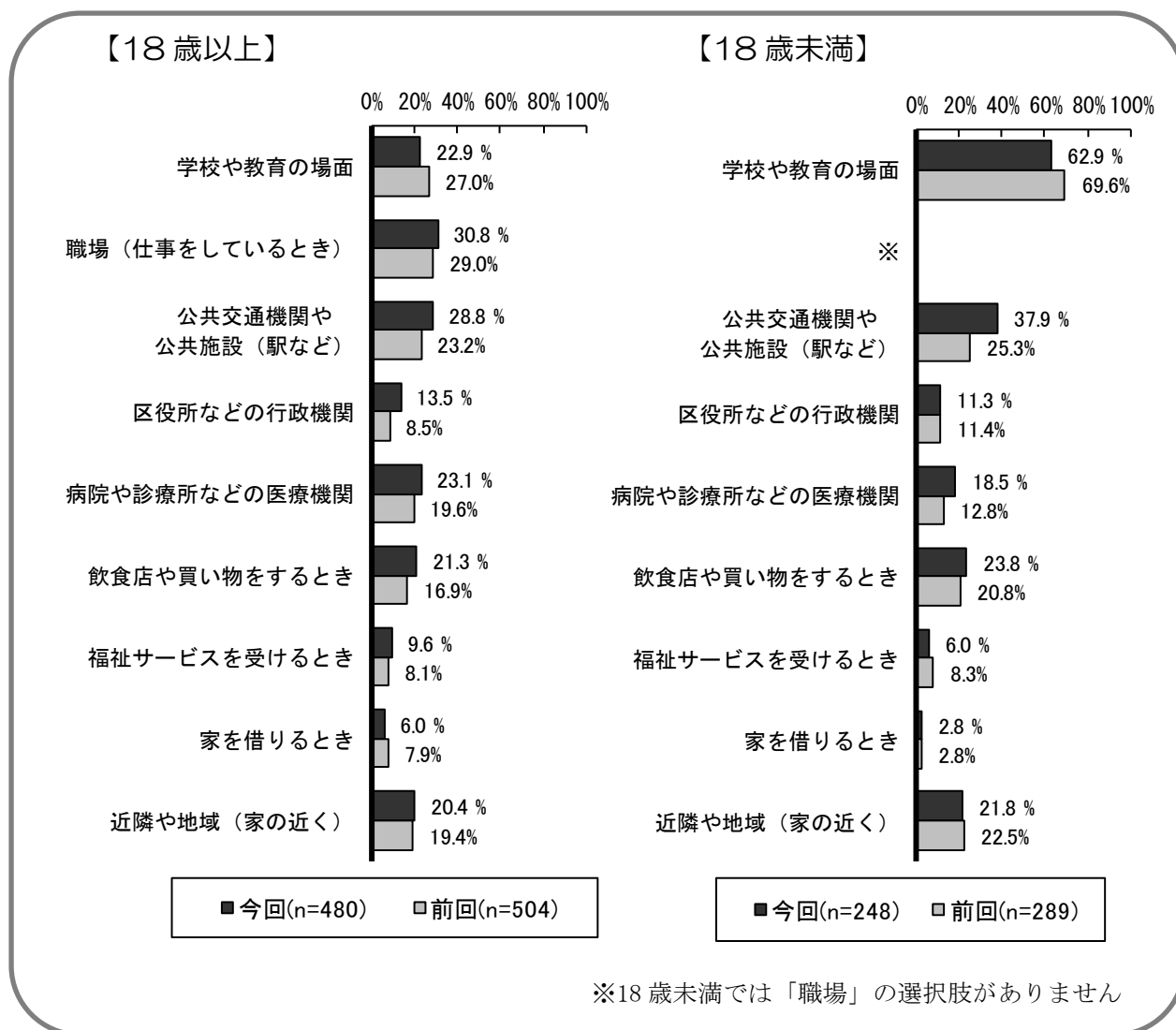
年齢別に見ると、[0～17歳]で「学校や教育の場面」との回答がいずれも半数を超えて多くなっています。

また、[18～64歳]で「職場」との回答が3割以上となっています。

[65歳以上]では、「近隣や地域」との回答が35.4%で最も多くなっています。



■ 前回との比較＜18 歳以上／18 歳未満＞（グラフは主な選択肢）



前回との比較では、18 歳以上では「公共交通機関や公共施設（駅など）」や「区役所などの行政機関」との回答が前回より多くなっています。

18 歳未満では、「公共交通機関や公共施設」と「病院や診療所などの医療機関」との回答が前回より多くなっている一方、「学校や教育等の場面」では前回より少なくなっています。



(5) 差別を感じた内容 (18歳以上 問34/18歳未満 問33)

問 「(3) 差別を感じた経験」で「ある」とお答えの方へ「(4) 差別を感じた場所や場面」で、あなたが差別をされたと感じた・いやな思いをしたのは、どのような内容でしたか。お書きください。

■記述内容として寄せられた主な意見

※以下の記述は、感じた経験として寄せられた回答について「(4) 差別を感じた場所や場面」の選択肢ごとに分類したものであり、これらの内容が差別に該当するということを示すものではありません。

<18歳以上>

1. 学校や教育の場面

- ・いじめ。
- ・からかい。
- ・「病気を治してから部活に出てこい」と言われた。

2. 職場

- ・給料減額などの不当な扱い。
- ・集まりなどに一度も声をかけてもらえなかった。
- ・上司による暴言、パワハラ等。

3. 公共交通機関や公共施設

- ・車椅子でタクシーを利用しようとしたが、乗車拒否をされた。
- ・優先席に座っていたが、立つように求められた。
- ・電車で、見て見ぬふりをされた。わざと、杖にぶつかって来る人もいる。

4. 区役所などの行政機関

- ・障がいがあることを信じてもらえなかった。
- ・自分の病名を言ったら態度が変わって、適当に扱われた。
- ・手続きの際、お手伝いを頂けたらと思い、障がい者であることを告げたが、「関係ない」と言われた。



## 5. 病院や診療所などの医療機関

- ・難病医療証を出したら大きな声で「難病の人が来ました」と言われた。
- ・聴覚障がいとわかった瞬間、説明が適当になった。
- ・歯医者、内科などで断られた。

## 6. 飲食店や買い物をするとき

- ・難聴の為、相手の話す事が分からずに聞き返すと、バカにした態度をとられる。
- ・スーパーの売り場で嫌な顔をされた。

## 7. 福祉サービスを受けるとき

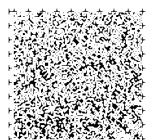
- ・自宅改造の際、階段昇降機の設置で、1階に病気の老親が住んでいると伝えたが、前例がない、親を2階に住まわせることはできないのか、と言われた。
- ・目が見えないのかと言われた。
- ・音声時計、音声血圧計など支援してもらいたいときに疑り深い対応だった。

## 8. 家を借りるとき

- ・アパート入居の時、長期の入居が無理だった。
- ・家を借りる時、保証人不要と表示されていたにもかかわらず、保証会社からの電話対応が出来ないと断られたり、身内の方などの保証人はいないか？と言われ、遠まわしに断られることが多かった。
- ・引っ越しの家探しの時に障がいのある子がいると話したところ、なかなか良い返事をいただけず、9軒目にて契約をすることができた。

## 9. 近隣や地域

- ・外見は普通なので「歩けないのは本人の歩く気がないんじゃないか」「家族は働いて面倒を見てないのでは」等、家庭の中のことや本人の気持ちを考えずに言うてくる。
- ・うるさいという苦情の手紙を何回も入れられた。
- ・差別用語を言われて本人・家族がすごく傷付いた。



## <18歳未満>

### 1. 学校や教育の場面

- ・幼稚園への入園を断られたことがある。
- ・普通級に在籍していた頃、担任からもう面倒を見きれないので、支援級のある学校に転校するように数回はっきりと言われた。
- ・友達から傷つく言葉を言われた。

### 2. 公共交通機関や公共施設

- ・電車などに乗っている時、つい声が出てしまい、冷たい視線やせきばらいなどをされる。
- ・車イスで電車に乗った時に、いやな顔をされた。舌打ちされた。
- ・タクシーは空車なのに、車いすだと分かると乗車拒否される。

### 3. 区役所などの行政機関

- ・区役所に車いす用のトイレ、オムツ替えベッドが少ない。
- ・区役所で、福祉サービスを受けたい旨を相談した時、頭から「無理」とまるでこちらに非があるかのような対応を受けた。

### 4. 病院や診療所などの医療機関

- ・病院で診察してもらえなかった。
- ・医療機関を受診した際、色々な機材をさわりたいくなってしまい、少しさわってしまったところ、手をたたかれた。手をだすのではなく言葉でダメだということを伝えてほしかった。

### 5. 飲食店や買い物をするとき

- ・ジャンプをしたり、手をたたくなど音を出すような行動をとると、白い目で見られることが多い。
- ・車いす利用者の入店は、難しいと言われた。

### 6. 福祉サービスを受けるとき

- ・不随意運動で首を振ってしまうが、福祉サービスの職員の方に「そのくせはアル中の人のようだ」と本人の前で発言されたことがある。



## 7. 家を借りるとき

- ・家を借りるまで時間がかかった。
- ・子供が突然大きな声をあげることなどを理由にほとんど断られる。

## 8. 近隣や地域

- ・公園で遊んでいると、他の子供達に悪口を言われながらつきまとわれた。



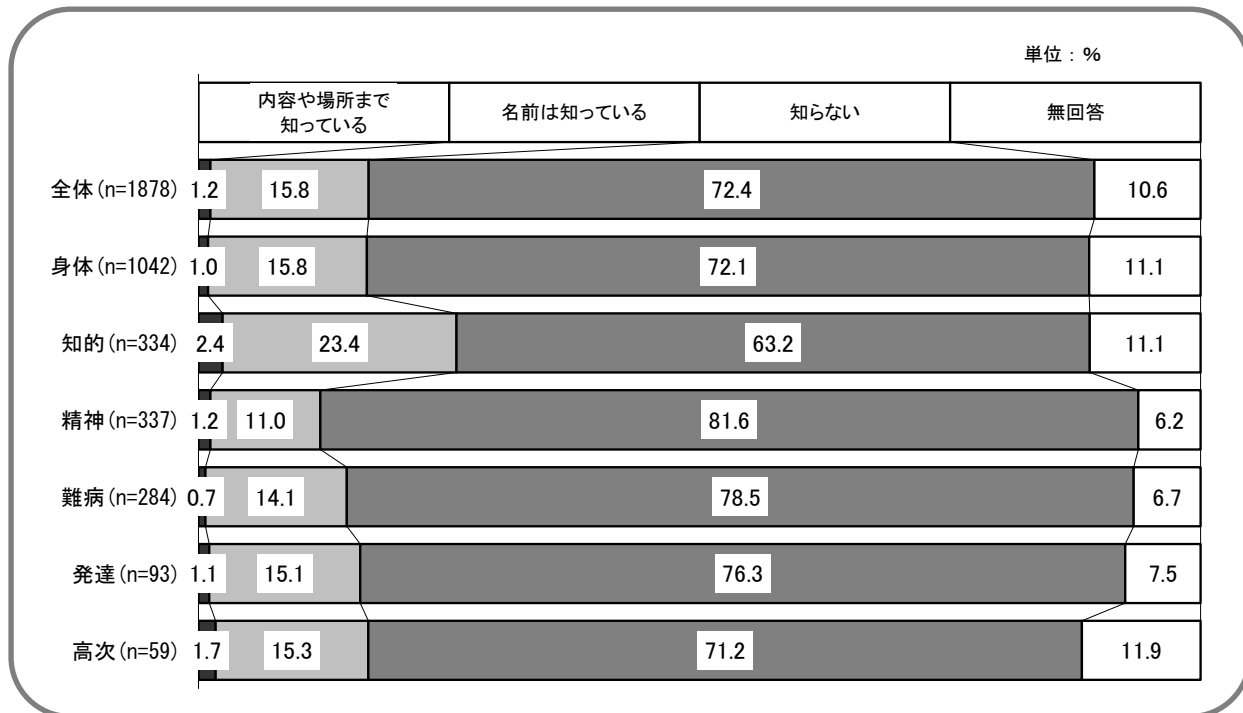
(6) 「障害者虐待防止センター」の認知度 (18歳以上 問35/18歳未満 問34)

問 あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。(○は1つ)

<18歳以上>

●「内容や場所まで知っている」人は全体の1.2%。

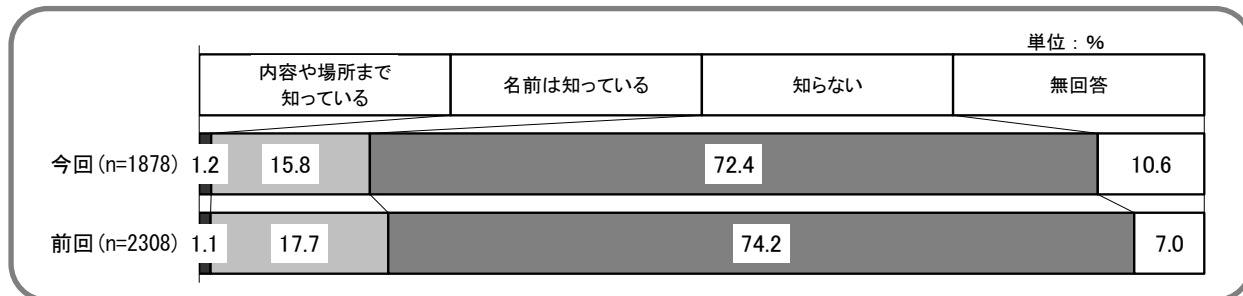
■障がいの分類別結果



「障害者虐待防止センター」の認知度については、18歳以上では「内容や場所まで知っている」との回答は全体の1.2%にとどまっています。

分類別に見ると、「内容や場所まで知っている」と「名前まで知っている」を合わせた『知っている』層は、[知的]で25.8%が最も多くなっていますが、いずれも3割を下回っています。

■前回との比較



前回との比較では、特に大きな変化は見られません。

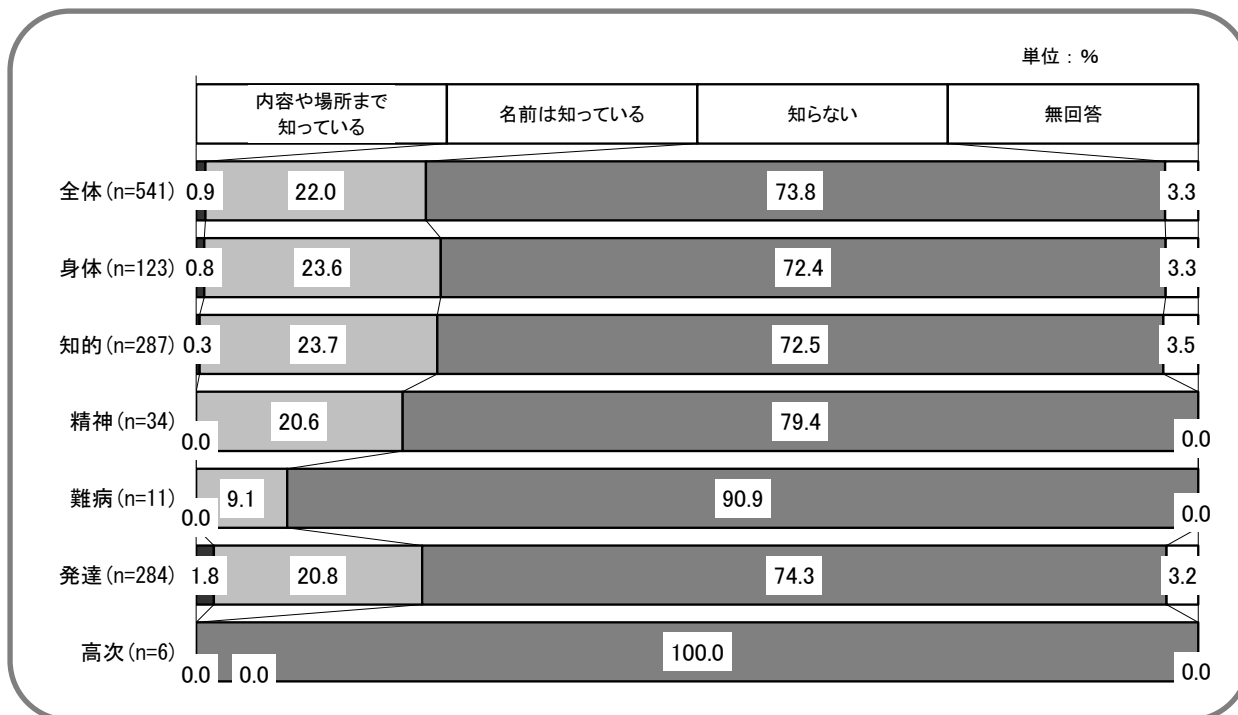




<18歳未満>

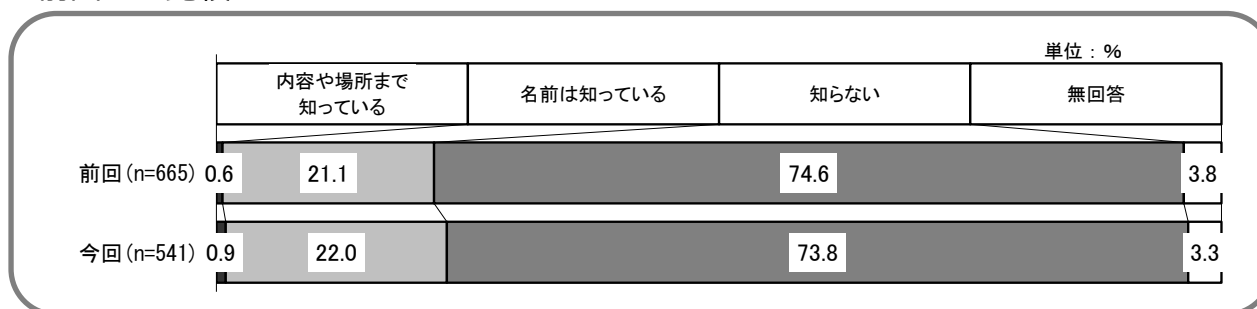
●「内容や場所まで知っている」人は全体の0.9%。

■障がいの分類別結果



18歳未満では「内容や場所まで知っている」との回答は全体の0.9%にとどまっております。「内容や場所まで知っている」と「名前まで知っている」を合わせた『知っている』層も、3割を下回っています。

■前回との比較



前回との比較では、特に大きな変化は見られません。



## 8 相談や情報

### (1) 福祉情報の入手方法 (18歳以上 問36/18歳未満 問35)

問 あなたは、福祉についての情報などを、どのような方法で手に入れていますか。  
(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●「区報」がいずれの分類でも多い。[発達]などで「インターネット」が多い。

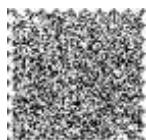
■障がいの分類別結果 (上位5回答、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
全体 (n=1878)	区報 34.1	インターネット 17.6	区役所の職員 17.0	友達・知り合い 16.0	新聞や地域情報紙など 15.3
身体 (n=1042)	区報 38.3	新聞や地域情報紙など 17.8	区役所の職員 16.8	友達・知り合い 16.4	テレビ・ラジオなど 16.2
知的 (n=334)	区報 27.8	相談支援専門員 24.3	障がい者団体や家族会 22.5	区役所の職員 21.3	友達・知り合い 21.3
精神 (n=337)	区報 28.8	インターネット 28.2	区役所の職員 23.7	医療機関の相談窓口 19.9	友達・知り合い 16.0
難病 (n=284)	区報 35.9	インターネット 23.6	医療機関の相談窓口 20.4	新聞や地域情報紙など 16.2	テレビ・ラジオなど 14.8
発達 (n=93)	インターネット 29.0	区役所の職員 25.8	区報 23.7	相談支援専門員 21.5	友達・知り合い／障がい者団体や家族会 16.1
高次 (n=59)	区報 30.5	医療機関の相談窓口 28.8	福祉施設の掲示板など 22.0	友達・知り合い／相談支援専門員 20.3	

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

情報の入手方法としては、「区報」との回答が全体で34.1%と最も多くなっています。分類別に見ると、[発達]では「インターネット」との回答が最も多くなっています。

(→詳細な調査結果は189ページ)



■[身体]の「手帳を取るきっかけ（問6）」別結果（上位5回答、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
身体 (n=1042)	区報	新聞や地域情報紙など	区役所の職員	友達・知り合い	テレビ・ラジオなど
	38.3	17.8	16.8	16.4	16.2
視覚 (n=160)	区報	テレビ・ラジオなど	友達・知り合い	区役所の職員	インターネット
	30.0	23.8	22.5	17.5	13.8
聴覚 (n=157)	区報	インターネット	テレビ・ラジオなど／新聞や地域情報紙など		区役所の職員
	37.6	16.6	15.9		12.1
音声 (n=82)	区報	友達・知り合い／医療機関の相談窓口／新聞や地域情報紙など			障がい者団体や家族会
	34.1	17.1			15.9
運動 (n=360)	区報	新聞や地域情報紙など	友達・知り合い	テレビ・ラジオなど	区役所の職員
	41.1	17.8	17.5	15.0	14.4
内部 (n=290)	区報	医療機関の相談窓口	区役所の職員	新聞や地域情報紙など	インターネット
	42.1	23.4	21.7	21.4	21.0

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

[身体]の「手帳を取るきっかけ（問6）」別に見ると、いずれも「区報」との回答が最も多いものの、[内部]や[音声]では「医療機関の相談窓口」などが2番目に多く、[聴覚]では「インターネット」が2番目に多くなっています。

(→詳細な調査結果は 189 ページ)



<18歳未満>

●「友達・知り合い」と「インターネット」が多い。

■障がいの分類別結果（上位5回答、単位：%）

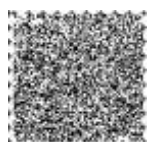
分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
<b>全体</b> (n=541)	友達・知り合い 51.8	インターネット 41.2	区報 22.6	区役所の職員 19.0	相談支援専門員 15.5
<b>身体</b> (n=123)	友達・知り合い 54.5	インターネット 35.0	区役所の職員 34.1	障がい者団体や家族会 18.7	区報 17.1
<b>知的</b> (n=287)	友達・知り合い 60.3	インターネット 33.8	区報 22.6	障がい者団体や家族会 20.6	区役所の職員 19.2
<b>精神</b> (n=34)	インターネット 44.1	友達・知り合い 35.3	区報 17.6	相談支援専門員／障がい者団体や家族会 11.8	
<b>難病</b> (n=11)	友達・知り合い／テレビ・ラジオなど 36.4		区役所の職員／インターネット／医療機関の相談窓口 27.3		
<b>発達</b> (n=284)	友達・知り合い 51.4	インターネット 47.2	区報 24.6	相談支援専門員 18.3	区役所の職員 16.2
<b>高次</b> (n=6)	インターネット 50.0	友達・知り合い 33.3	区役所の職員／区報／福祉施設の掲示板など／相談支援専門員／医療機関の相談窓口／障がい者団体や家族会／テレビ・ラジオなど 16.7		

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

18歳未満では「友達・知り合い」との回答が51.8%で最も多くなっており、次いで「インターネット」、「区報」などとなっています。

分類別の結果でも「友達・知り合い」、「インターネット」のいずれかが上位3回答までに入っています。

(→詳細な調査結果は206ページ)



◆年齢別の傾向〈18歳以上／18歳未満〉（上位5回答、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
0～2歳 (n=17)	インターネット 52.9	友達・知り合い 47.1	区役所の職員 35.3	相談支援専門 員 35.3	障がい者団体 や家族会 23.5
3～5歳 (n=127)	インターネット 57.5	友達・知り合い 48.8	区報 25.2	区役所の職員 22.8	福祉施設の掲 示板など 19.7
6～11歳 (n=215)	友達・知り合い 58.6	インターネット 42.8	区報 22.3	相談支援専門 員 20.0	区役所の職員 15.8
12～14歳 (n=74)	友達・知り合い 50.0	インターネット 29.7	区報 21.6	区役所の職員 18.9	障がい者団体 や家族会 16.2
15～17歳 (n=104)	友達・知り合い 43.3	インターネット 25.0	区報 24.0	区役所の職員 18.3	障がい者団体 や家族会 17.3
18～39歳 (n=320)	インターネット 27.8	区報 21.9	友達・知り合い 20.3	区役所の職員 19.7	相談支援専門 員 16.9
40～64歳 (n=632)	インターネット 29.6	区報 29.1	区役所の職員 20.6	友達・知り合い 15.5	医療機関の相 談窓口 14.6
65歳以上 (n=882)	区報 42.7	新聞や地域情 報紙など 20.4	テレビ・ラジオ など 17.0	友達・知り合い 14.9	医療機関の相 談窓口 14.9

年齢別に見ると、「インターネット」との回答が、[0～5歳]や[18～64歳]で最も多く、[6～17歳]でも[友達・知り合い]に続き2番目に多くなっています。

「区報」は、[65歳以上]で42.7%と高く、[18～64歳]でも2番目に高くなっており、世代により手段が多様化していることがうかがえます。



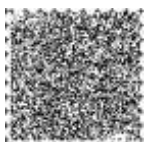
(調査結果)

<18歳未満> (単位: %)

	区役所の職員	友達・知り合い	区報	インターネット	福祉施設の掲示板など	相談支援専門員	医療機関の相談窓口	障がい者団体や家族会	テレビ・ラジオなど	新聞や地域情報紙など	その他	無回答
全体 (n=541)	19.0	51.8	22.6	41.2	13.3	15.5	8.3	14.2	5.7	5.4	13.3	3.0
0~2歳 (n=17)	35.3	47.1	5.9	52.9	17.6	35.3	17.6	23.5	0.0	0.0	11.8	0.0
3~5歳 (n=127)	22.8	48.8	25.2	57.5	19.7	15.7	6.3	8.7	1.6	3.9	6.3	2.4
6~11歳 (n=215)	15.8	58.6	22.3	42.8	14.4	20.0	7.9	14.9	8.8	7.4	12.6	1.9
12~14歳 (n=74)	18.9	50.0	21.6	29.7	8.1	6.8	6.8	16.2	5.4	6.8	23.0	2.7
15~17歳 (n=104)	18.3	43.3	24.0	25.0	6.7	9.6	9.6	17.3	5.8	1.9	17.3	6.7

<18歳以上> (単位: %)

	区役所の職員	友達・知り合い	区報	インターネット	福祉施設の掲示板など	相談支援専門員	医療機関の相談窓口	障がい者団体や家族会	テレビ・ラジオなど	新聞や地域情報紙など	その他	無回答
全体 (n=1878)	17.0	16.0	34.1	17.6	9.1	11.2	13.6	7.1	14.6	15.3	9.0	8.6
18~39歳 (n=320)	19.7	20.3	21.9	27.8	13.1	16.9	8.8	15.9	9.1	8.4	10.3	6.9
40~64歳 (n=632)	20.6	15.5	29.1	29.6	12.5	10.1	14.6	7.8	13.4	12.0	8.7	4.7
65歳以上 (n=882)	13.5	14.9	42.7	5.9	5.2	10.1	14.9	3.6	17.0	20.4	8.8	10.9



(2) 情報入手する上で困ること (18歳以上 問37/18歳未満 問36)

問 あなたは、福祉についての情報などを手に入れるとき、どのようなことに困っていますか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>

● 困りごとの中では「どこから情報を得ればよいか分からない」が最も多い。

■ 障がいの分類別結果 (単位：%)

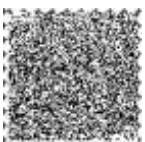
	どこから情報を得ればよいか わからない	情報の内容がむずかしい、 わかりにくい	点字版や録音テープ、音声コードな どによる情報提供が少ない	パソコンなどの使い方がわからないた め、インターネットが利用できない	パソコンなどを持っていないため、 インターネットが利用できない	その他	特に困っていない	無回答	
全体 (n=1878)	33.7	19.8	1.8	12.7	13.4	3.1	39.1	7.9	
身体 (n=1042)	視覚 (n=160)	33.2	14.4	1.9	13.8	15.5	3.3	40.8	7.8
	聴覚 (n=157)	34.4	15.6	10.6	14.4	10.6	4.4	38.8	6.9
	音声 (n=82)	34.4	12.1	0.0	16.6	24.8	4.5	30.6	10.8
	運動 (n=360)	42.7	20.7	1.2	19.5	14.6	4.9	31.7	8.5
	内部 (n=290)	32.5	14.7	0.6	13.6	15.0	3.1	40.8	9.4
知的 (n=334)	27.2	12.4	1.0	12.4	14.5	2.8	50.0	3.8	
精神的 (n=337)	27.2	32.0	2.1	17.4	13.2	3.9	34.1	11.1	
難病 (n=284)	47.5	30.6	1.8	11.0	11.3	5.3	31.8	2.4	
発達 (n=93)	27.5	19.7	1.4	10.2	10.6	1.4	46.8	6.3	
高次 (n=59)	44.1	40.9	5.4	14.0	6.5	7.5	29.0	5.4	
	39.0	28.8	1.7	15.3	18.6	6.8	30.5	8.5	



福祉に関する情報を入手する上で困ることについては、18歳以上では、「特に困っていない」が39.1%で最も多くなっています。

それ以外の選択肢では、「どこから情報を得ればよいかわからない」が33.7%と、3割を超えて多くなっています。

分類別では、[発達]、[知的]、[精神]、[高次]で「情報の内容がむずかしい、わかりにくい」が、[視覚]で「点字版や録音テープ、音声コードなどによる情報提供が少ない」、[音声]で「パソコンなどの使い方がわからないため、インターネットが利用できない」が、[音声]と[高次]で「パソコンなどを持っていないため、インターネットが利用できない」が、それぞれ全体より多くなっています。





<18歳未満>

●「どこから情報を得ればよいか分からない」が半数を超えて最も多い。

■障がいの分類別結果（単位：％）

	どこから情報を得ればよいか わからない	情報の内容がむずかしい、 わかりにくい	点字版や録音テープ、音声コードな どによる情報提供が少ない	パソコンなどの使い方がわからないた め、インターネットが利用できない	パソコンなどを持っていないため、 インターネットが利用できない	その他	特に困っていない	無回答
全体 (n=541)	53.4	30.9	0.2	4.4	2.6	5.9	27.7	3.9
身体 (n=123)	視覚 (n=10)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0
	聴覚 (n=17)	52.9	29.4	0.0	0.0	0.0	41.2	0.0
	音声 (n=18)	55.6	33.3	0.0	0.0	0.0	38.9	0.0
	運動 (n=89)	65.2	29.2	0.0	2.2	1.1	23.6	4.5
	内部 (n=24)	62.5	50.0	0.0	0.0	0.0	12.5	8.3
知的 (n=287)	53.0	34.8	0.3	8.0	4.2	5.9	24.7	4.9
精神 (n=34)	35.3	26.5	0.0	0.0	0.0	11.8	32.4	11.8
難病 (n=11)	63.6	54.5	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0
発達 (n=284)	53.9	30.6	0.4	3.5	3.5	7.4	28.2	3.2
高次 (n=6)	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0

18歳未満でも、「どこから情報を得ればよいかわからない」が53.4%で半数を超えて最も多く、次いで、「情報の内容がむずかしい、わかりにくい」となっています。



(3) 相談者・相談先 (18歳以上 問38/18歳未満 問37)

問 いま、あなたが相談できるのは、どのようなところ(人)ですか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>

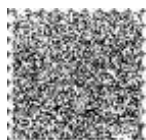
●「家族や親族」が7割近くと最も多く、次いで「医療関係者」。

■障がいの分類別結果 (上位5回答と「特にいない」、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=1878)	家族や親族	医療関係者	区役所	友達・知り合い	福祉施設の職員	特にいない
	69.6	29.7	25.2	24.1	13.4	5.1
身体 (n=1042)	家族や親族	医療関係者	区役所	友達・知り合い	福祉施設の職員	特にいない
	69.1	26.2	25.8	23.8	10.5	4.7
知的 (n=334)	家族や親族	福祉施設の職員	区役所	友達・知り合い	医療関係者	特にいない
	70.7	40.7	26.6	18.9	15.6	1.8
精神 (n=337)	家族や親族	医療関係者	区役所	友達・知り合い	福祉施設の職員	特にいない
	66.2	45.4	31.8	28.5	16.9	6.8
難病 (n=284)	家族や親族	医療関係者	友達・知り合い	区役所	福祉施設の職員／ホームヘルパー／相談支援事業所	特にいない
	83.8	43.7	25.4	20.4	4.6	3.9
発達 (n=93)	家族や親族	医療関係者	区役所	福祉施設の職員	友達・知り合い	特にいない
	66.7	38.7	35.5	30.1	20.4	4.3
高次 (n=59)	家族や親族	医療関係者	区役所	福祉施設の職員	友達・知り合い	特にいない
	71.2	37.3	32.2	20.3	15.3	5.1

相談できる場所については、「家族や親族」との回答が全体で69.6%と最も多く、分類別でもすべての分類で最も多くなっています。

(→詳細な調査結果は189ページ)



<18歳未満>

●「家族や親族」は8割を超えて多く、次いで「保育園や幼稚園、学校の先生」。

■障がいの分類別結果（上位5回答と「特にない」、単位：%）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
<b>全体</b> (n=541)	家族や親族 86.0	保育園や幼稚園、学校の先生 52.3	友達・知り合い 37.3	医療関係者 28.1	区役所 17.9	特にない 1.8
<b>身体</b> (n=123)	家族や親族 82.9	医療関係者 37.4	友達・知り合い 34.1	保育園や幼稚園、学校の先生 33.3	区役所 28.5	特にない 2.4
<b>知的</b> (n=287)	家族や親族 82.6	保育園や幼稚園、学校の先生 52.6	友達・知り合い 35.9	医療関係者 27.5	区役所 21.6	特にない 2.1
<b>精神</b> (n=34)	家族や親族 97.1	保育園や幼稚園、学校の先生 55.9	医療関係者 44.1	友達・知り合い 29.4	福祉施設の職員 17.6	特にない 0.0
<b>難病</b> (n=11)	家族や親族 72.7	医療関係者 45.5	友達・知り合い/ 保育園や幼稚園、学校の先生 27.3		区役所/ 同じ障がいをもつ仲間 18.2	特にない 0.0
<b>発達</b> (n=284)	家族や親族 88.4	保育園や幼稚園、学校の先生 57.7	友達・知り合い 37.3	医療関係者 26.8	相談支援事業所 19.7	特にない 1.4
<b>高次</b> (n=6)	家族や親族 100.0	保育園や幼稚園、学校の先生/ 医療関係者/ 福祉施設の職員/ 相談支援事業所/ 同じ障がいをもつ仲間 33.3			特にない 0.0	

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

18歳未満でも、「家族や親族」との回答が全体で86.0%と最も多く、分類別でもすべての分類で最も多くなっています。次いで、「保育園や幼稚園、学校の先生」、「友達・知り合い」、「医療関係者」などとなっています。

(→詳細な調査結果は206ページ)



◆年齢別の傾向〈18歳以上／18歳未満〉（上位5回答、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
<b>0～2歳</b> (n=17)	家族や親族 94.1	医療関係者 58.8	友達・知り合い 47.1	同じ障がいをもつ仲間 41.2	福祉施設の職員 29.4
<b>3～5歳</b> (n=127)	家族や親族 85.0	保育園や幼稚園、学校の先生 56.7	友達・知り合い 37.0	医療関係者 26.8	区役所 23.6
<b>6～11歳</b> (n=215)	家族や親族 86.5	保育園や幼稚園、学校の先生 58.1	友達・知り合い 37.7	医療関係者 28.4	相談支援事業所 20.9
<b>12～14歳</b> (n=74)	家族や親族 83.8	保育園や幼稚園、学校の先生 44.6	友達・知り合い 33.8	医療関係者 24.3	区役所 14.9
<b>15～17歳</b> (n=104)	家族や親族 86.5	保育園や幼稚園、学校の先生 46.2	友達・知り合い 38.5	医療関係者 26.0	区役所 17.3
<b>18～39歳</b> (n=320)	家族や親族 80.0	友達・知り合い 30.0	医療関係者 27.5	福祉施設の職員 25.3	区役所 20.9
<b>40～64歳</b> (n=632)	家族や親族 66.5	医療関係者 34.5	区役所 29.3	友達・知り合い 27.5	福祉施設の職員 15.7
<b>65歳以上</b> (n=882)	家族や親族 69.2	医療関係者 28.3	区役所 23.7	友達・知り合い 20.3	福祉施設の職員 8.0

年齢別にみても、「家族や親族」との回答がいずれの分類でも多くなっています。

18歳以上または18歳未満全体のそれぞれの上位5回答以外の選択肢としては、[0～2歳]では「同じ障がいを持つ仲間」が4番目となっています。

また、他の選択肢では、[3～17歳]の保育園・幼稚園から学齢期にかけて、「保育園や幼稚園、学校の先生」が2番目に多くなっています。



(調査結果)

<18歳未満> (単位: %)

	家族や親族	友達・知り合い	区役所	障がい者総合サポートセンター	保育園や幼稚園、学校の先生	自治会の人や民生委員・児童委員	医療関係者	福祉施設の職員	知的障害者相談員	身体障害者相談員や 知的障害者相談員	ホームヘルパー	相談支援事業所	同じ障がいをもち仲間	その他	特にいない	無回答
全体 (n=541)	82.7	34.4	23.2	2.7	45.1	0.9	27.7	12.3	2.3	3.3	15.2	20.8	6.0	2.1	2.6	
0~2歳 (n=17)	61.3	22.6	35.5	0.0	9.7	0.0	41.9	12.9	3.2	3.2	12.9	16.1	9.7	0.0	0.0	
3~5歳 (n=127)	83.7	33.3	29.1	2.1	46.8	0.0	29.8	24.1	4.3	1.4	31.9	28.4	8.5	2.1	0.0	
6~11歳 (n=215)	82.7	34.2	20.4	2.2	52.0	1.3	32.0	11.6	1.8	2.7	15.1	16.9	3.1	1.8	4.0	
12~14歳 (n=74)	86.5	40.4	26.9	4.8	52.9	1.0	22.1	8.7	1.9	6.7	11.5	21.2	7.7	1.0	1.9	
15~17歳 (n=104)	82.5	33.8	18.2	3.2	36.4	1.3	20.8	5.2	1.3	3.9	3.2	18.8	6.5	3.9	3.9	

<18歳以上> (単位: %)

	家族や親族	友達・知り合い	区役所	障がい者総合サポートセンター	保育園や幼稚園、学校の先生	自治会の人や民生委員・児童委員	医療関係者	福祉施設の職員	知的障害者相談員	身体障害者相談員や 知的障害者相談員	ホームヘルパー	相談支援事業所	同じ障がいをもち仲間	その他	特にいない	無回答
全体 (n=1878)	69.6	24.1	25.2	5.3	1.0	1.4	29.7	13.4	3.5	4.7	5.4	7.5	3.8	5.1	3.9	
18~39歳 (n=320)	80.0	30.0	20.9	11.6	4.7	0.6	27.5	25.3	3.4	1.9	9.7	11.3	1.9	3.1	2.2	
40~64歳 (n=632)	66.5	27.5	29.3	6.8	0.6	0.5	34.5	15.7	4.1	3.0	6.0	10.1	2.8	6.0	2.2	
65歳以上 (n=882)	69.2	20.3	23.7	2.2	0.0	2.3	28.3	8.0	2.8	6.8	3.6	4.5	5.2	4.6	5.1	



## 9 将来の暮らし方

### (1) 今後の進路や生活設計（18歳未満 問38）

問 あなたは、今後（5年後）の進路や生活設計をどのようにしたいと思っていますか。（○は3つまで、今の生活を続ける場合も含める）

#### ●「小学校・中学校・高校に通いたい」が最も多い。

#### ■障がいの分類別結果（単位：％）

	幼稚園・保育園に通いたい	特別支援学校に通いたい	小学校・中学校・高校に通いたい	大学・専門学校などに通いたい	就労に向けた支援を受けたい	会社などに就職したい	就労継続支援A・B型施設に通いたい	生活介護施設に通いたい	機能訓練や生活訓練の施設に通いたい	その他	無回答
全体 (n=541)	2.6	22.4	52.7	9.2	14.6	15.7	7.0	4.8	3.5	3.1	2.6
身体 (n=123)	1.6	30.1	48.0	8.1	8.1	11.4	1.6	11.4	6.5	5.7	3.3
知的 (n=287)	2.1	33.1	33.4	5.6	22.3	20.6	13.2	8.7	4.2	3.1	2.4
精神 (n=34)	0.0	0.0	41.2	38.2	14.7	29.4	2.9	8.8	2.9	8.8	2.9
難病 (n=11)	0.0	27.3	27.3	27.3	0.0	36.4	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0
発達 (n=284)	2.8	21.1	60.9	8.5	15.8	12.0	5.6	2.1	3.5	3.2	2.5
高次 (n=6)	0.0	33.3	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

今後（5年後）の進路や生活設計については、「小学校・中学校・高校に通いたい」との回答が52.7%で最も多くなっています。

分類別では、「特別支援学校に通いたい」との回答では[高次]、[知的]、[身体]が、「就労に向けた支援を受けたい」では[知的]が、「大学・専門学校などに進学したい」では[精神]、[難病]、[高次]が、それぞれ多くなっています。



(2) 将来の暮らし方 (18 歳以上 問 39 / 18 歳未満 問 39)

問 将来 (5 ~ 10 年後)、あなたはどのように暮らしたいと思っていますか。(○は1つ)

●「家族と暮らしたい」が最も多い。18 歳以上の「一人で暮らしたい」は 13.5%。

■調査結果と前回との比較 (単位: %)

		家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホームなどで暮らしたい	施設に入りたい	その他	わからない	無回答
18 歳以上	今回 (n=1878)	51.4	13.5	3.8	6.0	2.0	18.6	4.8
	前回 (n=2308)	53.8	10.9	4.1	6.9	2.5	18.1	3.7
18 歳未満	今回 (n=541)	75.0	6.1	2.4	1.1	0.9	10.9	3.5
	前回 (n=665)	74.1	6.9	5.1	1.2	0.6	9.6	2.4

将来の暮らし方については、「家族と暮らしたい」との回答が 18 歳以上では 51.4%、18 歳未満では、75.0%と多くなっています。

「一人で暮らしたい」との回答は、18 歳以上で 13.5%、18 歳未満で 6.1%みられます。

前回との比較では、大きな変化は見られません。

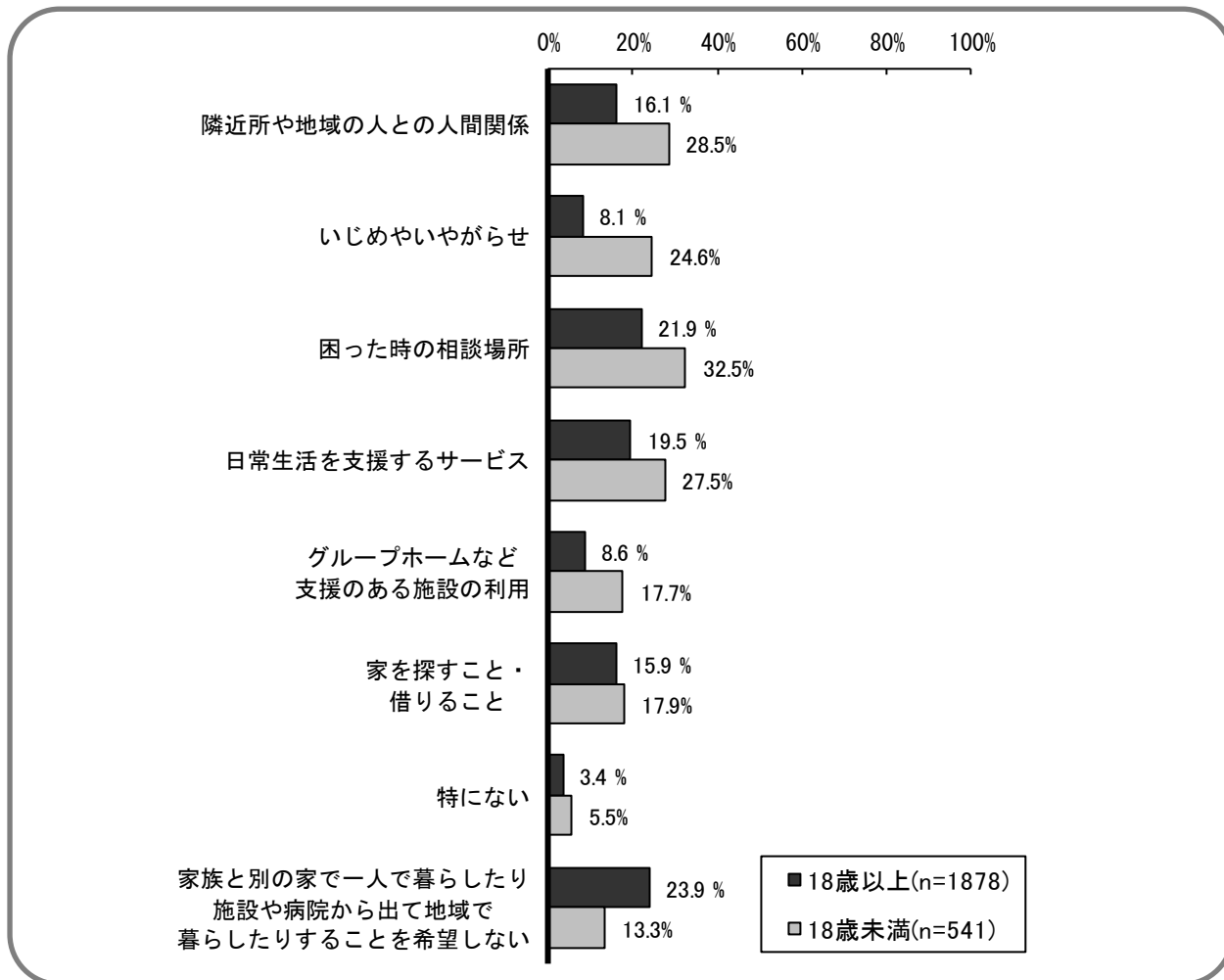


### (3) 地域生活に対する不安（18歳以上 問40／18歳未満 問40）

問 あなたが、家族と別の家で一人で暮らす場合や、施設や病院から出るときに不安に思う（思った）ことは何ですか。（〇はいくつでも）

#### ●不安の内容としては「困った時の相談場所」が最も多い。

■調査結果（グラフは主な選択肢）



地域で暮らすための不安については、18歳以上では「家族から独立したり、地域で暮らしたりすることを希望しない」が23.9%で最も多くなっています。不安の内容として挙げられているのは、「困った時の相談場所」が21.9%で最も多くなっています。

18歳未満では、「困った時の相談場所」が32.5%で最も多く、次いで「隣近所や地域の人との人間関係」、「日常生活を支援するサービス」、「いじめやいやがらせ」などが2割台で続いています。

(→詳細な調査結果は18歳以上190ページ、18歳未満207ページ)





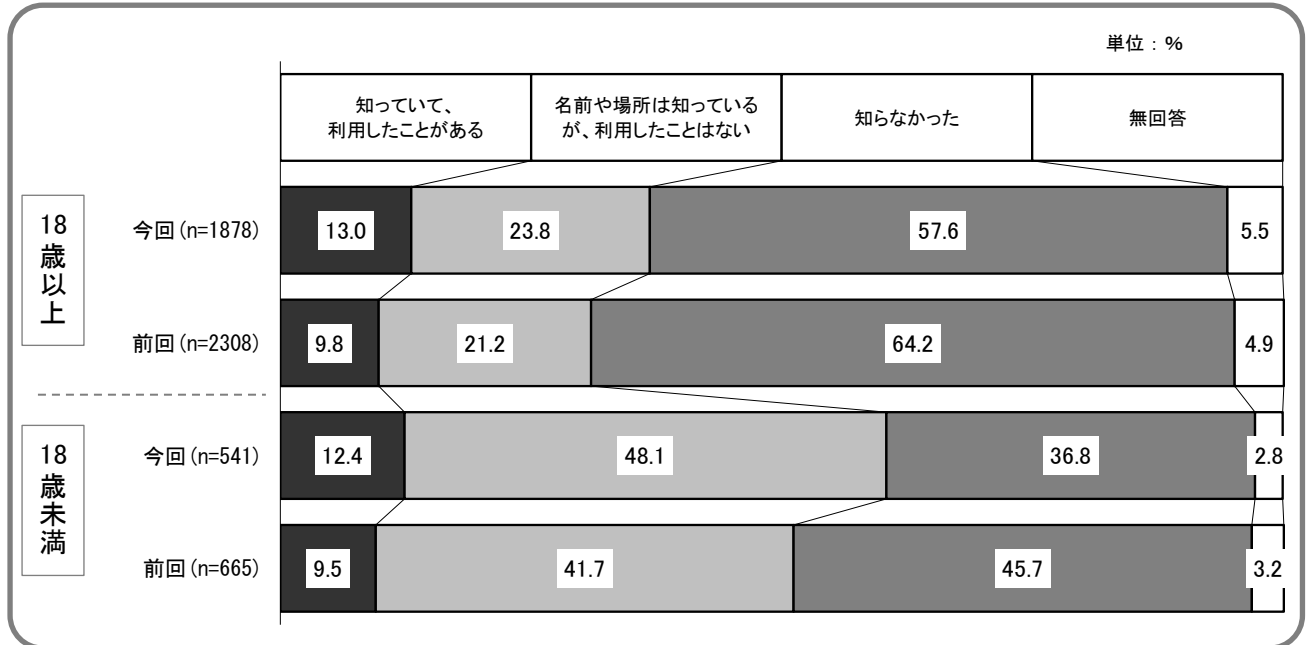
## 10 区の施策

### (1) 「さぼーとぴあ」の認知度（18歳以上 問41/18歳未満 問41）

問 あなたは「障がい者総合サポートセンター さぼーとぴあ」を知っていますか。

#### ● 18歳未満では『知っている』層が6割を超えている。

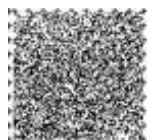
##### ■ 調査結果と前回との比較



「さぼーとぴあ」については、18歳以上では「知っている、利用したことがある」は13.0%となっています。「知っている、利用したことがある」と「名前や場所は知っているが、利用したことはない」を併せた『知っている』層は36.8%となっています。

18歳未満では、「知っており、利用したことがある」方は12.4%ですが、『知っている』層は60.5%と6割を超えています。

前回との比較では、18歳以上、18歳未満ともに『知っている』層は前回より多くなっています。



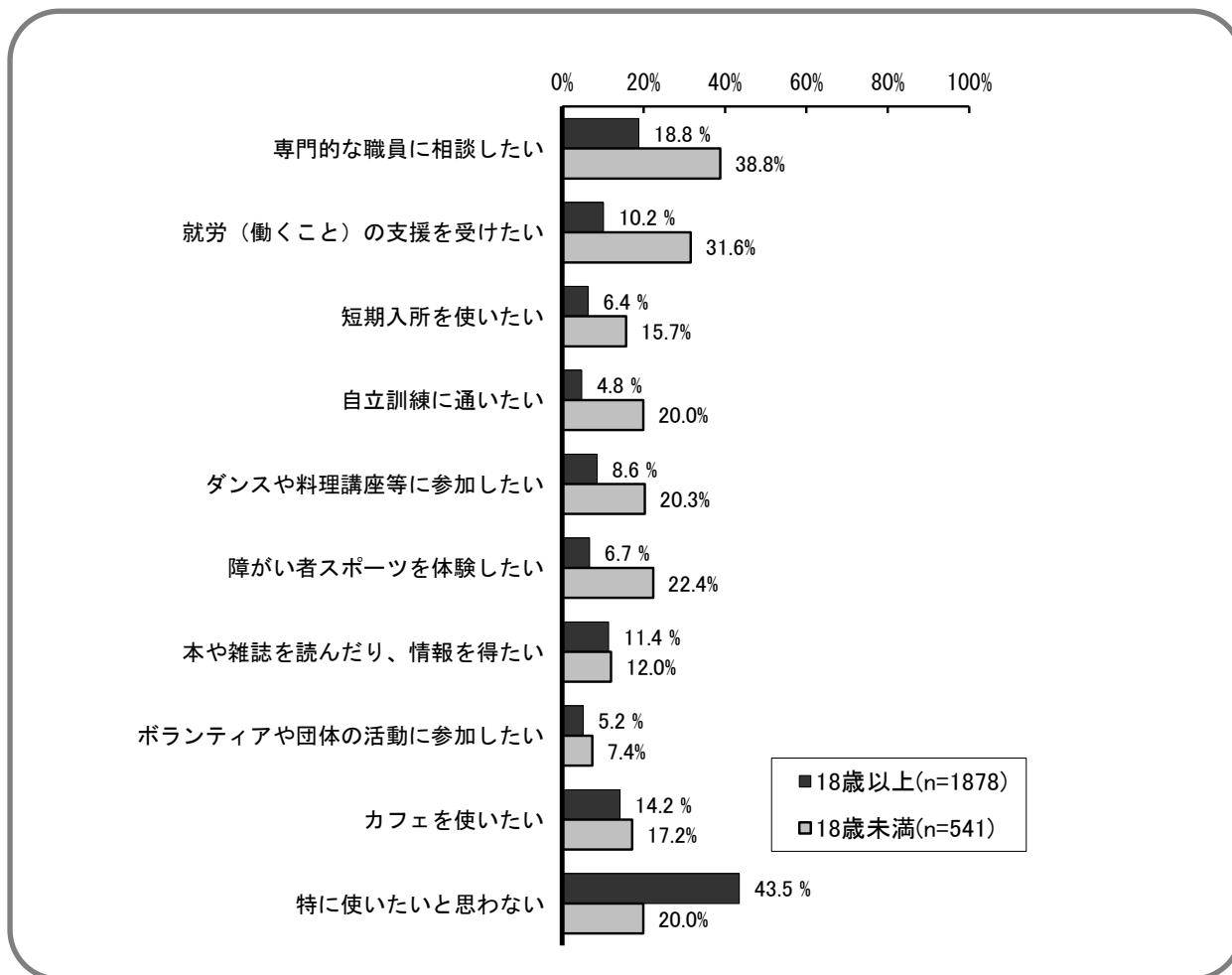
## (2) さぼーとぴあの利用意向 (18歳以上 問42/18歳未満 問42)

問 「さぼーとぴあ」では、下に書かれているようなことができます。あなたは、次のうち、どれを使いたいですか。(〇はいくつでも)

<18歳以上/18歳未満>

### ●「専門的な職員に相談」が多い。18歳未満の利用希望が多い。

#### ■調査結果



さぼーとぴあの利用については、18歳以上、18歳未満ともに、「専門的な職員に相談したい」が最も多くなっています。

18歳未満では、次いで「就労(働くこと)の支援を受けたい」が3割台の利用意向が見られます。また、いずれの選択肢でも18歳以上より利用意向が多くなっています。



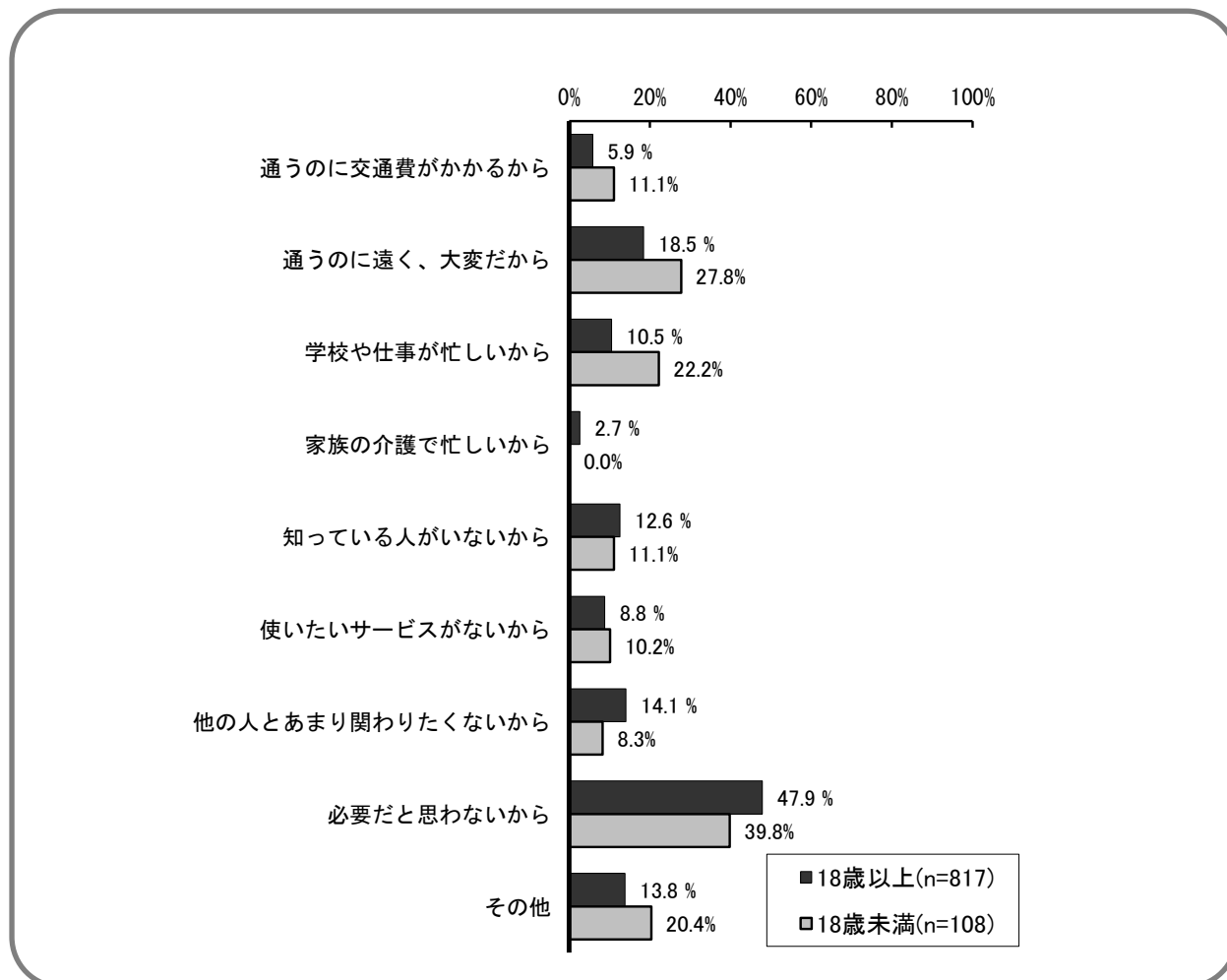
(3) さぼーとぴあ利用の妨げになっているもの(18歳以上 問43/18歳未満 問43)

問 (「(2) さぼーとぴあの利用意向」で「特に使いたいと思わない」とお答えの方へ) 使いたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<18歳以上/18歳未満>

●「通うのに遠く、大変だから」が多い。

■ 調査結果



さぼーとぴあ利用の妨げになっていることについては、18歳以上、18歳未満のいずれでも「通うのに遠く、大変だから」が多くなっています。

それ以外の選択肢では、18歳以上では「他の人とあまりかかわりたくないから」、18歳未満では「学校や仕事が忙しいから」などが続いています。



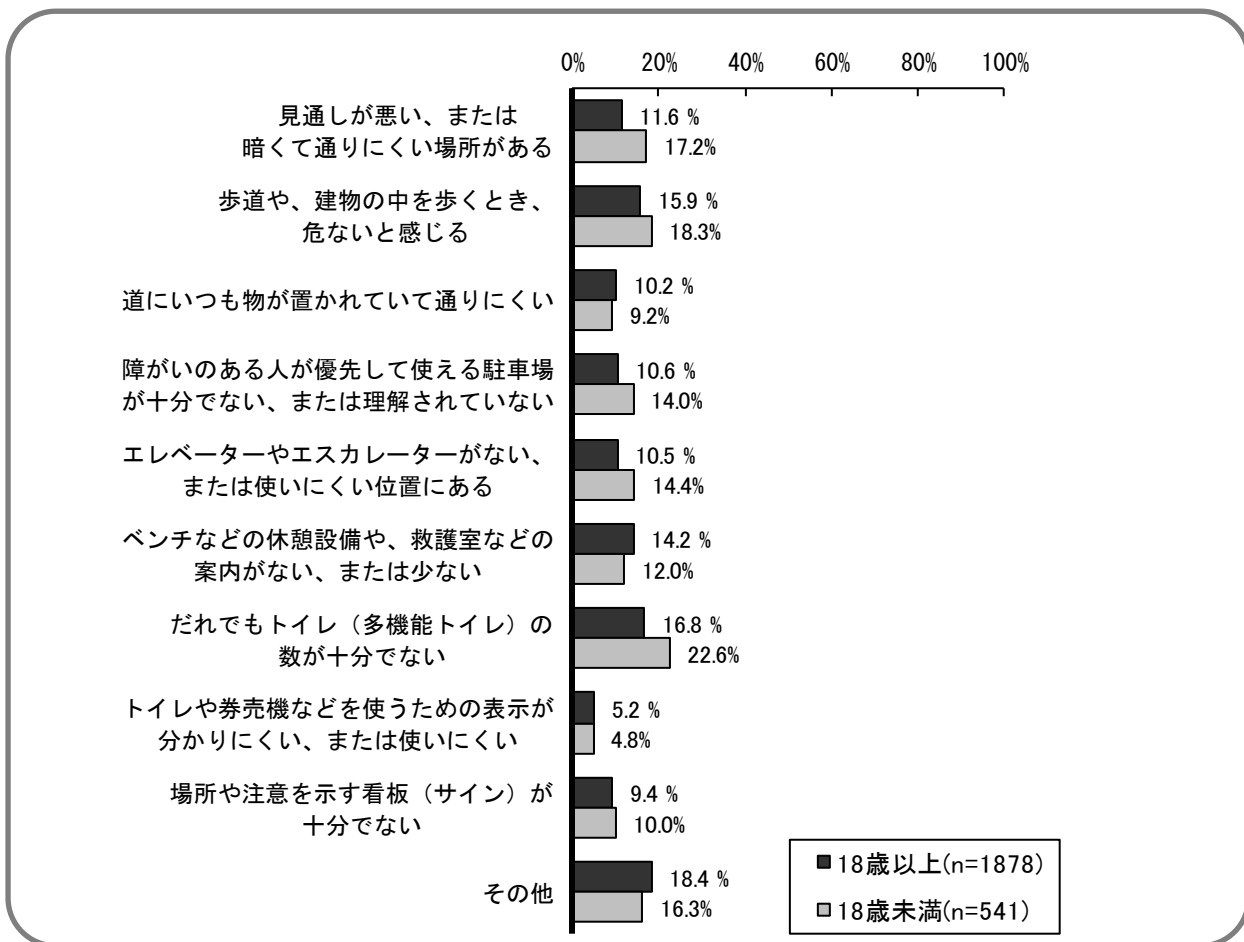
(4) 公共施設等で改善してほしいこと (18歳以上 問44/18歳未満 問44)

問 あなたが大田区で生活するときに公共の施設などについて改善してほしい・良くしてほしいと感じるところはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

<18歳以上/18歳未満>

●「だれでもトイレ(多機能トイレ)の数が不十分」との回答が多い。

■ 調査結果



公共の施設などについて改善してほしいと感じるところは、18歳以上、18歳未満ともに、「だれでもトイレ(多機能トイレ)の数が十分でない」が最も多くなっています。



(5) 公共施設等で改善してほしい具体的な場所(18歳以上 問45/18歳未満 問45)

問 「(4) 公共施設等で改善してほしいこと」であげた場所は、どちらですか。お書きください。

■記述内容として寄せられた主な意見

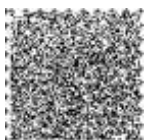
※以下の記述は、改善してほしい場所として寄せられた回答について「(4) 公共施設等で改善してほしいこと」の選択肢ごとに分類したものです。

<18歳以上/18歳未満>

1. 見通しが悪い、または暗くて通りにくい場所がある
  - ・公園付近や川沿いは道路が暗いと感じる。
  - ・住宅街など、街灯が少ないと、夜は不安。
  
2. 歩道や、建物の中を歩くとき、危ないと感じる
  - ・歩道がデコボコだと歩きにくい。
  - ・車椅子で通るとき、歩道が狭く、障害物が多いと、非常に怖い。
  
3. 道にいつも物が置かれていて通りにくい
  - ・商店街、駅の近くなど。
  
4. 障がいのある人が優先して使える駐車場が十分でない、または理解されていない
  - ・障がい者スペースを健常者が使っていることがたびたび見受けられる。
  - ・ショッピングセンター図書館
  
5. エレベーターやエスカレーターがない、または使いにくい位置にある
  - ・駅
  - ・病院
  - ・区所有施設



6. ベンチなどの休憩設備や、救護室などの案内がない、または少ない
  - ・ 商業施設（スーパー等）
  - ・ 公園
  - ・ 駅
  - ・ バスの停留所
  
7. だれでもトイレ（多機能トイレ）の数が十分でない
  - ・ 駅
  - ・ 商業施設
  - ・ 公園
  - ・ 大田区役所、地域庁舎
  
8. トイレや券売機などを使うための表示が分かりにくい、または使いにくい
  - ・ 駅、空港
  
9. 場所や注意を示す看板（サイン）が十分でない
  - ・ バスを降りた時に案内が少ない。わかりにくい。
  - ・ 商店街



(6) 障がい者が就労する上で大切だと思うこと(18歳以上 問46/18歳未満 問46)

問 あなたは、障がいのある方が働くためには、特にどのようなことが大切だと思いますか。(〇は2つまで)

<18歳以上>

●「健康状態にあわせて働ける」と「職場の人の障がいへの理解」が多い。

■障がいの分類別結果(上位5回答、単位:%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
全体 (n=1878)	健康状態にあ わせて働ける	職場の人の障 がいへの理解	自分の家や、家 の近くで働け る	障がい者の利 用に配慮され た設備や職場	働くところの 紹介や相談が 受けられる
	33.9	30.5	26.7	18.2	9.0
身体 (n=1042)	健康状態にあ わせて働ける	職場の人の障 がいへの理解	自分の家や、家 の近くで働け る	障がい者の利 用に配慮され た設備や職場	働くところの 紹介や相談が 受けられる
	31.6	27.1	25.4	18.4	7.6
知的 (n=334)	職場の人の障 がいへの理解	自分の家や、家 の近くで働け る	障がい者の利 用に配慮され た設備や職場	健康状態にあ わせて働ける	働くところの 紹介や相談が 受けられる
	35.6	31.4	26.6	26.3	9.0
精神 (n=337)	健康状態にあ わせて働ける	職場の人の障 がいへの理解	自分の家や、家 の近くで働け る	障がい者の利 用に配慮され た設備や職場	働くところの 紹介や相談が 受けられる
	45.7	44.8	30.0	14.8	14.2
難病 (n=284)	健康状態にあ わせて働ける	職場の人の障 がいへの理解	自分の家や、家 の近くで働け る	障がい者の利 用に配慮され た設備や職場	働くところの 紹介や相談が 受けられる
	45.1	28.2	23.2	19.7	8.8
発達 (n=93)	職場の人の障 がいへの理解	健康状態にあ わせて働ける	自分の家や、家 の近くで働け る	障がい者の利 用に配慮され た設備や職場	企業(会社)へ の雇用の働き かけ
	51.6	36.6	28.0	23.7	15.1
高次 (n=59)	健康状態にあ わせて働ける	職場の人の障 がいへの理解	障がい者の利 用に配慮され た設備や職場	自分の家や、家 の近くで働け る	働くところの 紹介や相談が 受けられる
	32.2	32.2	25.4	23.7	11.9

障害がある方が働くための環境としては、「健康状態にあわせて働ける」が全体の33.9%で最も多くなっています。

分類別では[発達]と[知的]では、「職場の人の障がいへの理解」が最も多くなっています。

(→詳細な調査結果は192ページ)



<18歳未満>

●「職場の人の障がいへの理解」が半数を超えて多い。

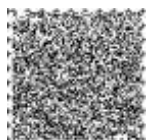
■障がいの分類別結果（上位5回答、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
<b>全体</b> (n=541)	職場の人の障がいへの理解 54.2	自分の家や、家の近くで働ける 28.5	障がい者の利用に配慮された設備や職場 26.6	働くところの紹介や相談が受けられる 19.4	健康状態にあわせて働ける 18.3
<b>身体</b> (n=123)	職場の人の障がいへの理解 48.0	自分の家や、家の近くで働ける 27.6	健康状態にあわせて働ける／障がい者の利用に配慮された設備や職場 25.2		働くところの紹介や相談が受けられる 18.7
<b>知的</b> (n=287)	職場の人の障がいへの理解 51.6	自分の家や、家の近くで働ける 34.8	障がい者の利用に配慮された設備や職場 27.2	働くところの紹介や相談が受けられる 17.4	企業（会社）への雇用の働きかけ 15.3
<b>精神</b> (n=34)	職場の人の障がいへの理解 58.8	健康状態にあわせて働ける 29.4	自分の家や、家の近くで働ける／障がい者の利用に配慮された設備や職場 26.5		職業訓練ができる施設の充実／企業（会社）への雇用の働きかけ 11.8
<b>難病</b> (n=11)	障がい者の利用に配慮された設備や職場 36.4		自分の家や、家の近くで働ける／健康状態にあわせて働ける／働くところの紹介や相談が受けられる／職場の人の障がいへの理解 27.3		
<b>発達</b> (n=284)	職場の人の障がいへの理解 57.0	自分の家や、家の近くで働ける 29.6	障がい者の利用に配慮された設備や職場 24.6	働くところの紹介や相談が受けられる 20.1	健康状態にあわせて働ける 18.7
<b>高次</b> (n=6)	健康状態にあわせて働ける 66.7	職場の人の障がいへの理解 33.3	自分の家や、家の近くで働ける／働くところの紹介や相談が受けられる／職業訓練ができる施設の充実／企業（会社）への雇用の働きかけ 16.7		

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

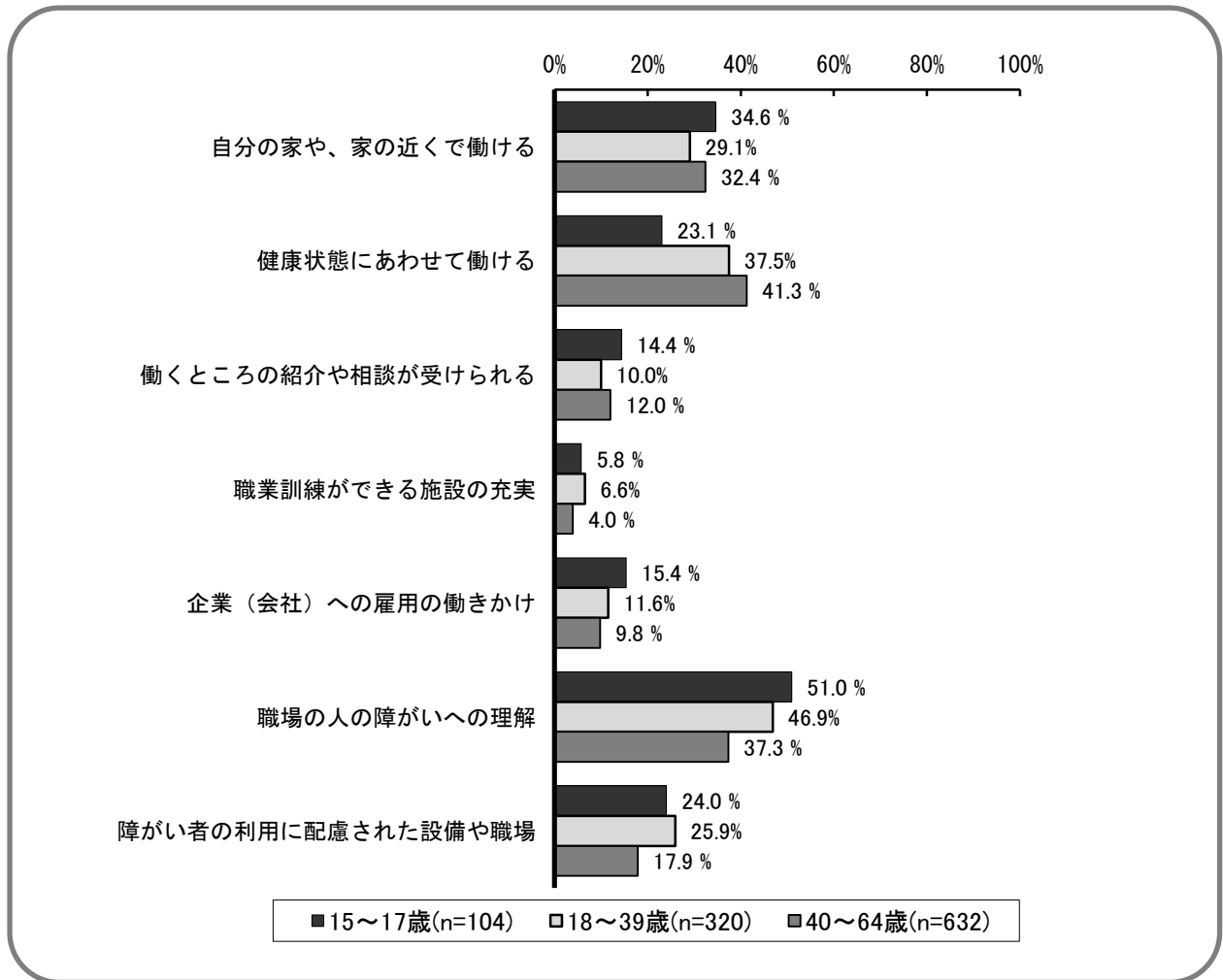
18歳未満では「職場の人の障がいへの理解」が全体の54.2%で最も多くなっています。次いで「自分の家や、家の近くで働ける」、「障がい者の利用に配慮された設備や職場」となっています。

(→詳細な調査結果は209ページ)

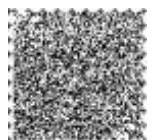




◆15～64歳の年齢別の傾向（グラフは主な選択肢） <18歳以上／18歳未満>



いわゆる「生産労働人口」と呼ばれる15～64歳の、就労と関係の深い年齢に特化して、年齢別の傾向を見たところ、「職場の人の障がいへの理解」では年齢が高くなるにつれて割合が減少する傾向が見られる一方、「健康状態に合わせて働ける」については、年齢が高くなるにつれて割合が多くなる傾向が見られます。

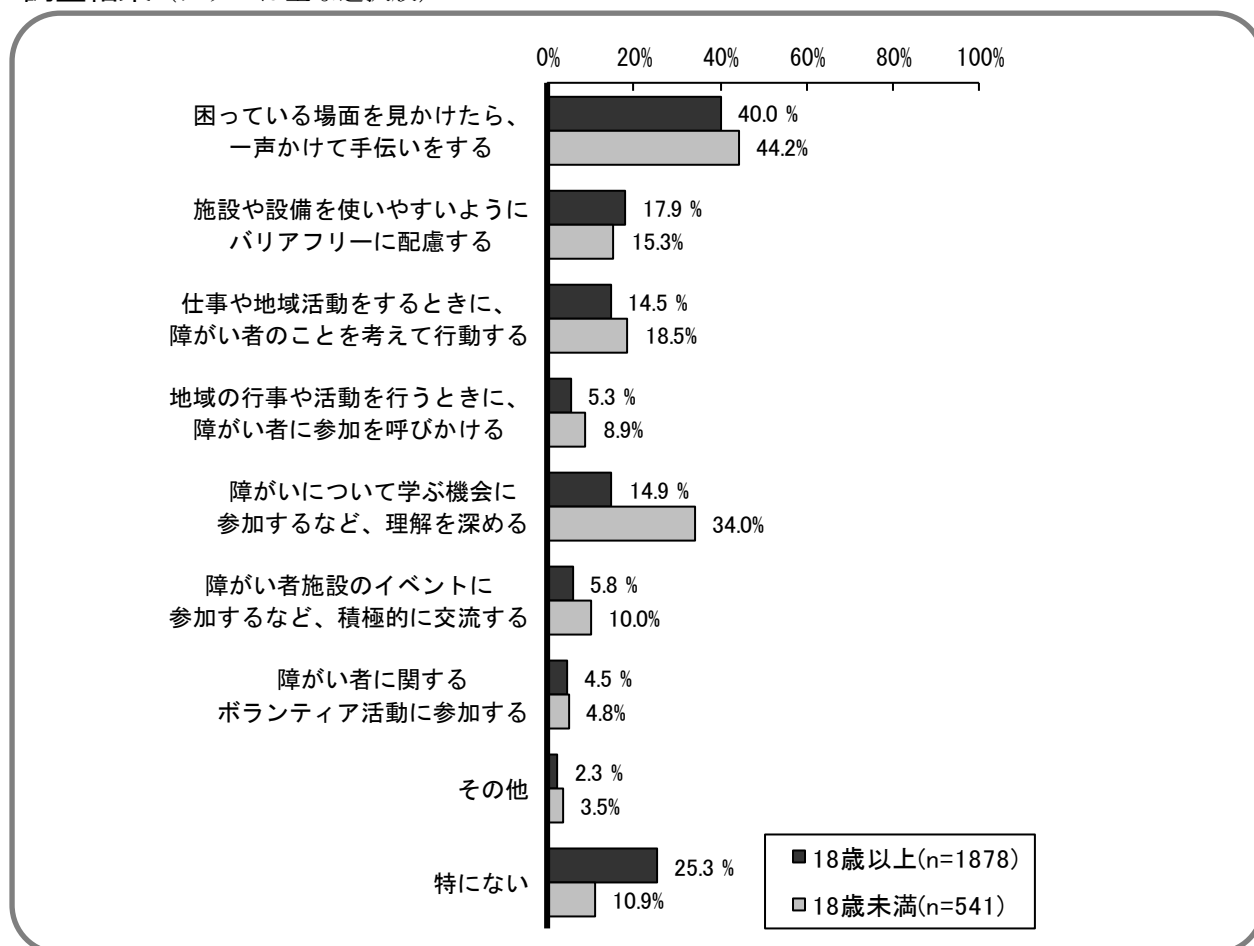


(7) 地域の人に望むこと (18歳以上 問47/18歳未満 問47)

問 あなたは、どのようなことを地域の人にしてほしいと思いますか。(○は2つまで)

●「困っている場面を見かけたら、一声かけて手伝いをする」が最も多い。

■ 調査結果 (グラフは主な選択肢)

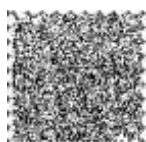


地域の人に実行してほしいこととしては、「困っている場面を見かけたら、一声かけて手伝いをする」が18歳以上では40.0%、18歳未満では44.2%と、ともに4割を超えて最も多くなっています。

18歳以上では、次いで「施設や設備を使いやすいようにバリアフリーに配慮する」、「障がいについて学ぶ機会に参加するなど、理解を深める」などとなっています。

18歳未満では、次いで「障がいについて学ぶ機会に参加するなど、理解を深める」との回答が34.0%と3割を超え多くなっています。

(→詳細な調査結果は18歳以上192ページ、18歳未満209ページ)

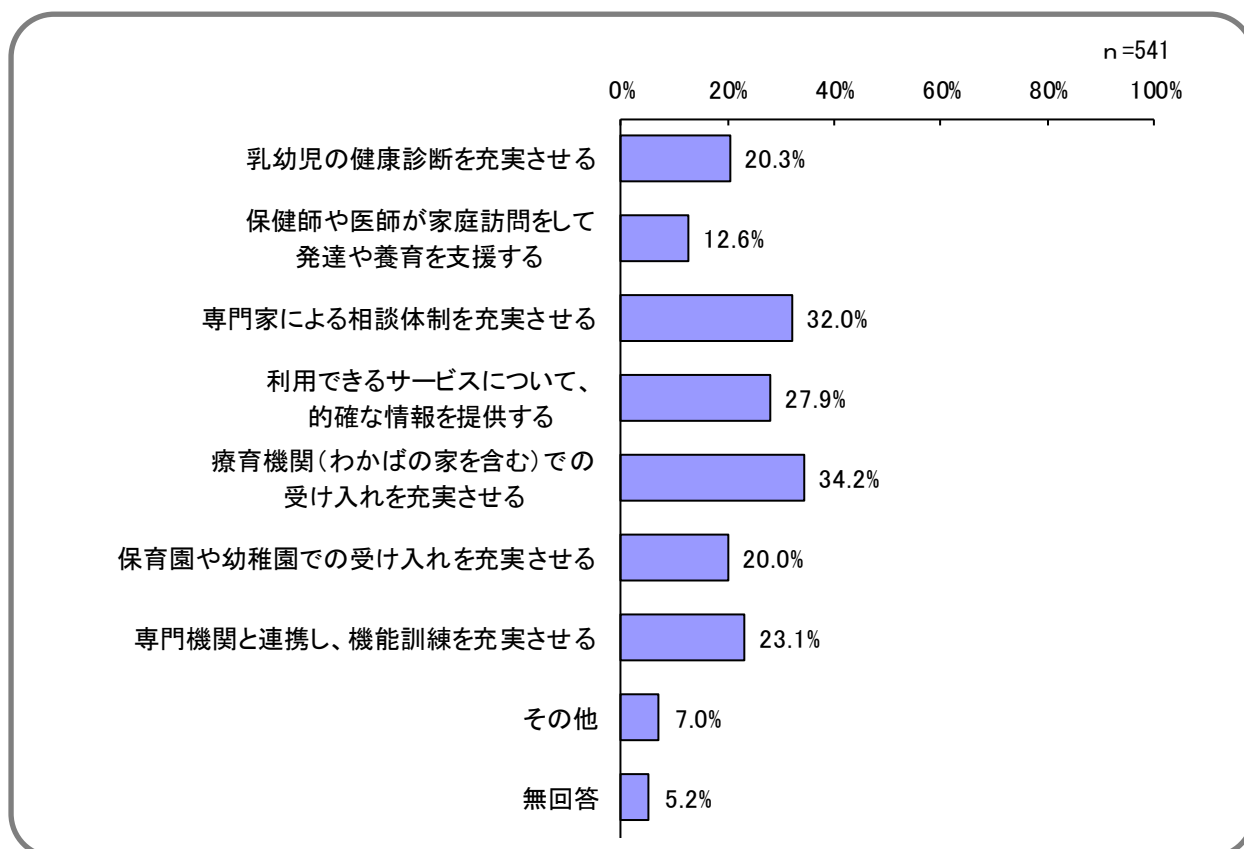


(8) 障がいの早期発見、早期療育のために必要なこと (18歳未満 問48)

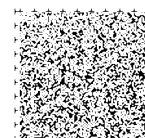
問 あなたは、障がいの早期発見、早期療育を充実させるために、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

●「療育機関(わかばの家を含む)での受け入れを充実させる」が最も多い。

■調査結果



障がいの早期発見、早期療育を充実させるために必要なこととしては、「療育機関(わかばの家を含む)での受け入れを充実させる」との回答が34.2%で最も多いものの、次いで「専門家による相談体制を充実させる」、「利用できるサービスについて、的確な情報を提供する」、「専門機関と連携し、機能訓練を充実させる」、「乳幼児の健康診断を充実させる」、「保育園や幼稚園での受け入れを充実させる」の6項目がそれぞれ2割から3割程度と近い値となっています。



■年齢別に見た傾向（単位：％）

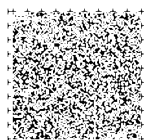
	乳幼児の健康診断を 充実させる	保健師や医師が家庭訪 問をして発達や養育を 支援する	専門家による相談体制を 充実させる	利用できるサービスにつ いて、的確な情報を提供 する	療育機関（わかばの家を 含む）での受け入れを 充実させる	保育園や幼稚園での 受け入れを充実させる	専門機関と連携し、 機能訓練を充実させる	その他	無回答
全体 (n=541)	20.3	12.6	32.0	27.9	34.2	20.0	23.1	7.0	5.2
0～2歳 (n=17)	17.6	17.6	35.3	29.4	29.4	29.4	17.6	0.0	5.9
3～5歳 (n=127)	17.3	13.4	27.6	27.6	47.2	24.4	25.2	6.3	2.4
6～11歳 (n=215)	20.0	13.0	32.6	27.4	34.9	20.0	25.6	5.6	5.6
12～14歳 (n=74)	17.6	6.8	27.0	31.1	25.7	18.9	25.7	13.5	5.4
15～17歳 (n=104)	26.0	14.4	39.4	27.9	21.2	14.4	15.4	7.7	7.7

年齢別に見ると、[0～2歳]では「保育園や幼稚園での受け入れを充実させる」と「保健師や医師が家庭訪問をして発達や養育を支援する」との回答が、[3～5歳]では「療育機関（わかばの家を含む）での受け入れを充実させる」との回答が、[15～17歳]では「専門家による相談体制を充実させる」、「乳幼児の健康診断を充実させる」がそれぞれ全体より多くなっています。

■前回との比較（単位：％）

	乳幼児の健康診断を 充実させる	保健師や医師が家庭訪 問をして発達や養育を 支援する	専門家による相談体制 を充実させる	利用できるサービスにつ いて、的確な情報を 提供する	療育機関（わかばの家 を含む）での受け入れ を充実させる	保育園や幼稚園での 受け入れを充実させる	専門機関と連携し、 機能訓練を充実させる	その他	無回答
今回 (n=541)	20.3	12.6	32.0	27.9	34.2	20.0	23.1	7.0	5.2
前回 (n=665)	27.4	9.8	29.3	31.0	30.5	24.2	23.6	5.3	2.6

前回との比較では、「乳幼児の健康診断を充実させる」が7.1ポイント下がっています。また、「療育機関での受け入れを充実させる」が最も多くなっています。



(9) 今後充実を希望する障がい者施策（18歳以上 問48/18歳未満 問49）

問 今後、大田区が障がい者への取組を進めていくために、あなたは、特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（〇は3つまで）

<18歳以上>

●「経済的な支援」が多い中、[知的]では「地域で暮らせる場の整備」が多い。

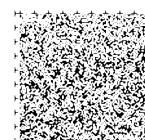
■障がいの分類別結果（上位5回答、単位：%）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
<b>全体</b> (n=1878)	手当や年金などの経済的な支援 37.8	相談支援や情報提供の充実 29.1	障がいについての理解の促進 18.3	医療やリハビリの充実 18.2	家で受けられるサービスの充実 17.9
<b>身体</b> (n=1042)	手当や年金などの経済的な支援 37.0	相談支援や情報提供の充実 30.1	家で受けられるサービスの充実 21.3	医療やリハビリの充実 20.0	災害時の支援体制の整備 18.1
<b>知的</b> (n=334)	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備 32.9	手当や年金などの経済的な支援 27.2	入所施設の整備 21.9	災害時の支援体制の整備 21.9	相談支援や情報提供の充実 21.6
<b>精神</b> (n=337)	手当や年金などの経済的な支援 51.0	相談支援や情報提供の充実 30.3	障がいについての理解の促進 29.7	働きやすい環境づくり 22.6	医療やリハビリの充実 13.9
<b>難病</b> (n=284)	手当や年金などの経済的な支援 39.1	相談支援や情報提供の充実 29.6	医療やリハビリの充実 28.5	家で受けられるサービスの充実 17.6	災害時の支援体制の整備 16.2
<b>発達</b> (n=93)	手当や年金などの経済的な支援 44.1	働きやすい環境づくり 29.0	障がいについての理解の促進 28.0	相談支援や情報提供の充実 24.7	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備 23.7
<b>高次</b> (n=59)	手当や年金などの経済的な支援 35.6	相談支援や情報提供の充実 28.8	医療やリハビリの充実 28.8	障がいについての理解の促進 25.4	障がい者に配慮された住むところの整備 22.0

施策で充実すべきこととしては「手当や年金などの経済的な支援」との回答が37.8%で最も多くなっており、次いで「相談支援や情報提供の充実」が29.1%、「障がいについての理解の促進」が18.3%などとなっています。

分類別では、[知的]では「グループホームなどの地域で暮らせる場の整備」が32.9%と、最も多くなっています。

(→詳細な調査結果は192ページ)



<18歳未満>

●「療育や教育の充実」が最も多い。

■障がいの分類別結果（上位5回答、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
全体 (n=541)	療育や教育の充実 48.4	相談支援や情報提供の充実 35.5	手当や年金などの経済的な支援 30.1	障がいについての理解の促進 28.7	働きやすい環境づくり 22.6
身体 (n=123)	療育や教育の充実 39.8	手当や年金などの経済的な支援 32.5	障がいについての理解の促進 31.7	相談支援や情報提供の充実 26.0	医療やリハビリの充実 19.5
知的 (n=287)	療育や教育の充実 36.9	手当や年金などの経済的な支援 32.1	相談支援や情報提供の充実 28.6	障がいについての理解の促進 26.5	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備 25.4
精神 (n=34)	手当や年金などの経済的な支援／療育や教育の充実 38.2		相談支援や情報提供の充実 35.3	働きやすい環境づくり／障がいについての理解の促進 29.4	
難病 (n=11)	手当や年金などの経済的な支援 45.5	相談支援や情報提供の充実／療育や教育の充実 36.4		入所施設の整備／障がいについての理解の促進／災害時の支援体制の整備 27.3	
発達 (n=284)	療育や教育の充実 54.9	相談支援や情報提供の充実 40.5	手当や年金などの経済的な支援 29.6	障がいについての理解の促進 27.8	働きやすい環境づくり 22.2
高次 (n=6)	療育や教育の充実 83.3	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備／手当や年金などの経済的な支援／障がいについての理解の促進 33.3			相談支援や情報提供の充実／入所施設の整備／日中活動の場の整備／家で受けられるサービスの充実／働きやすい環境づくり 16.7

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

18歳未満では、「療育や教育の充実」との回答が全体の45.4%で、最も多くなっています。

また、18歳以上で1番目に多かった「手当や年金などの経済的な支援」については、18歳未満のいずれの分類においても5番目までに入っており、全体では3番目に多くなっています。

(→詳細な調査結果は210ページ)



◆年齢別の傾向<18歳以上/18歳未満> (上位5回答、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
0～2歳 (n=17)	相談支援や情報提供の充実 70.6	療育や教育の充実 47.1	障がいについての理解の促進 23.5	入所施設の整備/日中活動の場の整備/手当や年金などの経済的な支援/災害時の支援体制の整備 17.6	
3～5歳 (n=127)	療育や教育の充実 75.6	相談支援や情報提供の充実 48.0	障がいについての理解の促進 26.0	手当や年金などの経済的な支援 24.4	働きやすい環境づくり 13.4
6～11歳 (n=215)	療育や教育の充実 54.0	手当や年金などの経済的な支援 30.7	相談支援や情報提供の充実 30.2	障がいについての理解の促進 29.3	働きやすい環境づくり 24.7
12～14歳 (n=74)	手当や年金などの経済的な支援 35.1	障がいについての理解の促進 33.8	相談支援や情報提供の充実/働きやすい環境づくり 27.0		療育や教育の充実 25.7
15～17歳 (n=104)	手当や年金などの経済的な支援 35.6	相談支援や情報提供の充実 31.7	働きやすい環境づくり 29.8	障がいについての理解の促進 26.0	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備 24.0
18～39歳 (n=320)	手当や年金などの経済的な支援 35.6	働きやすい環境づくり/障がいについての理解の促進 26.6		グループホームなどの地域で暮らせる場の整備 23.4	相談支援や情報提供の充実/災害時の支援体制の整備 21.9
40～64歳 (n=632)	手当や年金などの経済的な支援 46.4	相談支援や情報提供の充実 31.2	障がいについての理解の促進 24.1	働きやすい環境づくり 16.9	医療やリハビリの充実 16.8
65歳以上 (n=882)	手当や年金などの経済的な支援 32.5	相談支援や情報提供の充実 31.1	家で受けられるサービスの充実 23.1	医療やリハビリの充実 22.1	災害時の支援体制の整備 16.1

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

年齢別に見ると、[0～2歳]の「相談支援や情報提供の充実」と[3～11歳]の「療育や教育の充実」では回答が5割を超えて多くなっています。一方、[12歳以上]ではいずれも「手当や年金などの経済的な支援」との回答が最も多くなっています。



(調査結果)

<18歳未満> (単位: %)

	相談支援や情報提供の充実	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備	入所施設の整備	障がい者に配慮された住むところの整備	日中活動の場の整備	家で受けられるサービスの充実	医療やリハビリの充実	手当や年金などの経済的な支援	療育や教育の充実	働きやすい環境づくり	障がいについての理解の促進	権利擁護や虐待防止の取組	災害時の支援体制の整備	余暇活動や趣味の講座などの充実	ボランティア活動の充実	ユニバーサルデザインの促進	交通機関や施設などのバリアフリー、	その他	無回答
全体 (n=541)	35.5	15.2	11.1	10.0	9.6	9.8	9.1	30.1	48.4	22.6	28.7	5.0	12.0	7.8	1.7	6.3	3.0	2.8	
0~2歳 (n=17)	70.6	5.9	17.6	11.8	17.6	11.8	5.9	17.6	47.1	5.9	23.5	11.8	17.6	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	
3~5歳 (n=127)	48.0	7.1	9.4	7.1	6.3	10.2	11.8	24.4	75.6	13.4	26.0	3.1	5.5	4.7	0.8	6.3	0.8	1.6	
6~11歳 (n=215)	30.2	13.5	7.9	9.8	10.2	10.2	9.3	30.7	54.0	24.7	29.3	5.6	10.2	7.0	1.9	4.7	3.7	3.7	
12~14歳 (n=74)	27.0	24.3	18.9	12.2	8.1	9.5	4.1	35.1	25.7	27.0	33.8	2.7	16.2	9.5	1.4	12.2	5.4	1.4	
15~17歳 (n=104)	31.7	24.0	12.5	12.5	12.5	7.7	8.7	35.6	19.2	29.8	26.0	6.7	18.3	12.5	2.9	5.8	2.9	2.9	

<18歳以上> (単位: %)

	相談支援や情報提供の充実	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備	入所施設の整備	障がい者に配慮された住むところの整備	日中活動の場の整備	家で受けられるサービスの充実	医療やリハビリの充実	手当や年金などの経済的な支援	療育や教育の充実	働きやすい環境づくり	障がいについての理解の促進	権利擁護や虐待防止の取組	災害時の支援体制の整備	余暇活動や趣味の講座などの充実	ボランティア活動の充実	ユニバーサルデザインの促進	交通機関や施設などのバリアフリー、	その他	無回答
全体 (n=1878)	29.1	11.1	11.1	11.0	4.6	17.9	18.2	37.8	3.0	12.8	18.3	3.0	16.7	6.8	2.4	11.0	2.9	9.4	
18~39歳 (n=320)	21.9	23.4	14.7	15.9	7.5	9.1	11.9	35.6	7.2	26.6	26.6	4.7	21.9	8.1	1.6	8.1	1.6	5.3	
40~64歳 (n=632)	31.2	10.6	7.1	11.2	4.4	15.2	16.8	46.4	3.3	16.9	24.1	3.5	15.2	5.1	3.0	13.8	3.2	5.1	
65歳以上 (n=882)	31.1	7.0	12.9	9.2	3.9	23.1	22.1	32.5	1.4	5.4	11.6	2.0	16.1	7.1	2.3	10.1	3.3	12.9	





◆前回との比較<18歳以上> (上位5回答、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
<b>今回</b> (n=1878)	手当や年金などの経済的な支援 37.8	相談支援や情報提供の充実 29.1	障がいについての理解の促進 18.3	医療やリハビリの充実 18.2	家で受けられるサービスの充実 17.9
<b>前回</b> (n=2308)	手当や年金などの経済的な支援 40.8	相談支援や情報提供の充実 33.8	家で受けられるサービスの充実 18.5	医療やリハビリの充実 18.4	障がいについての理解の促進 17.8

前回との比較では、「障がいについての理解の促進」が前回の5番目から3番目へと上がっていますが、上位2項目は引き続き「手当や年金などの経済的な支援」と「相談支援や情報提供の充実」となっており、上位5項目の内容も前回と同様となっています。

◆前回との比較<18歳未満> (上位5回答、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
<b>今回</b> (n=541)	療育や教育の充実 48.4	相談支援や情報提供の充実 35.5	手当や年金などの経済的な支援 30.1	障がいについての理解の促進 28.7	働きやすい環境づくり 22.6
<b>前回</b> (n=665)	療育や教育の充実 45.4	相談支援や情報提供の充実 31.4	手当や年金などの経済的な支援 30.1	働きやすい環境づくり 29.5	障がいについての理解の促進 29.3

前回との比較では、「障がいについての理解の促進」が「働きやすい環境づくり」より多くなりましたが、上位3項目は引き続き「療育や教育の充実」と「相談支援や情報提供の充実」、「手当や年金などの経済的な支援」となっています。

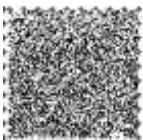


## 11 区の障がい者への取組について（18歳以上 問49/18歳未満 問50）

問 区の障がい者への取組について、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。

### <18歳以上>

主な意見	件数 (総数 459 件)
<b>サービス</b>	<b>96</b>
サービスの充実	25
入所施設の充実	13
短期入所やレスパイト、預かりの場の充実	12
高齢者への支援	10
さぼーとびあについて	5
個々の障がいに合わせて支援	4
サービスの利用基準・所得制限の見直し	4
スポーツや余暇活動の場の充実	4
通所施設の充実	3
交流の場の充実	2
子育て・介護に対する支援の充実	2
自立した暮らしを送るための支援	2
通所後の支援の充実	2
入所施設について	2
補助具購入について	2
家族への支援の充実	1
計画相談について	1
サービスの質の向上	1
障がい者に対する教育機会の充実	1
<b>経済的支援</b>	<b>48</b>
経済的支援の充実	17
医療費の負担の軽減	6
手当の充実、要件の見直し	5
年金の充実・増額	5
その他料金等の軽減・免除	4
交通費の補助・割引	3
補助具に対する経済的援助	3
住居に対する経済的援助	1
書類作成の費用の補助	1
スポーツ施設の無料化	1
税金・保険料等の軽減・免除	1
日常生活用具の負担金の軽減	1



<b>障がいへの理解等</b>	<b>40</b>
理解の促進、教育	28
配慮や援助が必要	2
「障がい者」という言葉について	1
生きがいを持てる社会参加を	1
生きにくさを感じる	1
交流の機会・場の充実	1
障がい者に対する指導を	1
障がい者用のスペース等について	1
障がいも個性の一つ	1
一人の人間として生きられる社会を	1
ヘルプカードについて	1
ボランティアの育成	1
<b>情報・相談</b>	<b>36</b>
情報提供の充実	19
相談体制の充実/相談しやすい環境づくり	11
施策の周知	4
情報機器の充実	2
<b>行政の制度・施策</b>	<b>25</b>
障がい者施策の充実	5
障害者手帳について	3
イベント・講座について	2
障害者手帳の等級について	2
福祉施策全般の充実	2
マナーの改善を	2
要介護認定について	2
各部署の連携	1
高齢者施策の充実	1
生活保護について	1
制度の充実・整備	1
点字図書館の設置	1
当事者会や家族会への助成	1
プライバシーの保護	1
<b>インフラ・設備・交通</b>	<b>22</b>
駅やトイレ、建物、バスのバリアフリー化	8
道路・公園の整備	8
駐車場・駐輪場の増加・充実	5
電柱の撤去	1
<b>行政の手続き</b>	<b>16</b>
事務手続きの簡略化/手続きを迅速に	13
書類の管理が不十分	1
手続き場所を便利な場所に/手続きの土日対応	1
必要なものがわかりにくい	1



<b>就労</b>		<b>16</b>
就労の場・就労機会の充実		6
就労支援の充実		4
就労条件・環境の改善		4
「たまりば」が楽しみ		1
ハローワークについて		1
<b>将来の不安</b>		<b>15</b>
親亡き後や高齢化に対するサービスや支援の整備・充実		14
重度化への不安		1
<b>支援者について</b>		<b>10</b>
人材確保・育成		3
待遇の改善		2
担当者について		2
支援のできる範囲について		1
職員同士のつながりを		1
職員の質の向上		1
<b>防災</b>		<b>9</b>
情報提供の充実		3
避難行動要支援者名簿について		2
避難場所の充実		2
災害時が不安		1
災害時の支援の充実		1
<b>行政の対応</b>		<b>8</b>
職員の対応の改善		7
職員の知識、スキルの向上		1
<b>医療・健康</b>		<b>5</b>
医療の質の向上		1
医療の充実		1
先行きが不安		1
障がい専門の医療機関の充実		1
病院の受け入れ体制の充実		1
<b>保育・教育</b>		<b>3</b>
子ども向けの施設について		1
大学に対する支援		1
保育所の増設		1
<b>アンケートについて</b>		<b>28</b>
内容や量について		17
施策に反映を		7
対象者について		2
実施方法について		1
実施期間について		1
<b>その他</b>		<b>82</b>



<18歳未満>

主な意見	件数 (総数 350 件)
<b>療育・教育</b>	<b>125</b>
療育施設の増加・整備/受け入れ枠の増加・充実	25
教員の質の向上/教員に対する教育	13
特別支援学級の増加・充実	13
幼稚園・保育園・学童クラブの受け入れ体制の充実	13
インクルーシブ教育の充実	10
わかばの家について	10
グリーゼンの子どもへの教育・支援の充実	8
特別支援学校の増加・充実	7
個々の障がいや状況に合った教育の充実	4
支援員等の増加・充実	4
小学校・中学校の受け入れ体制の整備・充実	4
学校での支援の充実	3
交流学級の充実	2
制度の充実・整備	2
療育体制・療育プログラムの充実	2
学習支援の充実	1
サポートルームの利用について	1
就学後の支援の充実	1
卒業後の居場所、余暇活動の充実	1
療育・教育全般の充実	1
<b>サービス</b>	<b>75</b>
サービスの充実・整備	10
入所施設等(入所施設、短期入所等)の増加・充実	9
卒業後の居場所、余暇活動の充実	8
スポーツや余暇活動の場の充実	8
親亡き後や将来の不安に対するサービスや支援の整備・充実	5
移動支援の充実	5
サービスの利用基準・所得制限の見直し	4
個々の障がいに合わせた支援の充実	4
家族・介助者への支援の充実	4
必要な人に必要な支援を	3
送迎について	3
さぽーとぴあについて	3
一時預かり等の充実	2
医療的ケア児に対する支援の充実	2
レスパイトの充実	1
住まいに対する支援の充実	1
施設等の見学	1
交流の場の充実	1
イベントの開催について	1



<b>情報・相談</b>		<b>37</b>
情報提供の充実		19
相談体制の充実／相談しやすい環境づくり		18
<b>障がいへの理解等</b>		<b>19</b>
理解の促進、教育		11
交流の機会・場の充実		3
「障がい」という言葉について		1
手話を増やしたい		1
障害者差別解消法の周知		1
障がいを特別扱いしない		1
ヘルプカードの周知		1
<b>行政の制度・施策</b>		<b>19</b>
障がい者施策の充実		6
制度の充実・整備		3
人材確保・育成		2
民間事業者への支援		1
福祉施策全般の充実		1
当事者の声を聞いてほしい		1
手帳の取得について		1
スポーツイベントの開催		1
区が主体となった支援の充実		1
共生社会、支えあう社会づくり		1
各部署の連携		1
<b>行政の対応</b>		<b>10</b>
職員の知識、スキルの向上		4
職員の対応の改善		3
対応に統一性を		3
<b>行政の手続き</b>		<b>9</b>
事務手続きの簡略化(書類の作成、セルフプランの作成等)		6
窓口の統一		3
<b>支援者について</b>		<b>8</b>
事業者・職員の質の向上		3
人材確保・育成		3
事業者等の増加		2
<b>経済的支援</b>		<b>7</b>
経済的支援の充実		6
フリースクールへ通う子どもへの支援		1
<b>防災</b>		<b>7</b>
避難場所の充実		4
災害時が不安		1
災害時の支援体制の整備		1
備蓄品について		1



インフラ・設備・交通	4
公共交通機関・施設等のユニバーサルデザインの促進	1
バスのスロープについて	1
通学路の安全の確保	1
車いす使用者が外出しやすい環境に	1
就労	4
就労の場の充実	3
待遇の改善	1
医療・健康	2
障がい専門の医療機関の充実	2
防犯	2
こども 110 番の家について	1
防犯カメラの設置	1
アンケートについて	14
内容や量について	10
施策に反映を	3
対象者について	1
その他	8



